

平成23年度
自己点検評価書

平成23年10月

舞鶴工業高等専門学校

平成23年度自己点検評価書発刊にあたって

学校長 太田泰雄

本校は昭和40年に舞鶴の地に設置され、以来約50年近くが経過した。ここで、本校の今日までの歩みと社会状況などを振りかえってみたい。

創設時の社会環境は高度成長期、大学進学率23%、高専の使命は「即戦力となる実践的技術者の育成」、「5年一環教育」、「後期中等教育+高等教育」であった。

その後、昭和45年に土木工学科が増設され定員は1学年160名となった。なお、平成2年に機械工学科が機械工学科と電子制御工学科に改組された。社会環境は高度成長から安定成長へ、学習社会となり、生涯教育が盛んとなった。教育界は、高学歴志向となり、大学の大衆化となり大学進学率32%となっている。また、高専の使命は「5年一環教育」は変わらないものの、「創造的技術者の育成」が言われるようになった。

平成12年ころから社会状況が大きく変わりはじめ、バブル経済の終焉、情報技術(IT)革命の進行、環境を重視した社会が叫ばれるようになった。教育界でも、画一教育から創造性教育、日本技術者教育認定機構(JABEE)の発足、教育のグローバル化、もの作り教育、大学進学率が45%になった。高専の使命は「創造的技術者の育成」に加えて、「専攻科設置による大学教育」、「ものづくり教育の実施」などが加わった。

さらに平成18年頃には社会状況が「経済調整期からの脱却」、「情報化の進展」、「少子・高齢化社会」を重視するようになった。国立高専は独立行政法人への移行があり、日本技術者教育認定機構(JABEE)の受審に加えて、機関別認証評価受審が行われるようになり、評価制度が一段と進展した。また、高専の使命も「開発型で創造的・独創的技術者の育成」、「地域社会との連携と支援」、「国際社会に対応した教育」が重要となった。

そして、本年3月に大震災が発生し、社会状況が大きく変化しようとしている。併せて、我が国の経済、教育、などすべての分野で変容が始まろうとしている。

これまで、高専制度は社会状況の必要性に応じて設置され、時代の変化にあわせて上記のように学校の使命を変革し、それを遂行したことによって、高専制度は社会から大きく評価されている。今後も本校は国立の教育機関として、社会の要請に応じて行きたい。この自己点検報告書はその目的に沿って作成したものである。学内外の皆様には本校の状況を発信し、評価を頂くものがある。

目 次

第1章 志願者増への取り組み

- (1) 中学校訪問の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- (2) プレオープンカレッジの企画と実施・・・・・・・・・・・・ 10
- (3) オープンカレッジの実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
- (4) 入試説明会の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
- (5) 女子学生志願者増のための取り組み・・・・・・・・・・・・ 51
- (6) 入試制度の見直し・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 55
- (7) その他の取り組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 60

第2章 教育の質の向上と学生支援に関する新しい取り組み

- (1) eラーニングシステムの活用・・・・・・・・・・・・・・・・ 69
- (2) 海外インターンシップ、海外研修の実施・・・・・・・・・・・・ 75
- (3) 国内インターンシップの実施状況・・・・・・・・・・・・・・ 82
- (4) 平成22年度(独)国立高等専門学校機構特別教育研究経費による
「高専連携によるアントレプレナーシップ醸成・キャリア教育の進展」
事業の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 83
- (5) 支援が必要な学生への取り組み・・・・・・・・・・・・・・ 94
- (6) 進路指導の現状・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 96

1. 志願者増への取り組み

(1) 中学校訪問の実施

中学校訪問は、本校教育の概要を中学校の進路担当教員に知っていただくとともに、当該翌年度の入試について説明し、本校本科受験志願者の増加をめざすものである。また、本校教育の魅力をアピールすることにより、エンジニア育成を目的とする工学教育全般についての理解を促すものでもある。

本校の中学校訪問の歴史は長いが、平成16年度は、滋賀県南東部に特別訪問地域を指定したという点で画期となっている。当該地区と他地区の人口と志願者数の推移を分析したうえでの措置であった。平成16年度以降の訪問校数の推移は資料 1-(1)-①の通りである。

平成18年度には、兵庫県東部、大阪府池田市周辺と滋賀県北部が新たな特別訪問地域に指定された。特別訪問地域の新たな指定は、資料 1-(1)-②の学外入試会場の増設を踏まえてのものである。

特別訪問地域には、5月末から6月初旬にかけての前期中間試験期間を利用し、三主事、学科長・部門長、各センター長、教務主事補からなる入学試験委員が訪問した。それ以外の地域には、入学試験委員を含む全教員が手分けして訪問する体制をとった。

中学校訪問に当たって、教員が携行したものは、平成18年度を例にとると次の通りである。

平成18年度中学校訪問用資料一覧

I 訪問者手持ち資料

1. 中学校訪問での説明事項
2. 中学校訪問説明ガイドライン
3. 中学校訪問用 Q&A
4. 中学校訪問報告書
5. 学生に係るデータ
 - (1) 中学校別の年度別志願者数及び合格者数
 - (2) 大学編入学・高専専攻科進学者・就職先一覧
 - (3) 中学校別休学・退学者等一覧
 - (4) 出身中学校別平成17年度卒業者の進路先

II 訪問先配布資料

1. 入学試験の概要
2. 平成18年度の志願者状況
3. 調査書記入の注意
4. 国立高専用入試問題について
5. 平成18年3月卒業生就職決定状況一覧
6. 進学状況（専攻科・大学編入学・大学院）

7. 出身中学校別在籍状況
8. オープンカレッジについて
9. 学校案内（2007年度版）
10. 学生募集ポスター
11. 学生募集ポスター
12. 平成18年度学校概要

（出典 学生課教務係資料）

平成21年度の中学校訪問は、訪問の時期を8月下旬から9月上旬に変更し、対象を近隣中学校のうち全校生徒が60名以上もしくはオープンカレッジに参加した生徒がいる中学校、またはその他の遠隔地の中学校で、オープンカレッジに参加した生徒がいる中学校159校に絞り込んだ。

平成22年度の中学校訪問は、訪問時期については平成20年度以前の体制に戻った。特別訪問地域は6月初旬に入学試験委員が、それ以外の地域は6月下旬から7月中旬にかけて学校長、部門選出教員各1、学科選出教員各2が訪問した。訪問者数の関係で訪問校数は限定されたが、学校長が中学校訪問を行ったのは本校史上初めてのことに属す。

平成23年度の中学校訪問では、戦略的訪問が実施された。中学校訪問のターゲットをプレオープンカレッジ、オープンカレッジに合わせ、そこでの参加者の増加を目指して訪問が行われた（資料1-(1)・③）。

本校会場のプレオープンカレッジに合わせては、特任委員として、副校長、教務主事、専攻科長、学生課長、学生課長補佐、教務係長が訪問し、京都、三田両会場のプレオープンカレッジに合わせては、入学試験委員全員が訪問し、オープンカレッジに合わせては、入学試験委員に加えて各センター長、学生・寮務各主事補が訪問した。

第1回目の訪問校数は44、第2回目は76、第3回目訪問校は164校であった。過去5年間で5名以上の志願者がある中学校を標準として訪問校を選択した。第1回・第2回と第3回は重複し、それぞれの訪問校に2回訪問することになったが、中学校の進路担当教員とできるだけ密なるコミュニケーションをはかることをそのねらいとした。

平成23年度中学校訪問に当たっては、訪問までに学校案内を完成させることをめざしたが、完成は第2回の訪問時を待たなければならなかった。例年、学校案内の早期完成がめざされている。年度当初の繁忙もあり至難だが、前年度からの取組みをはじめ、中学校訪問には必ず間に合わせることを求められている。

訪問時に携行する資料は、次の通り、できうる限りシンプルなものにした。

平成23年度中学校訪問資料一覧

説明者手持ち資料

- 1 舞鶴高専の教育と平成24年度入試の概要
- 2 舞鶴高専 FAQ
- 3 19～23年度（中学校別）入試志願者一合格者数

- 4 年度別入試状況（特別選抜・学力検査選抜）
- 5 年度別合格最低点（特別選抜・学力検査選抜）
- 6 中学校別在籍状況
- 7 中学校別退学者・休学者等一覧
- 8 中学校別進路先（平成15年度～平成22年度）

附属資料

・中学校訪問報告書

中学校への配付資料

- 1 舞鶴高専 学校案内
- 2 プレ・オープンカレッジチラシ
- 3 舞鶴高専の教育と平成24年度入試の概要
- 4 平成23年度入試状況
- 5 進学状況（平成15年度～平成22年度）
- 6 就職状況（平成22年3月卒業者・修了者）

（出典 学生課教務係資料）

第2回の訪問より説明資料「舞鶴高専の教育と平成24年度入試の概要」（ガイドライン）を中学校の進路担当教員に配付することにした（資料1-(1)-④）。訪問時に、プレオープンカレッジとオープンカレッジのポスターをそれぞれ配布した。また、中学校訪問の報告書の簡易版を作成し、煩雑な報告書の体裁を改め、訪問先の校名、年月日、応対者名の他は、訪問中学校からの質問等特記事項のみを記載することにした。第3回訪問時からは、入試広報担当者用に本校ロゴ入りの名刺を作成し、活用した。

中学校訪問の成否は、プレオープンカレッジやオープンカレッジの参加者数で評価することができる。さらにプレオープンカレッジ・オープンカレッジの参加者数は、翌年度入試の志願者数とリンクしている（資料1-(1)-⑤）。戦略的かつ効果的の中学校訪問が平成24年度入試の志願者の増加に寄与することが期待されている（資料1-(1)-⑥）。

中学校訪問数の推移											
年 度		16	17	18	19	20	21		22	23	
特別地域	滋賀県南東部	44	79	54	68	57	①	101	57	第1回(PO本校)	44
	滋賀県北部			6							
	兵庫県東部			27	27	22	②	61	22	第2回(PO京都・三田)	76
	大阪府池田市周辺			6	7	7					
一般地域		169	171	164	174	125			87	第3回(OC)	164
計		213	250	257	276	211		162	166		284

*平成21年度の①は、本校の近隣中学校のうち、全校生徒が60名以上、もしくはオープンカレッジに参加した生徒がいる中学校、②は、その他の遠隔地の中学校で、オープンカレッジに参加した生徒がいる中学校。

**平成23年度は、プレオープンカレッジ及びオープンカレッジをターゲットにした訪問。

***POはプレオープンカレッジ、OCはオープンカレッジの略称

(出典 学生課教務係)

舞鶴高専 入学試験会場

年 度	試験会場					
平成16年度	舞鶴	京都	豊岡			
平成17年度	舞鶴	京都	豊岡	滋賀		
平成18年度	舞鶴	京都	豊岡	滋賀	三田	
平成19年度	舞鶴	京都	豊岡	滋賀	三田	池田
平成20年度	舞鶴	京都	豊岡	滋賀	三田	池田
平成21年度	舞鶴	京都	豊岡	滋賀	三田	池田
平成22年度	舞鶴	京都	豊岡	滋賀	三田	池田
平成23年度	舞鶴	京都	豊岡	滋賀	三田	
平成24年度	舞鶴	京都	豊岡	滋賀	三田	大阪

(出典 学生課教務係)

平成23年度中学校訪問計画						
目 標			期 間	訪問地区	訪問中学校	担当者
	期 日	場 所				
POC 舞 鶴	5/22(日)	本 校	5/9(月)～ 5/16(月)	①舞鶴 ②中丹 ③福井(高 浜・小浜) (④丹後)	①7 校 ②綾部 6 校・福知山 9 校 ③3 校(高浜・小浜) (④宮津 4 校・京丹後 9 校・与謝野町 3 校)	校長・副校長・教務 主事・専攻科長・学 生課長・学生課課長 補佐・教務係長＝特 任
POC 京 都	6/19(日)	メルパル ク京都	5/23(月)～ 6/13(月)	①京都市 ②南丹 ③山城 ④大津・湖 南 (⑤東近江)	①73 校 ②亀岡 8 校・京丹波 3 校・ 南丹 4 校 ③21 校(京田辺・宇治・ 城陽・木津川) ④大津 18 校・湖南 16 校 (⑤東近江他 15)	特任:6～7校程度 その他入試委員:3 校程度
POC 三 田	6/25(土)	三田市 総合福祉 保健セン ター	5/23(月)～ 6/17(金)	①兵庫東部 (②兵庫北 部)	①三田 8 校・丹波 7 校・ 篠山 5 校・川辺郡 3 校・ 川西 7 校 (②豊岡 10 校・養父 5 校・朝来 4 校・美方 8 校)	
OC 舞 鶴	8/6(土) ・7(日)	本 校	6/20(月)～ 7/8(金)	全区域		特任:6～7校程度 その他入試委員・セ ンター長・学生主事 補・寮務主事補 (5 年担任を除く):3校 程度

* 訪問地区の()は、可能な範囲で訪問する地区。

** 中学校訪問前に、プレオープンカレッジ及びオープンカレッジの案内とポスターをEメール及び郵送にて、全地区の中学校に発信及び配信する。

*** POC はプレオープンカレッジ、OC はオープンカレッジの略称

(出典 学生課教務係)

舞鶴高専の教育と平成 24 年度入試の概要

1. 舞鶴高専の概要

○「高校」と「大学」の融合教育(本科(5年)+専攻科(2年))

本科を卒業すると準学士、技術士1次試験免除、技術士補の資格を、また、専攻科を修了すると学士の資格を授与されます。なお、本科3年修了で大学受験をすることも可能です。

○エンジニアを育成する高等教育機関

知識偏重でなく、実験実習が多く、「できること」を目指す技術者教育をしています。

国際舞台で活躍できる英語コミュニケーション教育を実施しています。

TOEIC等英語検定試験を、全学年の学生が受験しています。

(1年生は「BACE」、2年生は「ACE」、3～5年生及び専攻科生は「TOEIC」試験)

○進路は、「就職」と「進学」=6:4

【就職】

開校以来、就職を希望する学生の就職率は100%を保っており、大半の企業では大学卒と同じ待遇を受けて(年齢による給与の差はある)各企業で期待されています。(求人倍率約15倍)

【進学】

舞鶴高専は隠れた大学進学校です(すべて現役合格、塾不要)。

進学者の94%が国立4年制大学の3年次編入学、または専攻科へ入学しています。

○充実した寮生活

自立と協調性を育む環境で、540名(学生の約6割)が在寮しています。

無線LANでインターネット利用が可能です。

安価で充実した食事です(1日3食 840円)。

※ 1～2年生の男子については、全員入寮できるスペースを確保していますが(全寮制)、自宅や親戚から通学を希望する者等は、入寮免除をしています。また、女子と3～5年生の男子の場合は、毎年入寮選考を実施しています。

2. 学費(国立大学との対比)・奨学金

○学費

(平成23年4月現在、単位は円)

	高専	国立大学
入学金	84,600	282,000
授業料(年額)	234,600	535,800

○就学支援金

平成22年度より、本科1～3学年在籍(在籍36カ月以内)の学生に、年額118,800円の就学支援金が支給されます。また、証明書類の提出により、保護者の収入に応じて就学支援金が加算されて支給されます。(詳細は学校案内p16)

○授業料免除制度

本科4～5学年・専攻科1年生については授業料免除制度があります。

家計や学業成績が選考基準になります。

○奨学金

日本学生支援機構や他の制度と併せて在校生の約21%が受給しています。

同機構奨学金月額(1年生時の場合)

自宅通学 10,000円又は21,000円、自宅外通学 10,000円又は22,500円

3. 混合学級と転科制度

1～2年生は学科間の学際的交流を図る目的で、混合学級を編成しています。クラス編成に際しては「学科」、「男女」、「学力」、「寮生」、「出身中学」が均等になるように配慮しています。

4. 海外研修旅行

4年時に各学科別に学術交流協定を締結している大学、企業等へ海外研修旅行を実施しています。

その他にも、協定校との間で短期留学派遣制度(海外インターンシップ)があります。

(学術交流協定締結校、平成 23 年 4 月現在)

高麗大学(韓国)、キングモンクット工科大学(タイ)、国立高雄第一科技大学(台湾)、
大連市立職業技術学院(中国)、交通情報大学(ベトナム)、ハノイ土木大学(ベトナム)

5. 入学試験

【特別選抜試験】

(募集人員 定員 40 名の約 40% 16 名)

志望学科 第1志望のみ学科選択

出願要件 3年間9科目合計で99(平均3.66)以上

試験内容 面接+適性検査(「理科」・「数学」・「英語」3科目の基礎学力)+調査書(内申点)それぞれの配点は

調査書	適性検査	面接	合計
45	15	15	75

試験実施期日 平成 24 年 1 月 22 日(日)

試験実施場所 本校

【学力検査選抜試験】

(募集人員 定員 40 名の約 60% 24 名)

志望学科 第3志望まで学科選択可能

試験内容 全国統一の学力検査(「理科」、「英語」、「数学」、「国語」、「社会」)+調査書(内申点)それぞれの配点は

理科	英語	数学	国語	社会	調査書	合計
200	160	200	130	130	180	1000

試験実施期日 平成 24 年 2 月 19 日(日)

試験実施場所 本校を含め6会場(京都・滋賀・三田・豊岡・大阪特別会場)にて受験会場を選択。

本校の学力検査選抜試験と公立高校の入試の併願は可能です。専願と併願の差はありません。

6. プレ・オープンカレッジ開催予定

プレ・オープンカレッジは、本校(京都府舞鶴市)で開催するオープンカレッジに先立ち、学生募集の一環として本校をより深くご理解いただくことを目的とし実施するものです。舞鶴高専会場(5月22日(日))、京都会場(6月19日(日))メルパルク京都、三田会場(6月25日(土))三田市総合福祉保険センター)の3会場で開催します。

7. オープンカレッジ開催予定

今年も、舞鶴高専会場にてオープンカレッジを開催します。日程は8月6日(土)、7日(日)です。詳細等決定しましたら、後日開催通知を中学校宛発送いたします。

8. 入試説明会開催予定

中学校進路指導担当の先生、受験を希望する生徒、保護者を対象として、【未定:昨年は9月21日(火)から30日(木)】までの間、本校のほか京都、三田、亀岡、福知山、豊岡、滋賀の各会場にて入試説明会を開催します。(別途開催通知発送予定)

9. 高専祭開催予定

市中パレード (日程未定)

本祭(1日目) 10月29日(土)

本祭(2日目) 10月30日(日)

*10月29日(土)、10月30日(日)の両日も午前9時から午後4時まで中学生及びその保護者を対象に入試相談コーナーを開催しておりますので、気軽に参加してください。

(出典 学生課教務係)

年度別オープンカレッジ参加者数・入学志願者数等

年度	学科	参加学生数 (A)	入学志願者数 (倍率) (B)	(B)/(A)
平成 22 年度	機械工学科	68	60 (1.5)	88.2%
	電気情報工学科	97	59 (1.5)	60.8%
	電子制御工学科	78	68 (1.7)	87.2%
	建設システム工学科	47	57 (1.4)	121.3%
	計	290	244 (1.5)	84.1%
平成 21 年度	機械工学科	81	47 (1.2)	58.0%
	電気情報工学科	60	62 (1.6)	103.3%
	電子制御工学科	61	51 (1.3)	83.6%
	建設システム工学科	51	45 (1.1)	88.2%
	計	253	205 (1.3)	81.0%
平成 20 年度	機械工学科	70	61 (1.5)	87.1%
	電気情報工学科	83	62 (1.6)	74.7%
	電子制御工学科	61	51 (1.3)	83.6%
	建設システム工学科	54	42 (1.1)	77.8%
	計	268	216 (1.4)	80.6%
平成 19 年度	機械工学科	93	60 (1.5)	64.5%
	電気情報工学科	83	79 (2.0)	95.2%
	電子制御工学科	83	57 (1.4)	68.7%
	建設システム工学科	62	62 (1.6)	100%
	計	321	258 (1.6)	80.4%
平成 18 年度	機械工学科	85	78 (2.0)	91.8%
	電気情報工学科	57	53 (1.3)	93.0%
	電子制御工学科	62	58 (1.5)	93.5%
	建設システム工学科	48	44 (1.1)	91.7%
	計	252	233 (1.5)	92.5%
平成 17 年度	機械工学科	98	72 (1.8)	73.5%
	電気情報工学科	83	65 (1.6)	78.3%
	電子制御工学科	120	76 (1.9)	63.3%
	建設システム工学科	58	78 (2.0)	134.5%
	計	359	291 (1.8)	81.1%

(出典 学生課教務係)

オープンカレッジ参加者数と志願者数との相関表 (H21～H23)

		H21 オープンカレッジ 参加者	H22 入学試験 志願者	H22 プレ・オープン オープンカレッジ 参加者	H23 入学試験 志願者	H23 プレ・オープン オープンカレッジ 参加者	
【内訳】		161 (15)	121 (6)	169 (18)	113 (11)	231 (43)	
京都市		33 (2)	34 (2)	38 (4)	28 (0)	83 (11)	
京都府	舞鶴市	青葉	20 (4)	10 1	12 (1)	9 (1)	8 (0)
		白糸	6 (0)	9 0	9 (2)	9 (2)	18 (10)
		若浦	7 (0)	7 0	14 (1)	7 (0)	5 (0)
		城南	6 (4)	2 1	6 (0)	3 (0)	18 (3)
		和田	5 (0)	2 0	3 (1)	2 (1)	3 (0)
		城北	5 (0)	1 0	0 (0)	0 (0)	2 (0)
		加佐	1 (0)		1 (0)		2 (1)
	50 (8)	31 (2)	44 (5)	30 (4)	56 (14)		
	中丹	福知山市	15 (0)	8 0	25 (4)	8 (0)	20 (6)
		綾部市	2 (0)	2(0) 0	9 (0)	5 (0)	4 (0)
17 (0)	10 (0)	34 (4)	13 (0)	24 (6)			
丹後	宮津市	3 (0)	1 0	2 (0)	2 (0)	5 (0)	
	与謝郡	8 (1)	4 1	3 (0)	3 (1)	15 (0)	
	京丹後市	11 (2)	9 0	6 (1)	3 (0)	10 (3)	
22 (3)	14 (1)	11 (1)	8 (1)	30 (3)			
南丹	京丹波町	1 (0)	0 0	0 (0)	0 (0)	2 (2)	
	亀岡市	8 (0)	8 0	4 (2)	13 (1)	22 (2)	
	南丹市	5 (0)	5 0	20 (1)	6 (1)	7 (0)	
14 (0)	13 (0)	24 (3)	19 (2)	31 (4)			
南山城	城陽市	0 (0)	0 0	3 (0)	1 (0)	4 (0)	
	長岡京市	2 (0)	2 0	3 (0)	2 (0)	9 (0)	
	八幡市	4 (0)	2 0	1 (0)	2 (0)	1 (0)	
	京田辺市	4 (2)	2 1	1 (0)	3 (1)	3 (0)	
	木津川市	2 (0)	5 0	0 (0)	2 (1)	9 (2)	
	向日市	2 (0)	3 0	0 (0)	0 (0)	2 (0)	
	宇治市	7 (0)	4 0	5 (0)	2 (1)	18 (3)	
	相楽郡	4 (0)	0 0	1 (0)	0 (0)	1 (0)	
	綴喜郡	0 (0)	1 0	4 (1)	3 (1)	1 (0)	
	25 (2)	19 (1)	18 (1)	15 (4)	48 (5)		
【内訳】							
兵庫県	北部	12 (1)	12 1	13 (6)	4 (1)	15 (3)	
	東部	29 (1)	23 1	46 (2)	49 (1)	53 (2)	
	西部	0 (0)	2 0	0 (0)	1 (0)	0 (0)	
41 (2)	37 (2)	59 (8)	54 (2)	68 (5)			
【内訳】							
滋賀県	湖北	4 (0)	4 0	7 (0)	5 (0)	5 (0)	
	湖西	6 (0)	6 0	7 (1)	8 (0)	10 (0)	
	大津湖南	6 (0)	11 2	18 (2)	26 (3)	28 (3)	
	東近江	13 (1)	7 0	16 (2)	6 (0)	18 (1)	
29 (1)	28 (2)	48 (5)	45 (3)	61 (4)			
福井県		18 (4)	7 (1)	19 (1)	15 (1)	41 (3)	
大阪府		3 (0)	6 (0)	6 (1)	10 (1)	6 (0)	
その他		0 (0)	6 (0)	7 (0)	7 (1)	6 (0)	
計		252 (22)	205 (11)	308 (33)	244 (19)	413 (55)	

*()内は女子数(内数)

((出典 学生課教務係)

(2) プレオープンカレッジの企画と実施

プレオープンカレッジは、オープンカレッジに先立って実施し、より早い時期に、またより多くの受験希望者とその保護者に、本校への入学を検討して頂く機会を提供することを目的に企画された。平成22年度の実施が最初であり、平成23年度も続けて実施した。平成24年度も継続して実施する予定である。プレオープンカレッジは本校での開催に加え、本校から遠距離の地域でも開催している。これは本校受験希望者の居住地域が、通学不可能な遠距離の場合も多く、このような受験希望者に便宜を図るためである。またプレオープンカレッジは年度の早い時期に開催するため、専門学科の紹介においては、説明を受けたい学科を調査せず、本校の4学科すべてを等しく説明し、最初に本校全体に興味を持って頂くことを目的にしている。

オープンカレッジとは以下の点で違いを明確にし、オープンカレッジに加えてプレオープンカレッジを実施することにより、本校入学希望者の増加を目指すものである。

- 開催時期 より早い時期に実施し、本校入学を検討する機会を増やす。
- 開催場所 本校以外の遠隔地でも実施し、参加者の利便性を高める。
- 開催内容 半日で全学科の学科体験を実施し、より気軽に学校概要を理解できる。

(a) 開催日時、場所

資料1-(2)-①に示す。

(b) 対象者

開催地の近隣に居住する、本校への入学を検討している中学校生徒とその保護者

(c) 開催内容

平成22年度、平成23年度、各会場ともにほぼ同様の内容で開催した。学校全体説明と、全学科の学科体験を実施。平成22年度、平成23年度の開催の様子を1-(2)-②、1-(2)-③に示す。

●学校全体説明

教育の理念と方針、学科の構成、学寮、クラブや学生会活動等の学生の活動

●個別相談会

●学科体験

【平成22年度のテーマ】

機械工学科	「CAD/CAMの体験学習」 ～パソコンを使った製図とネームプレートづくり～
電気情報工学科	「フルカラーLEDを七色に光らせよう！」 ～学科説明と楽しいものづくり～
電子制御工学科	「ロボットと遊ぼう！」 ～学生が作ったいろんなロボットを操作できます。～
建設システム工学科	「ランプシェードの作製」 建設システム工学科ではどんな勉強をするのか？ ～学生による解説～

【平成23年度テーマ】

機械工学科	「ものづくり工作法の体験」
電気情報工学科	「テスターを使ってみよう！」
電子制御工学科	「ロボットと遊ぼう！」
建設システム工学科	「ミラノ [®] シェード [®] の製作, 紙ブリッジコンテスト, 振動実験ぶるるくん, 顕微鏡観察」

(d) 参加者数

資料 1-(2)-④に示す。

(e) アンケート結果

平成22年度京都会場のアンケート結果を資料 1-(2)-⑤に示す。

平成22年度本校(舞鶴)会場のアンケート結果を資料 1-(2)-⑥に示す。

平成23年度京都会場のアンケート結果を資料 1-(2)-⑦に示す。

平成23年度本校(舞鶴)会場のアンケート結果を資料 1-(2)-⑧に示す。

平成23年度三田会場のアンケート結果を資料 1-(2)-⑨に示す。

参加者の評価は全体的にかなり高い。特に開催地に対しての満足度は非常に高く、会場へのアクセスの利便性を考慮した点が評価された。開催時期は平成22年度と平成23年度では異なるが、中学校3年生の非常に早い時期での開催が両年度で評価されている。実施時間もその内容と対応して適度な時間であると評価されている。実施内容においては、各学科が実施した学科体験の評価が高い。本校に興味を持つ中学生には、実際のものづくりや実習などの実施が効果的な本校のアピールになっている。プレオープンカレッジ開催の連絡や、参加についての相談、推薦は、中学校教諭を通じて行われることが多いことがわかる。平成23年度は中学校への訪問が効果的に行われるよう計画され、実態に合った計画であったと思われる。また中学校が数多く存在する京都市近辺の地域では、すべての中学校を訪問していないため、ポスターやホームページによって中学生がプレオープンカレッジの開催を知ることが多い。ポスターやホームページの充実も効果的であることがわかる。

(f) 入学志願者増加への効果

プレオープンカレッジが開催されなかった平成20年度と平成21年度のオープンカレッジへの中学校生徒の参加者数は、それぞれ268名と253名である。これに対してプレオープンカレッジが開催された平成22年度と平成23年度は、それぞれ281名と354名である。プレオープンカレッジが開催された年度は、開催されなかった年度に対して、両年度ともにオープンカレッジへの中学校生徒の参加者数が増加している。特に平成23年度はプレオープンカレッジへの参加者数が平成22年度から大幅に増加したため、オープンカレッジへの参加者数も大幅に増加した。

オープンカレッジの参加者数と、入学志願者数はほぼ比例関係にある。したがってプレオープンカレッジの開催がオープンカレッジへの参加者数の増加に寄与しているならば、結果的に入学志願者増加にも寄与していると考えられる。

年度	開催場所	開催日時
平成 22 年度 (全 2 会場)	メルパルク京都 〒600-8216 京都市下京区東洞院通七 条下ル東塩小路町 676 番 13	平成 22 年 6 月 26 日 (土) 受付開始 13 時 30 分 14 時～16 時 30 分
		平成 22 年 7 月 10 日 (土)
	本校(舞鶴) (午前と午後の部の 2 回開催)	午前の部 ----- 受付開始 9 時 30 分 10 時～12 時 30 分
		午後の部 ----- 受付開始 13 時 30 分 14 時～16 時 30 分
平成 23 年度 (全 3 会場)	本校(舞鶴) (午前と午後の部の 2 回開催)	平成 23 年 5 月 22 日 (日)
		午前の部 ----- 受付開始 9 時 30 分 10 時～12 時 30 分
		午後の部 ----- 受付開始 13 時 30 分 14 時～16 時 30 分
	メルパルク京都 〒600-8216 京都市下京区東洞院通七 条下ル東塩小路町 676 番 13	平成 23 年 6 月 19 日 (日) 受付開始 13 時 30 分 14 時～16 時 30 分
	三田市総合福祉保健センター 〒669-1514 三田市川除 675	平成 22 年 6 月 25 日 (土) 受付開始 13 時 30 分 14 時～16 時 30 分

(出典 学生課教務係)

平成 22 年度プレオープンカレッジ 京都会場



全体説明



個別相談会



学科体験(機械工学科)



学科体験(電気情報工学科)



学科体験(電子制御工学科)



学科体験(建設システム工学科)

(出典 学生課教務係)

平成 2 2 年度プレオープンカレッジ 本校会場



全体説明



個別相談会



学科体験(機械工学科)



学科体験(電気情報工学科)



学科体験(電子制御工学科)



学科体験(建設システム工学科)

(出典 学生課教務係)

平成 23 年度プレオープンカレッジ 本校会場



全体説明



個別相談会



学科体験(機械工学科)



学科体験(電気情報工学科)



学科体験(電子制御工学科)



学科体験(建設システム工学科)

平成23年度プレオープンカレッジ 京都会場



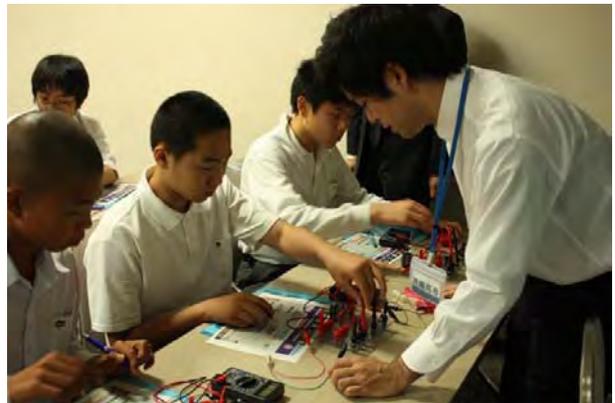
全体説明



個別相談会



学科体験(機械工学科)



学科体験(電気情報工学科)



学科体験(電子制御工学科)



学科体験(建設システム工学科)

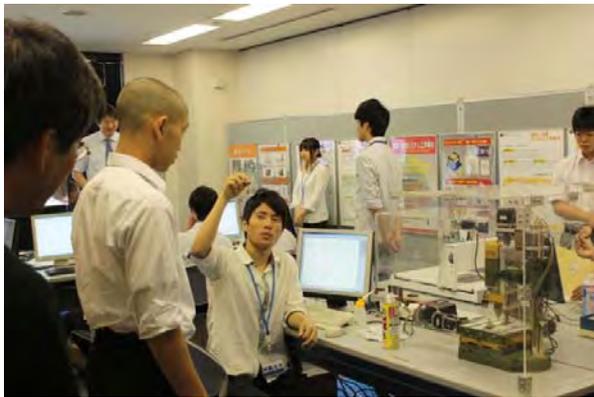
平成23年度プレオープンカレッジ 三田会場



全体説明



個別相談会



学科体験(機械工学科)



学科体験(電気情報工学科)



学科体験(電子制御工学科)



学科体験(建設システム工学科)

(出典 学生課教務係)

平成 22 年度プレオープンカレッジ参加者数

開催日		6 月 26 日(土)		7 月 10 日(土)		合計
会場		京都		舞鶴(午前)	舞鶴(午後)	
生徒数	男子	43		29	36	108
	女子	3		5	3	11
	計	46		34	39	119
保護者数		43		39	37	119
教員数		2		0	0	2
合計		91		73	76	240
中学校数		41(塾 1 を含む)		27	23	91

平成 22 年度プレオープンカレッジ地域別中学生参加者数

府県	京都 (※本校は中丹地域に所在)					滋賀	兵庫	その他	合計
地域	山城	京都市	南丹	中丹	丹後				
中学生数	11	15	12	24	5	22	20	10	119

平成 23 年度プレオープンカレッジ参加者数 ※()は平成 22 年度

開催日		5 月 22 日(日)		6 月 19 日(日)	6 月 25 日(土)	合計
会場		舞鶴(午前)	舞鶴(午後)	京都	三田	
生徒数	男子	37 (29)	26 (36)	71 (43)	19	153 (108)
	女子	10 (5)	6 (3)	9 (3)	2	27 (11)
	計	47 (34)	32 (39)	80 (46)	21	180 (119)
保護者数		50 (39)	25 (37)	86 (43)	29	190 (119)
教員数		0 (0)	0 (0)	2 (2)	0	2 (2)
合計		97 (73)	57 (76)	168 (91)	50	372 (240)
中学校数		25 (27)	21 (23)	58 (41)	15	119 (91)

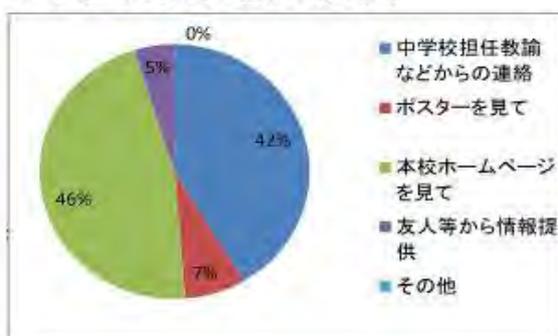
平成 23 年度プレオープンカレッジ地域別中学生参加者数 ※()は平成 22 年度

府県	京都 (※本校は中丹地域に所在)					滋賀	兵庫	その他	合計
地域	山城	京都市	南丹	中丹	丹後				
中学生数	23(11)	36(15)	17(12)	37(24)	6(5)	20(22)	22(20)	19(10)	180(119)

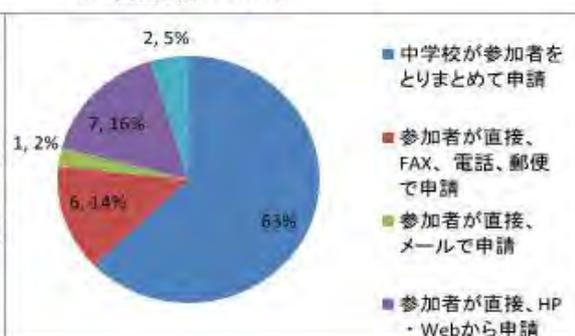
(出典 学生課教務係)

プレ・オープンカレッジ2010アンケート集計結果(京都会場)

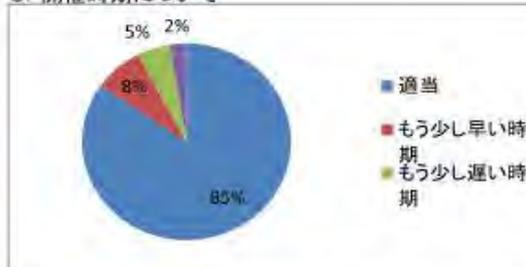
1. プレ・オープンカレッジを知ったきっかけ



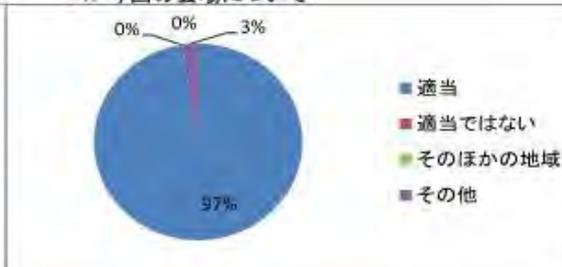
2. 申込方法について



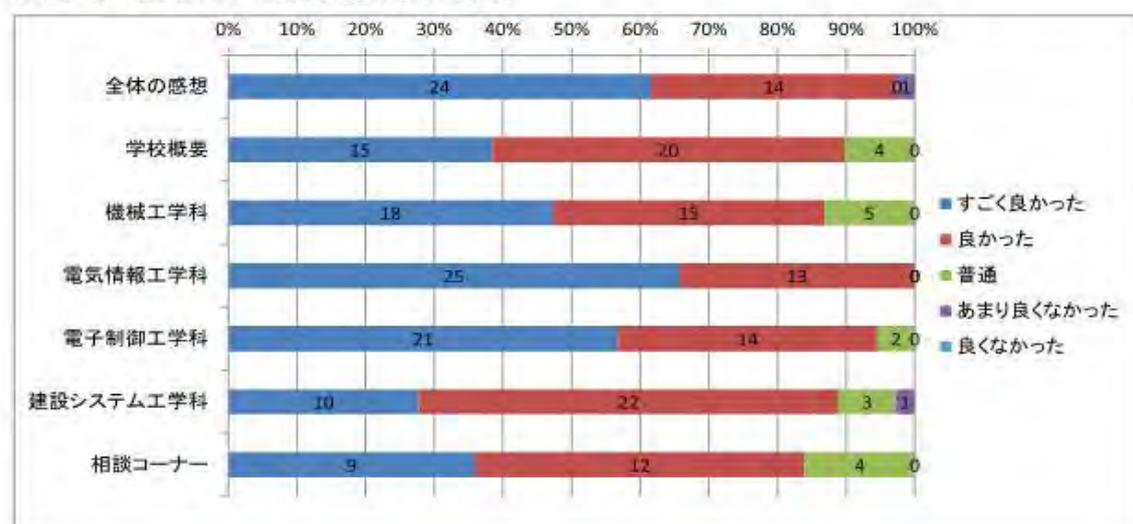
3. 開催時期について



4. 今回の会場について



5. プレ・オープンカレッジの内容・運営方法について



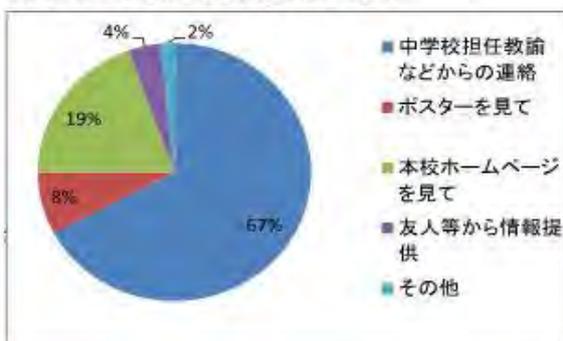
6. 実施時間について



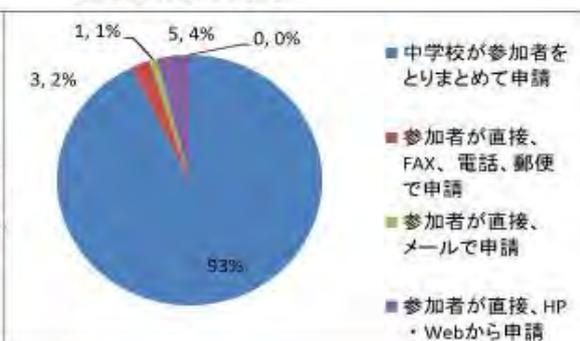
(出典 学生課教務係)

プレ・オープンカレッジ2010アンケート集計結果(舞鶴会場)

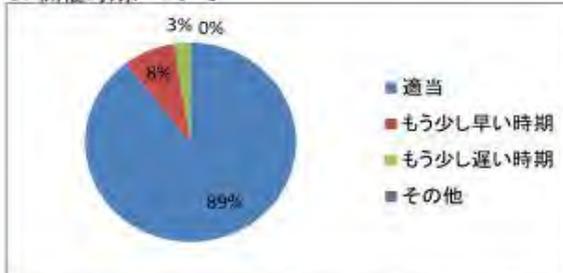
1. プレ・オープンカレッジを知ったきっかけ



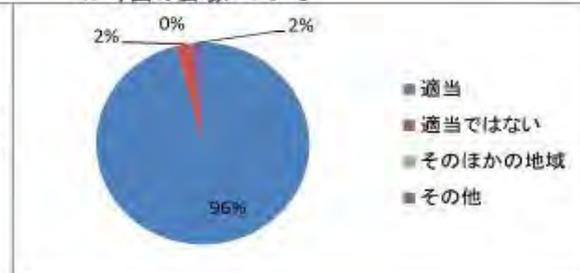
2. 申込方法について



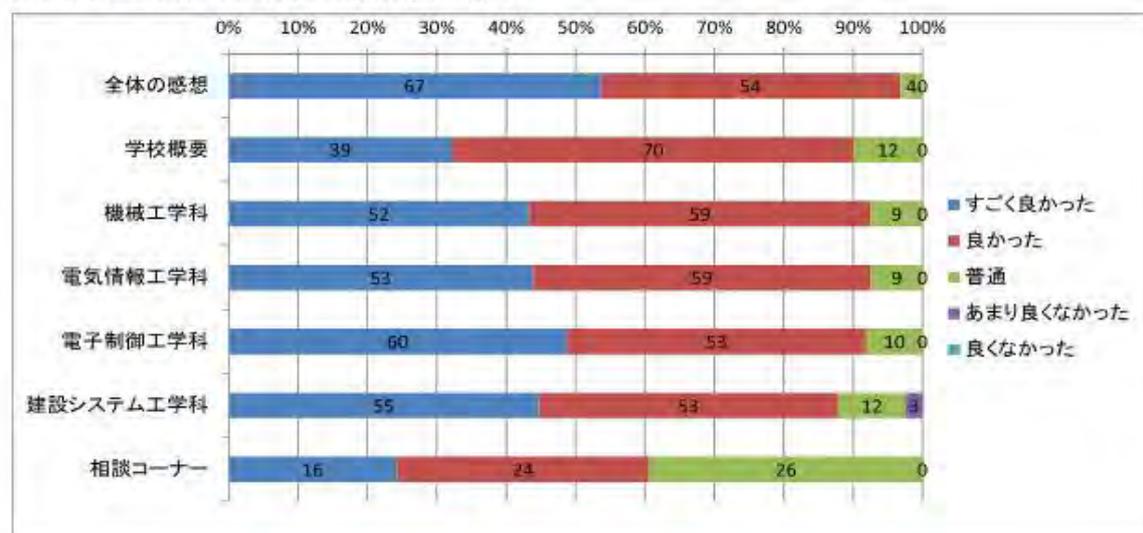
3. 開催時期について



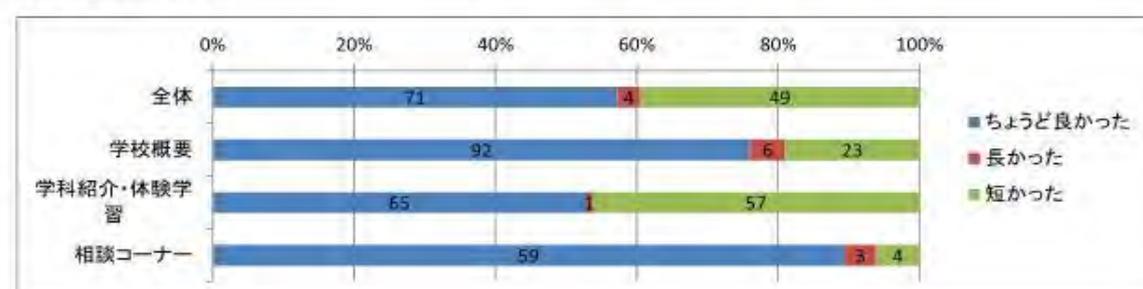
4. 今回の会場について



5. プレ・オープンカレッジの内容・運営方法について



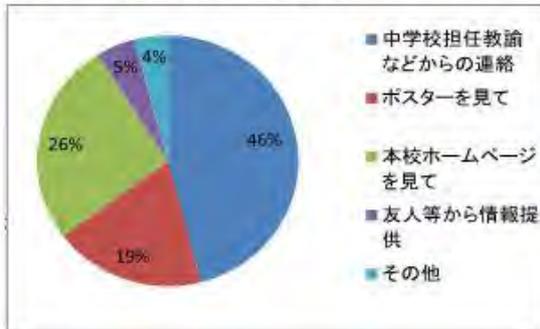
6. 実施時間について



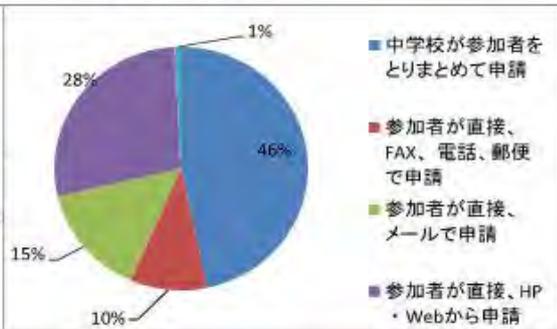
(出典 学生課教務係)

プレ・オープンカレッジ2011アンケート集計結果(京都会場)

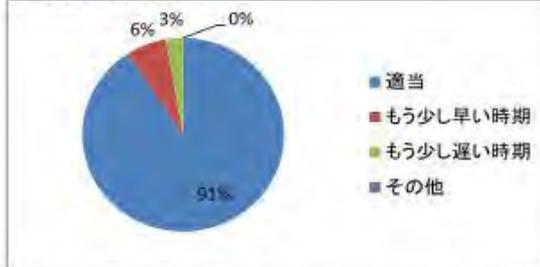
1. プレ・オープンカレッジを知ったきっかけ



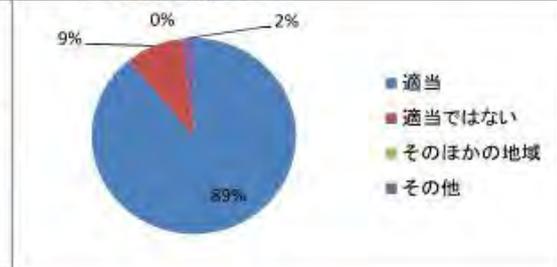
2. 申込方法について



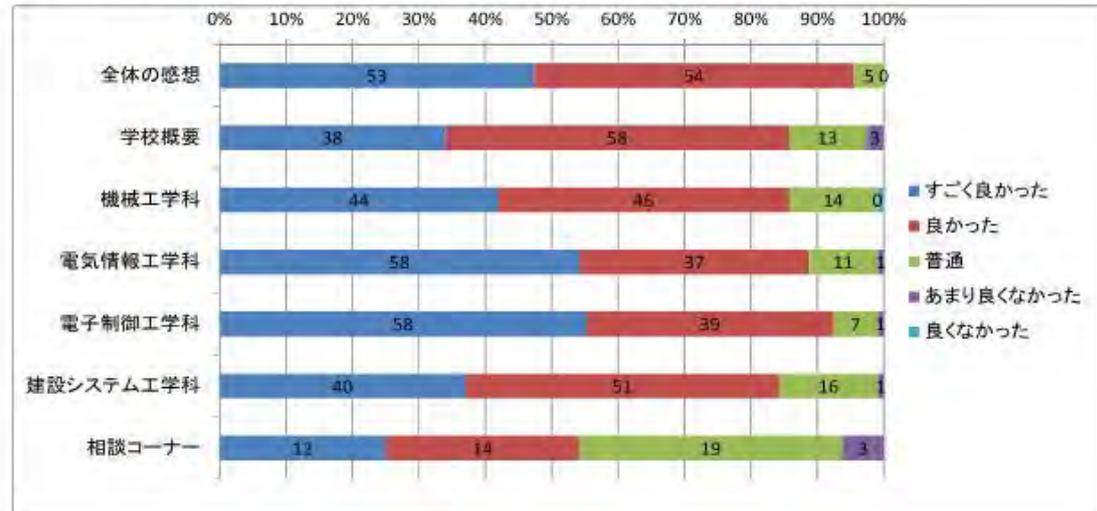
3. 開催時期について



4. 今回の会場について



5. プレ・オープンカレッジの内容・運営方法について



6. 実施時間について

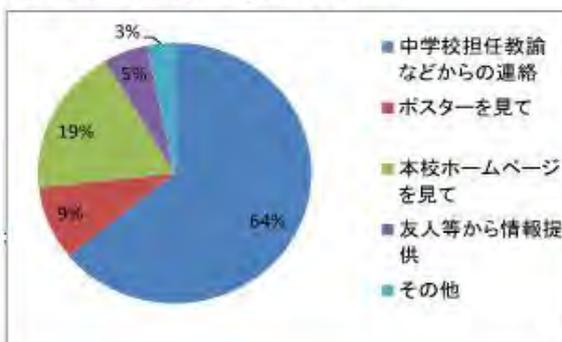


(出

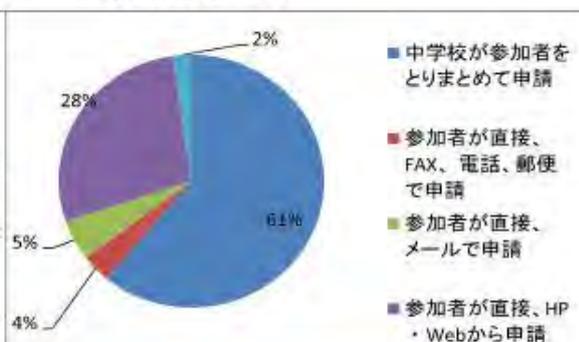
典 学生課教務係)

プレ・オープンカレッジ2011アンケート集計結果(舞鶴会場)

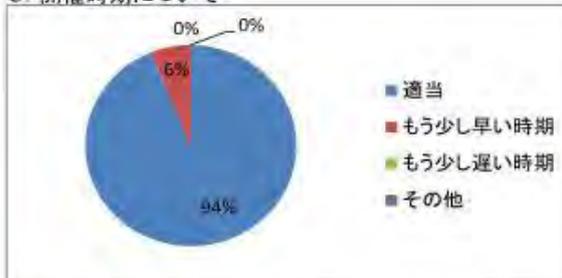
1. プレ・オープンカレッジを知ったきっかけ



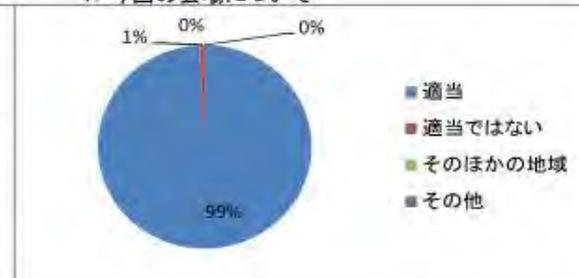
2. 申込方法について



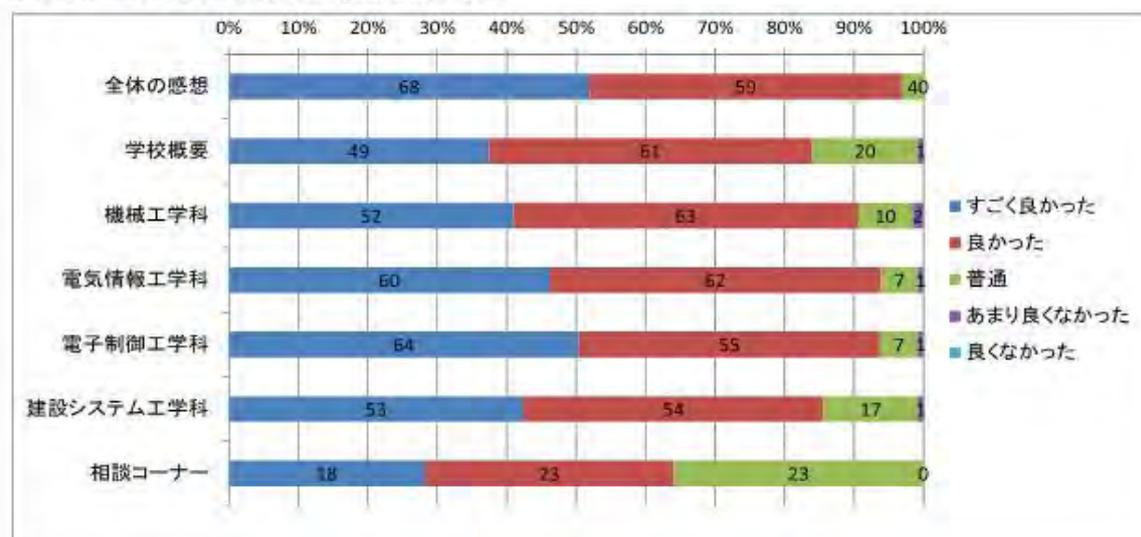
3. 開催時期について



4. 今回の会場について



5. プレ・オープンカレッジの内容・運営方法について



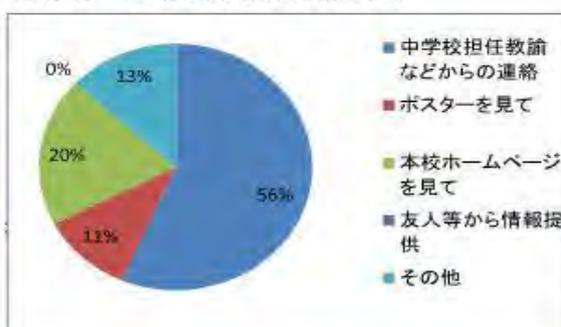
6. 実施時間について



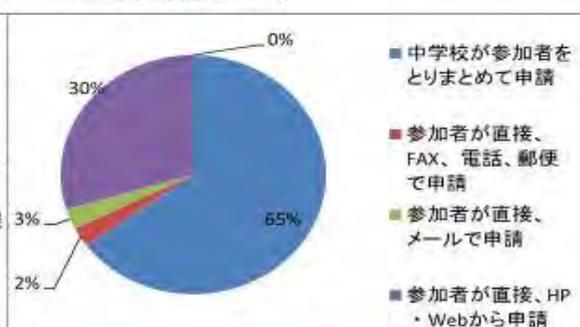
(出典 学生課教務係)

ブレ・オープンカレッジ2011アンケート集計結果(三田会場)

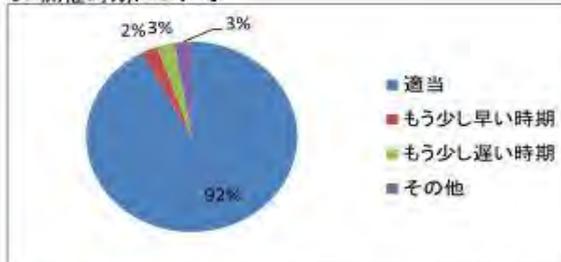
1.ブレ・オープンカレッジを知ったきっかけ



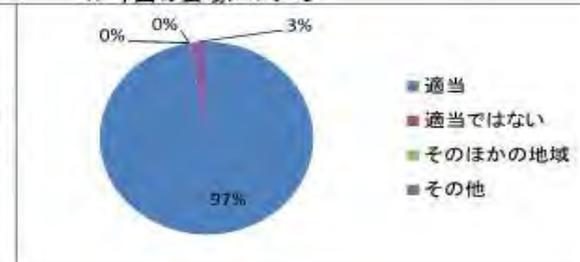
2. 申込方法について



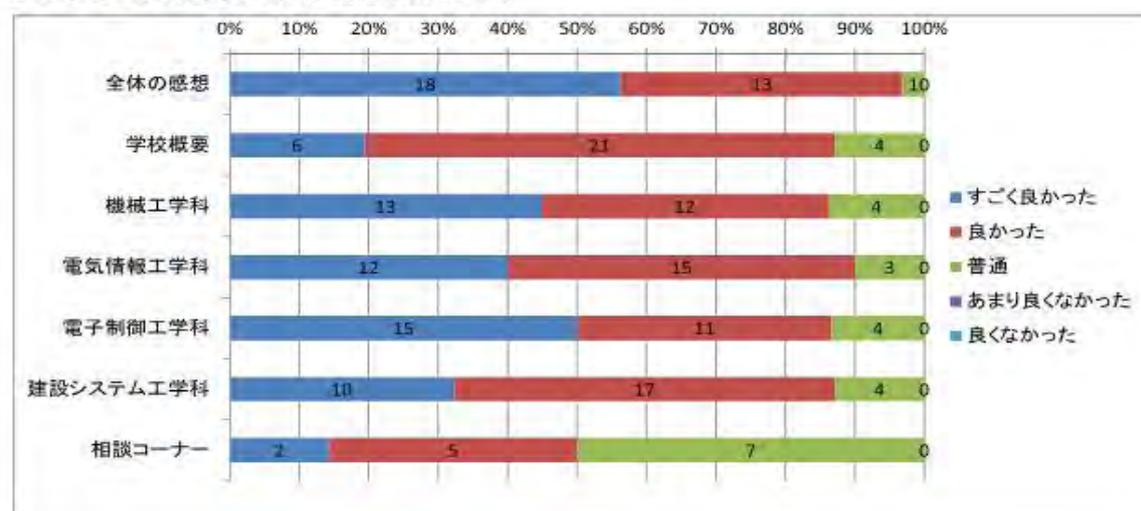
3. 開催時期について



4. 今回の会場について



5. ブレ・オープンカレッジの内容・運営方法について



6. 実施時間について



(出典 学生課教務係)

(3) オープンカレッジの実施

最近のオープンカレッジにおいては例年からの大きな変更はないが、小さな変更としては以下の点がある。

- 平成21年度 開催日を金、土曜日の2日間から、土、日曜日の2日間に変更
- 平成22年度 体験学習が受講できる学科の数を1学科から2学科に変更
- 平成23年度 東舞鶴駅からの便に加え、無料送迎バスを京都駅と三田市からも運行
以前に金曜日に開催していたのは、中学校教諭の参加を想定してのことであった。しかし中学校教諭の参加はほぼ無いので、一般の参加者の利便性を優先し土曜日、日曜日の開催とした。また体験学習を受講できる学科の数を増やしたのは、入学試験において志望者は志望学科を複数選択し、志望順位を決定しなければいけないという事情に対応したものである。無料送迎バスの遠隔地域からの運行は、参加者の利便性向上が図れば、その地域からはより多くの参加者が見込まれると予想されたためである。

(a) 開催日時、場所

例年、オープンカレッジは2日間の開催である。両日とも同じ内容で開催している。開催場所は本校である。平成22年度と平成23年度の開催日時を示す。

- 平成22年度 8月7日(土)、8月8日(日) 8:30~15:00
- 平成23年度 8月6日(土)、8月7日(日) 8:30~15:00

(b) 対象者

本校への入学を検討している中学校生徒とその保護者

(c) 開催内容

平成22年度、平成23年度のオープンカレッジ実施の様子を、資料1-(3)-①、資料1-(3)-②にそれぞれ示す。

【午前】

- 自由見学
 - ・専門学科の展示・実演
 - ・施設見学（学生寮、情報科学センター、図書館）
 - ・クラブと学生会の展示・実演（ロボットコンテスト作品、プログラミングコンテスト作品、エコラン作品、高専祭（学園祭）の作品、華道部展示）
 - ・個別受験相談（※午前中の個別相談は平成23年度から実施）
- 学校説明（80分）※参加者を3班に分け、班ごとに集合して実施
 - ・教育の理念と内容、学科の構成、学寮、クラブや学生会活動等の学生の活動
 - ・専門4学科の説明

【午後】（※午後は中学校生徒と保護者が別々の実施内容）

- 中学生対象 学科別体験学習

中学生は最初に学科を選択し、各学科が用意する2つのテーマからさらに1つを選択して体験学習を受講する。2つのテーマが受講できる時間(50分×2)が用意されているので、中学生は2つの学科のそれぞれ1テーマの体験学習を受講できる。

・平成22年度 体験学習テーマ

機械工学科	「オリジナル木製置時計を作ろう」 「種々のエコーに乗って操作・走行してみよう」
電気情報工学科	「ミニエレキギターの製作」 「3次元プログラミングによるアニメーションの制作」
電子制御工学科	「楽しい電子おもちゃ ～魔法の鉛筆～」 「ロボットと遊ぼう～魔法のブロック～」
建設システム工学科	「3DCGによる住宅の設計」 「トラス構造物の製作」

・平成23年度 体験学習テーマ

機械工学科	「オリジナル木製置時計を作ろう」 「種々のエコーに乗って操作・走行してみよう」
電気情報工学科	「光の落書きセットを作ろう！」 「ゲームプログラミングに挑戦！」
電子制御工学科	「楽しい電子おもちゃ ～魔法の鉛筆～」 「ロボットと遊ぼう～魔法のブロック～」
建設システム工学科	「試してみよう「ちから」と「かたち」のデザイン」 「住宅建築の模型を作ってみよう！」

●保護者対象 保護者向け学校説明会，個別受験相談

午前中の「学校説明」よりも詳細な内容を説明。

(d) 参加者数

資料 1-(3)-③に示す。

(e) アンケート結果

平成22年度の中学生と保護者のアンケート結果を，それぞれ資料 1-(3)-④，資料 1-(3)-⑤に，平成23年度のアンケート結果を同様に資料 1-(3)-⑥，資料 1-(3)-⑦に示す。

オープンカレッジの周知には，中学校を訪問し進路指導担当教諭に説明するのと同様に，中学3年生全員への案内チラシ配布を依頼したのが効果的であった。訪問しなかった中学校にも，中学3年生全員分または相当数の案内チラシを送付している。充実した案内チラシの作成が重要であった。平成23年度から実施したラジオ放送による案内はオープンカレッジを知ったきっかけとしてはあまり確認できないが，実施を追認してもらうには効果があったと思われる。放送回数を増やせばその効果がさらに高まる可能性がある。

実施内容においては全体的に高い評価であるが，生徒と保護者を比較すると保護者の評価が少しだけ低い。中学校生徒にはオープンカレッジにおいて新しい体験を提供できたことが評価につながったと考える。学校概要，学科説明といった集団で着席して行う説明よりは，学科展示，クラブ展示などの実際のものに触れながらの個別説明の方が中学校生徒の評価は高い。学寮見学の評価が他と比較すると少し低い。学校定員の約6割が生活する大規模寮は本校の大きな特徴であり，第1，第2学年は全寮制であるので，入学志望者にとって学寮見学はオープンカレッジ参加の重要な目的の1

つと考える。実施内容や実施時間の見直しを検討する必要がある。

入学を希望する学科の割合は電子制御工学科が最も高く、建設システム工学科が最も低い。機械工学科と電気情報工学科はその中間程度である。

卒業後の希望進路は、進学が約 5 割、就職が約 4 割、その他が約 1 割となっている。充実した進路指導による優良企業への就職、国公立大学への編入学が、本校の魅力となっているのは以前から変わらない。進学希望の 3~4 割が本校の専攻科を希望している。専攻科の充実も入学志望者の増加に効果があると考えられる。

多くの参加者が本校の魅力としているのは、低額な学費と生活費で高いレベルの教育を受けられ、卒業時には充実した進路が選択できるということであった。学費は一般の高等学校より高額であるが、高等学校、大学というコースと、本校 5 年間の課程とを比較されていると思われる。また学生寮への入寮により生活費が低く抑えられることも魅力のようである。やはり学生寮の充実は本校の入学希望者増加に大きな効果があると思われる。兄弟、姉妹での入学者も多く、教育費を考慮し、本校が選択される場合も多いようである。

(f) 入学志願者増加への効果

オープンカレッジの参加者数と入学志願者の人数は、前述の通りほぼ例年比例関係にある。資料 1-(3)-⑧に年度ごとのオープンカレッジ参加者数と入学志願者数の推移を示す。最近オープンカレッジ参加者数の約 8 割以上の人数が受験者数となっている。さらに受験者の割合を増加させる努力も必要であるが、オープンカレッジへの参加が果たされれば、本校の魅力が十分に伝えられていると考えられる。やはりより多くの中学生に本校の存在を知らせ、オープンカレッジ開催を広く周知し、参加者の増加を目指すことが入学志願者の増加には効果的であると考えられる。

平成22年度オープンカレッジ



学校説明(午前)



学科展示(建設システム工学科)



学寮見学(食堂)



クラブ展示(ロボコン)



学科別体験学習(機械工学科)



学科別体験学習(電気情報工学科)



学科別体験学習(電子制御工学科)



学科別体験学習(建設システム工学科)
(出典 学生課教務係)

平成 23 年度オープンカレッジ



学校説明(午前)



学科展示(電子制御工学科)



学寮見学(男子寮)



クラブ展示(エコラン)



学科別体験学習(機械工学科)



学科別体験学習(電気情報工学科)



学科別体験学習(電子制御工学科)



学科別体験学習(建設システム工学科)
(出典 学生課教務係)

平成 22 年度オープンカレッジ参加者数 ※()は前年度の参加者数を示す。

開催日		8 月 7 日(土)	8 月 8 日(日)	合計
中学生数	男子	106 ----- (102)	145 ----- (127)	251 ----- (229)
	女子	12 ----- (15)	18 ----- (9)	30 ----- (24)
	計	118 ----- (117)	163 ----- (136)	281 ----- (253)
保護者数		115 ----- (121)	190 ----- (188)	305 ----- (309)
教員数		3	0	0
合計		236 ----- (238)	353 ----- (324)	589 ----- (562)

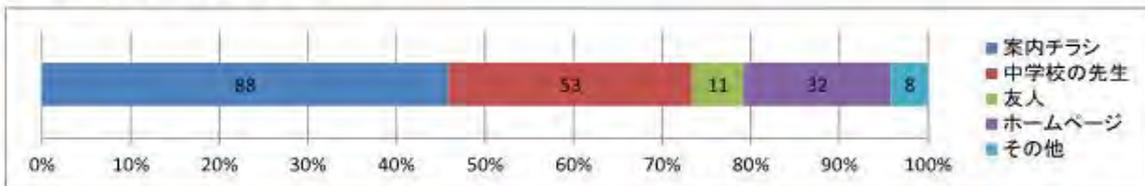
平成 23 年度オープンカレッジ参加者数 ※()は前年度の参加者数を示す。

開催日		8 月 6 日(土)	8 月 7 日(日)	合計
中学生数	男子	175 ----- (106)	140 ----- (145)	315 ----- (251)
	女子	22 ----- (12)	17 ----- (18)	39 ----- (30)
	計	197 ----- (118)	157 ----- (163)	354 ----- (281)
保護者数		199 ----- (115)	184 ----- (190)	383 ----- (305)
教員数		0	0	0
合計		396 ----- (236)	341 ----- (353)	737 ----- (589)
送迎バス 利用者	東舞鶴	32	10	42
	京都駅	66	64	130
	三田市	20	25	45

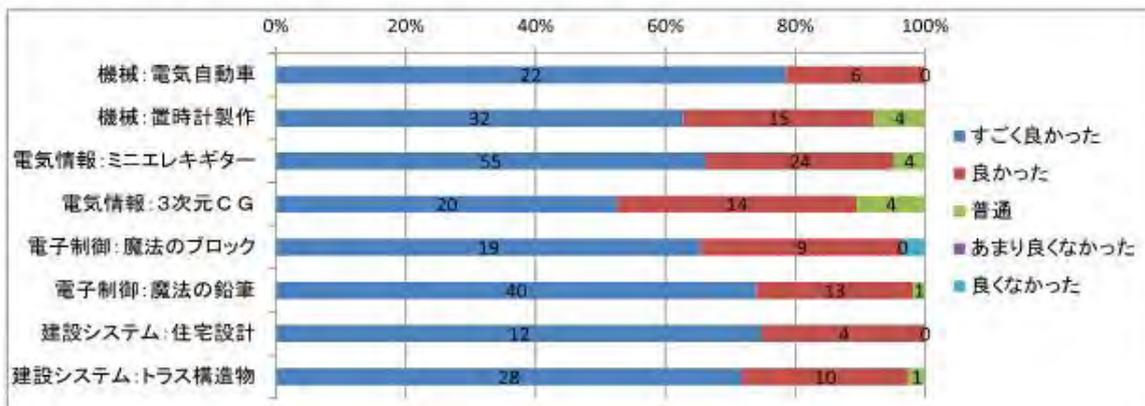
(出典 学生課教務係)

オープンカレッジ2010アンケート集計結果(生徒)

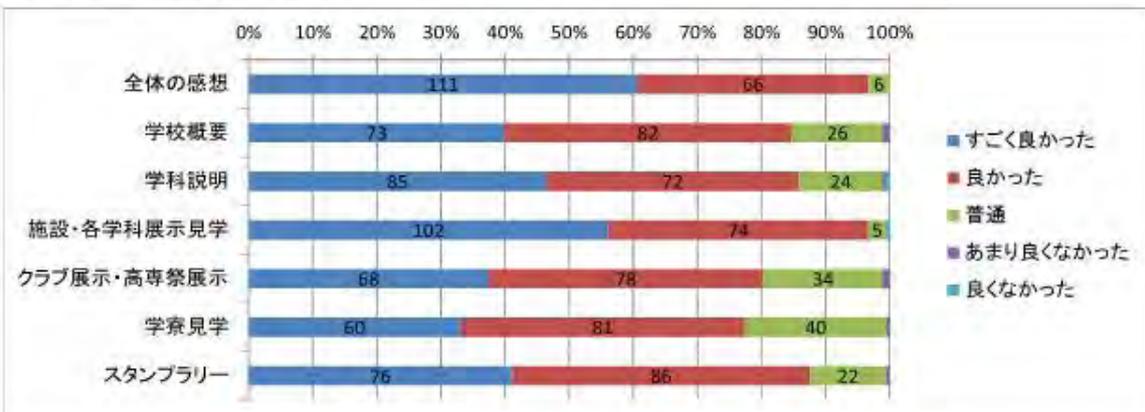
Q1. オープンカレッジを知ったきっかけ



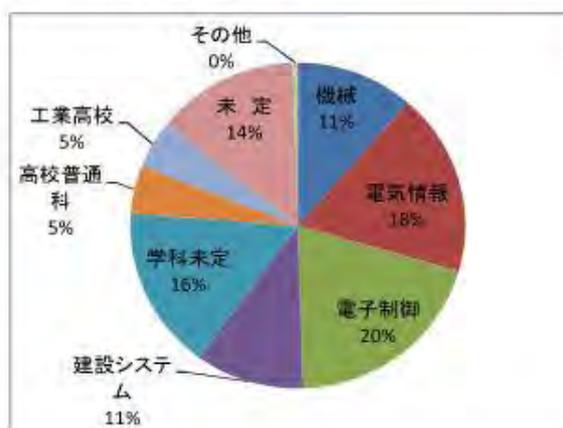
Q2. 体験学習の感想



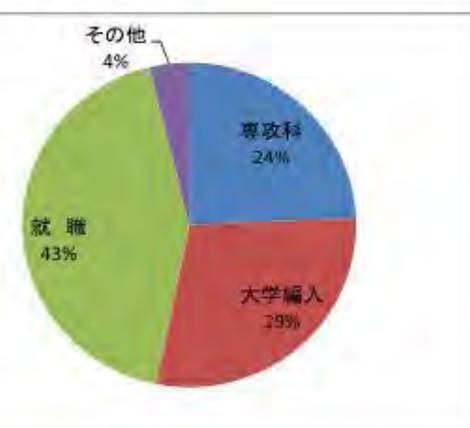
Q3. Q4 オープンカレッジの内容について



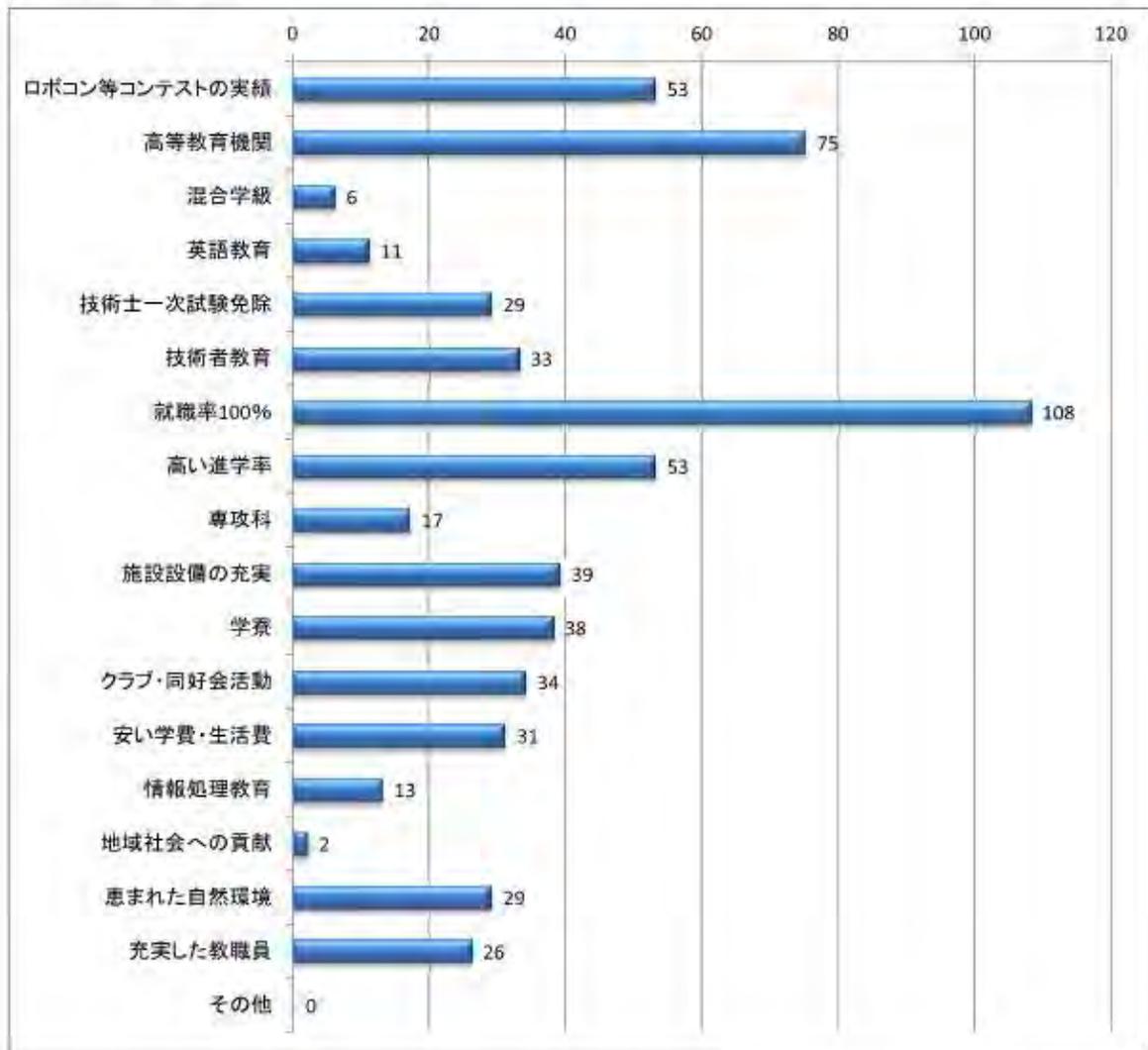
Q5. 現時点での希望の進路



Q6. 卒業後の進路



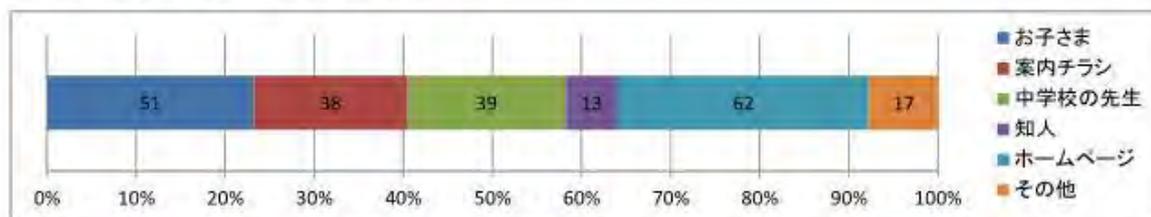
Q7 現在の本校の魅力



(出典 学生課教務係)

オープンカレッジ2010アンケート集計結果(保護者)

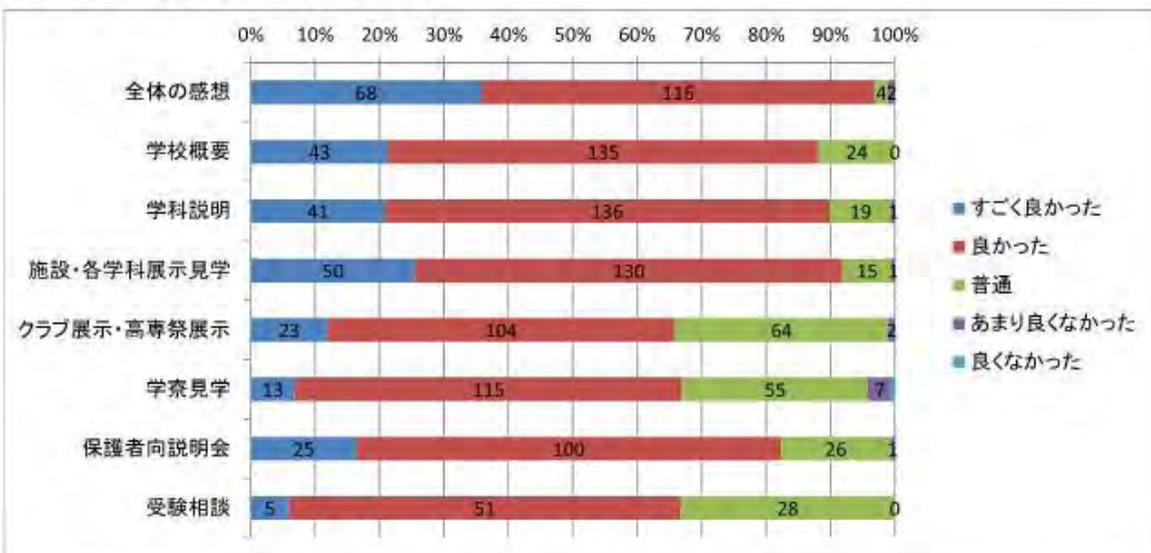
Q1. オープンカレッジを知ったきっかけ



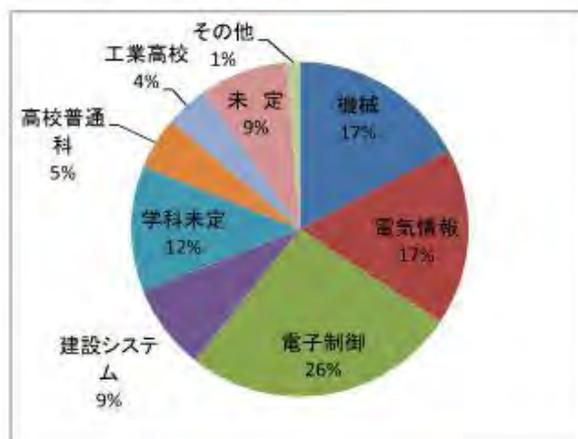
Q2. 子どもが選択した体験学習



Q3. Q4 オープンカレッジの内容について



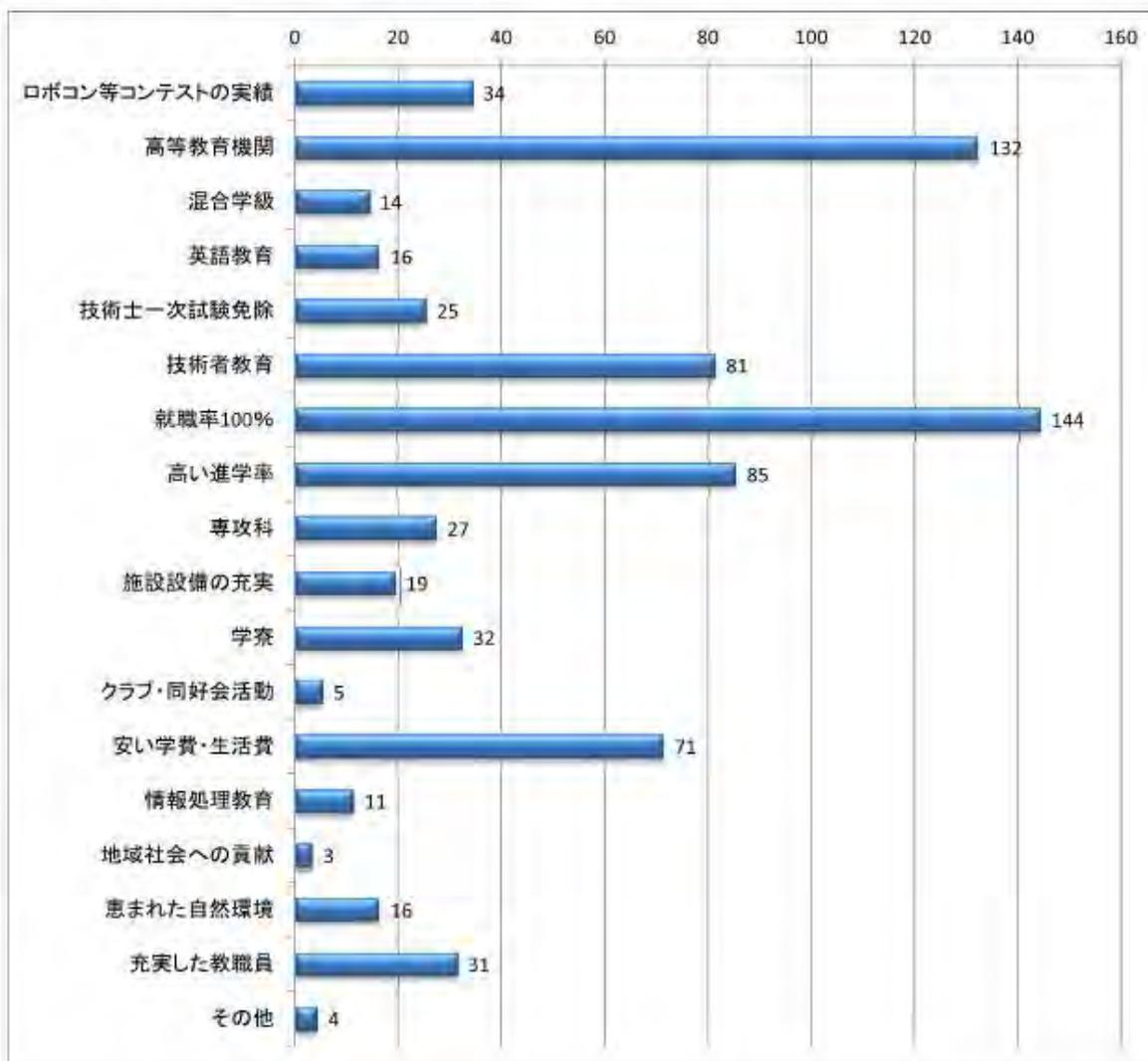
Q5. 現時点での希望の進路



Q6. 卒業後の進路



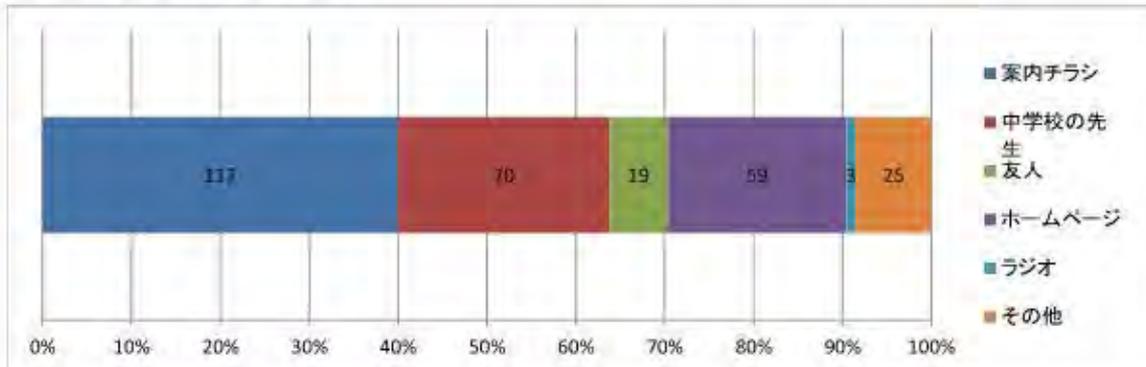
Q7 現在の本校の魅力



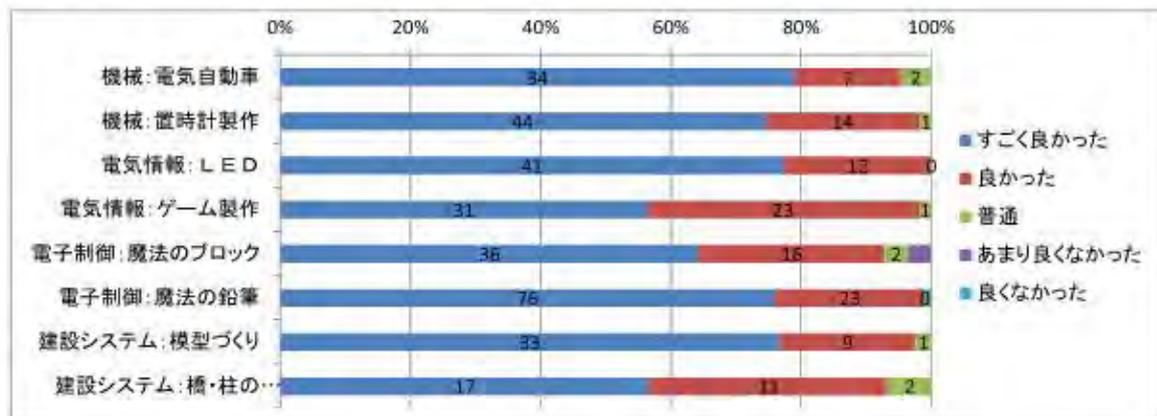
(出典 学生課教務係)

オープンカレッジ2011アンケート集計結果(生徒)

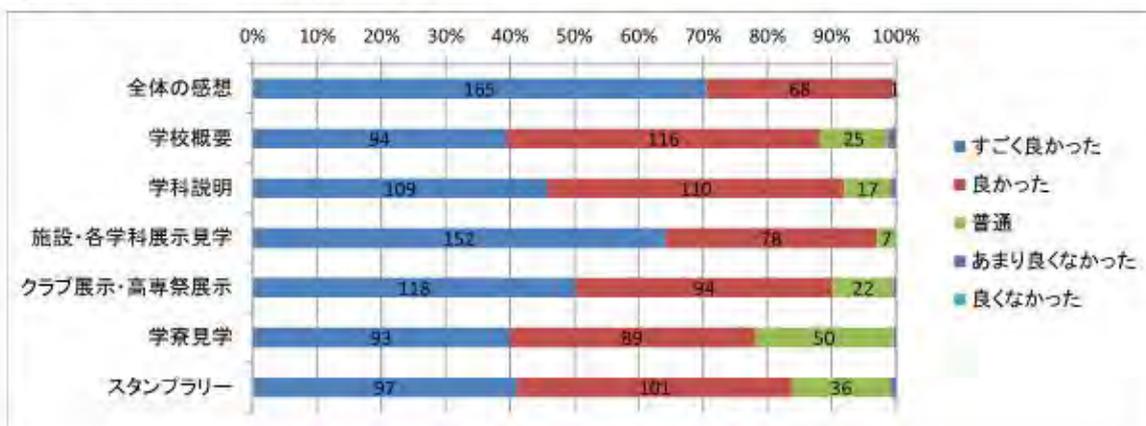
Q1. オープンカレッジを知ったきっかけ



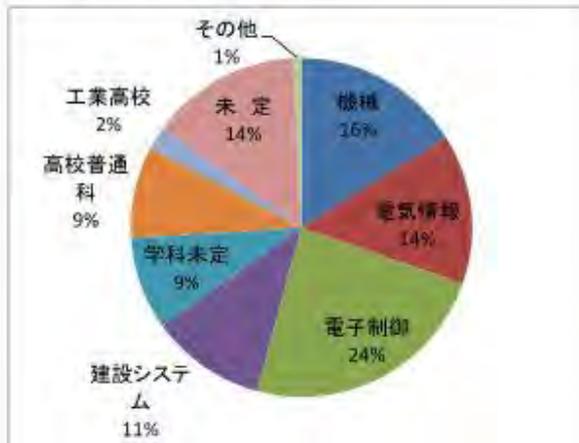
Q2. 体験学習の感想



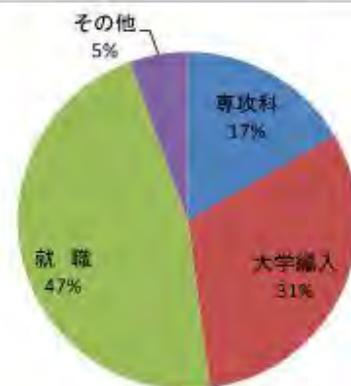
Q3, Q4 オープンカレッジの内容について



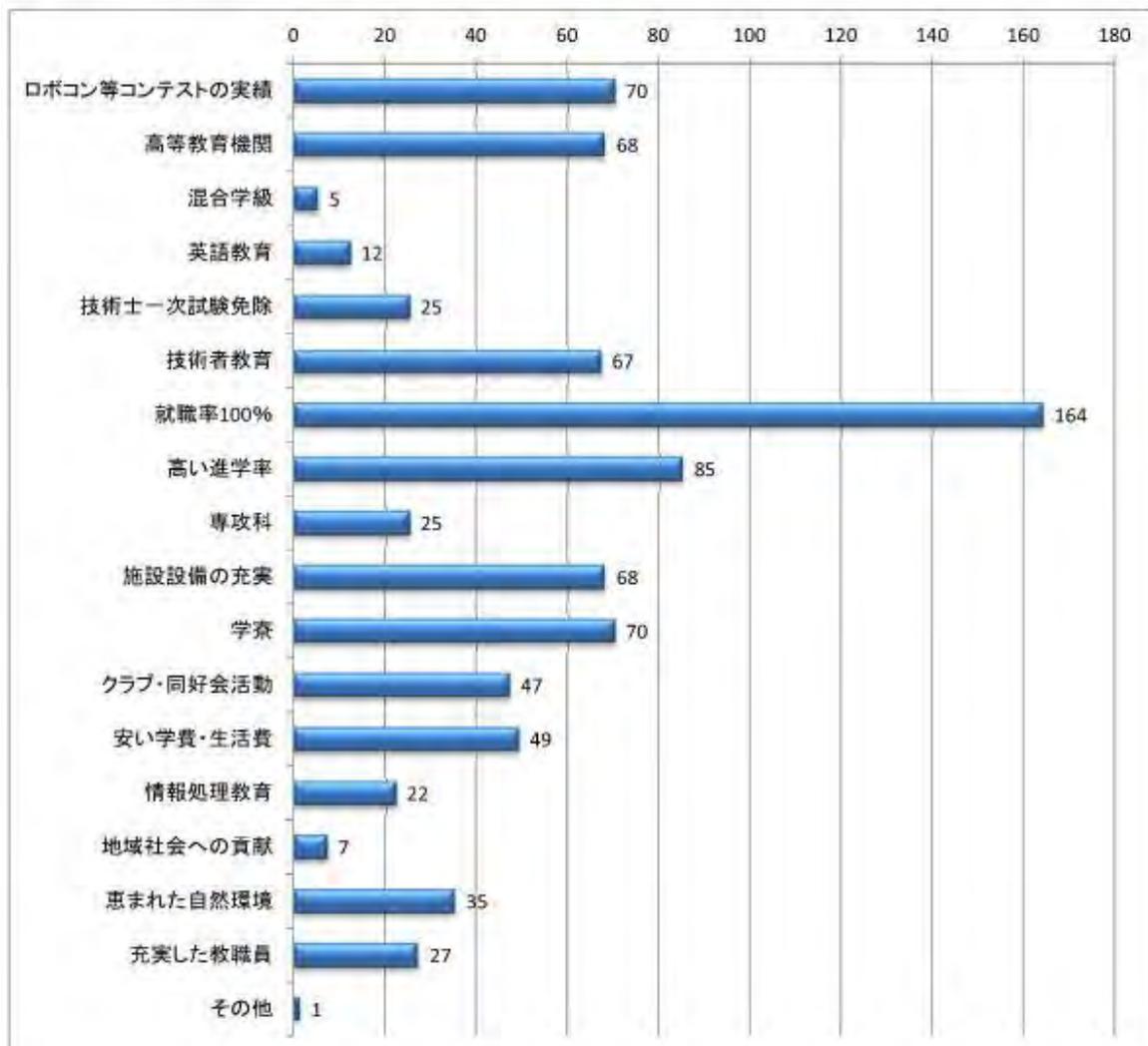
Q5. 現時点での希望の進路



Q6. 卒業後の進路



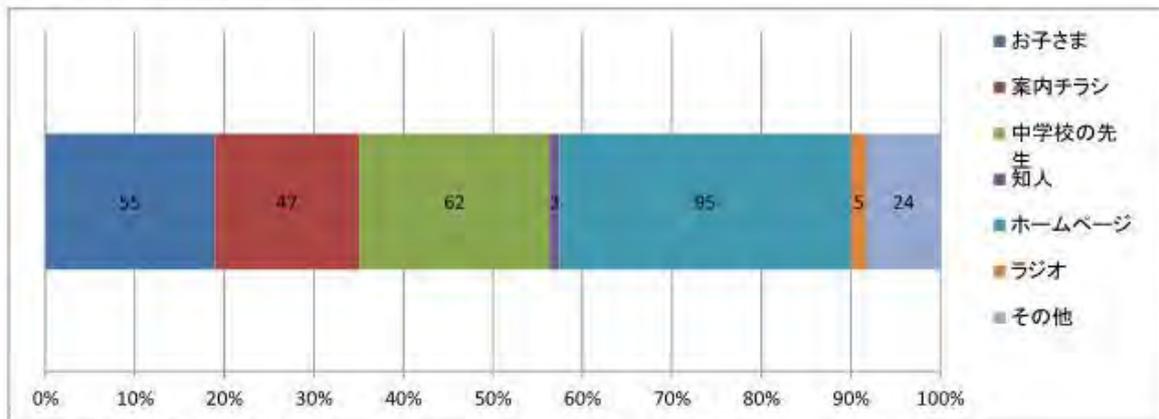
Q7 現在の本校の魅力



(出典 学生課教務係)

オープンカレッジ2011アンケート集計結果(保護者)

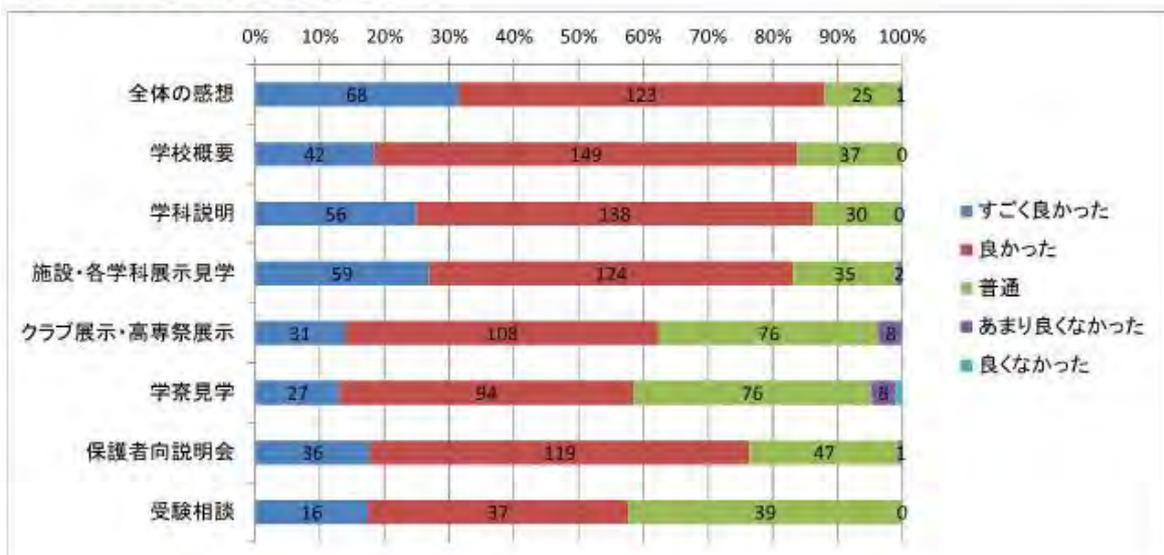
Q1. オープンカレッジを知ったきっかけ



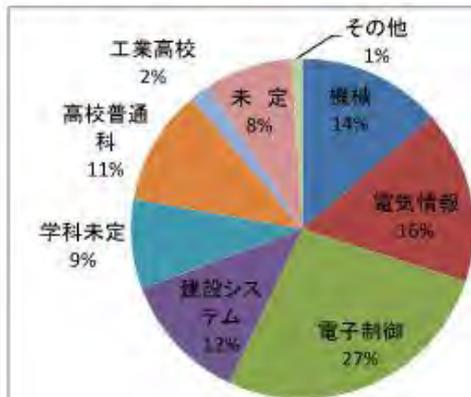
Q2. 子どもが選択した体験学習



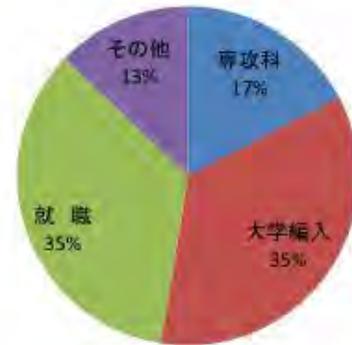
Q3. Q4 オープンカレッジの内容について



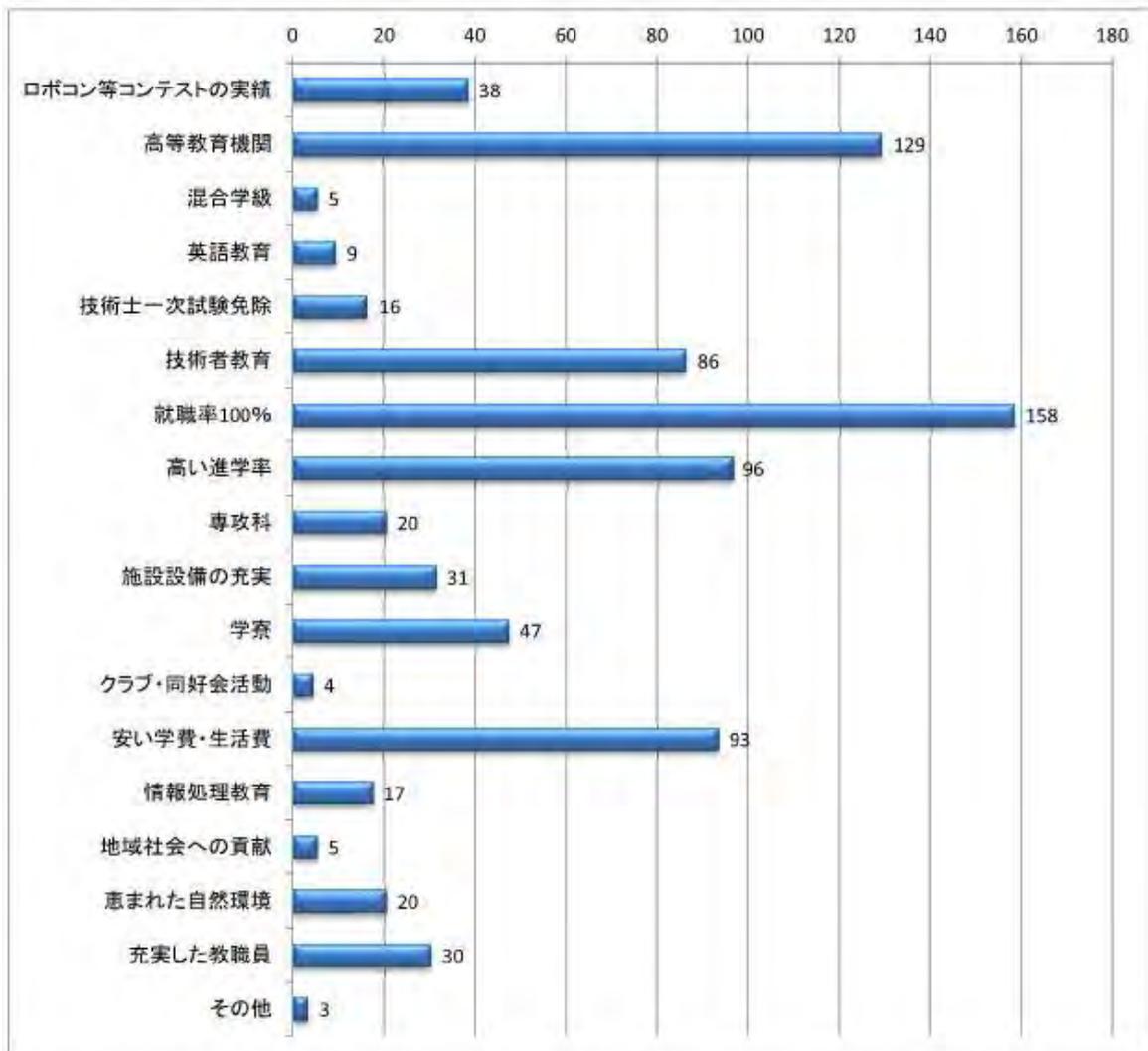
Q5. 現時点での希望の進路



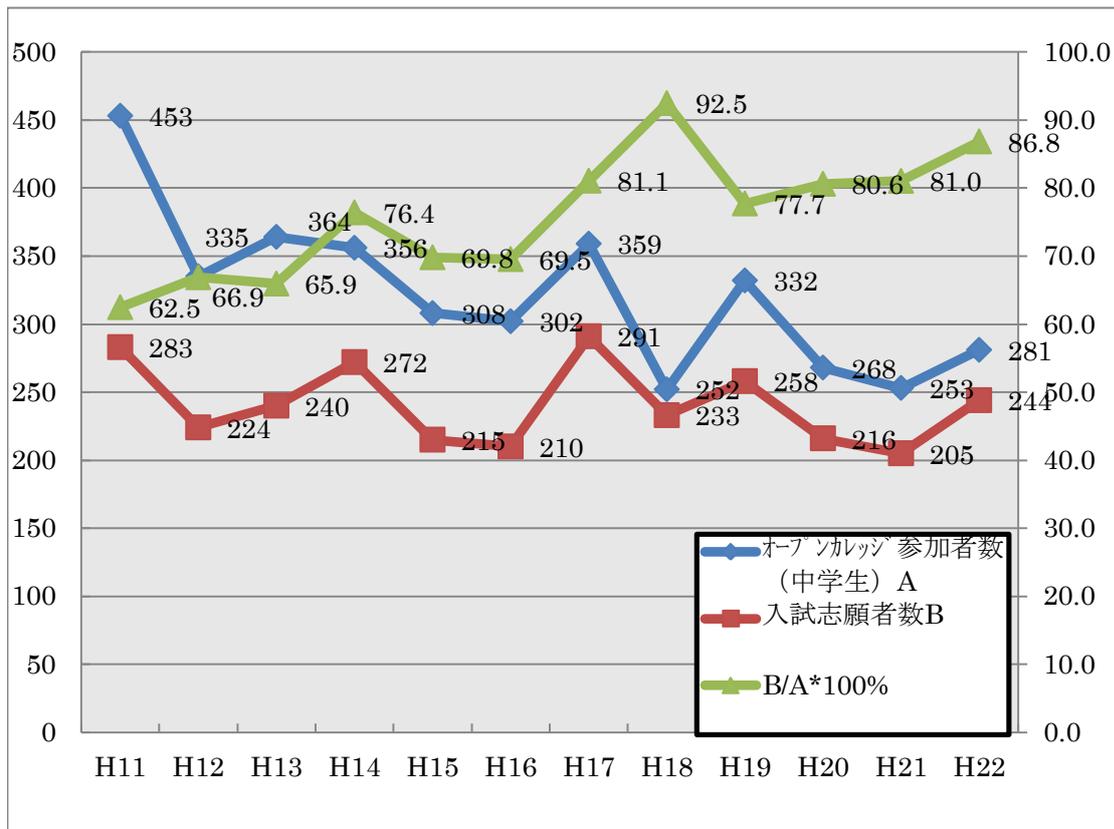
Q6. 卒業後の進路



Q7. 現在の本校の魅力



(出典 学生課教務係)



オープンカレッジ参加者数と入学志願者の関係

(出典 学生課教務係)

(4) 入試説明会の実施

入試説明会は、学校概要に加え、入試に係る下記の詳細な情報を、中学生とその保護者、中学校教諭、塾講師に周知することを目的としている。

●募集要項の変更点と記入上の注意点

調査書（内申点）の扱いの変更，入学志望学科の第3希望までの記入，特別選抜応募資格など

●過去の入学試験における状況

志願倍率の推移(全体，学科別)，合格最低基準(内申点，学力試験成績)など

ただしその開催は、中学生とその保護者、中学校教諭、塾講師の参加者ごととしている。また塾講師向け説明会においては、平成22年度実施の「平成23年度舞鶴工業高等専門学校入試説明会」から、専門4学科の実験・実習の体験を導入している。本校の特色ある教育について塾講師の方々にご理解いただき、塾における進路相談においても本校が選択の1つとなることを期待している。

開催場所は、京都府舞鶴市(本校)，京都府京都市，京都府福知山市，京都府亀岡市，兵庫県三田市，兵庫県豊岡市，滋賀県近江八幡市(平成22年度実施)，滋賀県草津市(平成23年度実施)の広範囲な地域としている。

(a) 開催日時，場所

平成22年度実施の「平成23年度舞鶴工業高等専門学校入試説明会」の開催日時，場所を資料1-(4)-①に，平成23年度実施の「平成24年度舞鶴工業高等専門学校入試説明会」の開催日時，場所を資料1-(4)-②に示す。

(b) 対象者

本校への入学を検討している中学生とその保護者，中学校教諭，塾講師。ただし塾講師向け説明会は京都府京都市の会場でのみ実施しているため，参加者は京都市周辺の塾講師が中心である。

(c) 開催内容

●学校概要，入学試験に関する説明

平成24年度説明会(平成23年度実施)の説明資料を資料1-(4)-③に示す。

●専門4学科の展示と実験・実習の体験(※京都会場の塾講師向け説明会でのみ実施)

京都会場での開催の様子を資料1-(4)-④に示す。

平成23年度説明会(平成22年度実施)

- ・機械工学科 「時計の製作」
- ・電気情報工学科 「LED行燈，ミニエレキギター」
- ・電子制御工学科 「ロボットの紹介」
- ・建設システム工学科 「構造物模型」

平成24年度説明会(平成23年度実施)

- ・機械工学科 「木製置時計を作ろう！」
- ・電気情報工学科 「光の落書きセットを作ろう！」
- ・電子制御工学科 「ロボットと遊ぼう！」

・建設システム工学科 「ペーパークラフト(国会議事堂)」

(d) 参加者数

平成22年度実施の「平成23年度舞鶴工業高等専門学校入試説明会」の参加者数を資料1-(4)-①に、平成23年度実施の「平成24年度舞鶴工業高等専門学校入試説明会」の参加者数を資料1-(4)-②に示す。

(e) 入学志願者増加への効果

中学生と保護者は受験を念頭に置いた参加が多いと考えられる。また中学校教諭は受験を希望している中学校生徒を指導されていることがほとんどであると思われる。新しい入学志願者が入試説明会で得られることは少ないと考えられる。

塾講師向けの説明会では平成22年度の実施から2年間、専門4学科の実験・実習の体験を導入している。これにより理科教育や本校の特色ある教育に興味を持っていただき、塾においても本校の紹介があれば入学志願者の増加が期待できる。

平成 23 年度 舞鶴工業高等専門学校入試説明会 (平成 22 年度実施)

開催地	会場	実施日時		参加者数
京都※	メルパルク京都 (6階会議室D) 住所:京都市下京区東洞院通七条下ル 東塩小路町 676 番 13	平成 22 年 9 月 21 日 (火)		計 93
		塾講師	10:00~	45
		中学校教諭	15:30~	10
		生徒、保護者	18:00~	16、22
本校	大会議室	平成 22 年 9 月 27 日 (月)		計 34
		中学校教諭	15:30~	10
		生徒、保護者	18:00~	11、13
福知山	京都府立中丹勤労者福祉会館 (第 5 会議室) 住所:京都府福知山市昭和新町 105	平成 22 年 9 月 28 日 (火)		計 24
		中学校教諭	15:30~	8
		生徒、保護者	18:00~	6、10
滋賀	近江八幡市人権センター(コミュニティールーム) 住所:滋賀県近江八幡市鷹飼町南 4 丁目 4 番地 4	平成 22 年 9 月 29 日 (水)		計 33
		中学校教諭	15:30~	8
		生徒、保護者	18:00~	10、15
三田	三田市総合福祉保健センター (第 3 会議室) 住所:兵庫県三田市川除 675	平成 22 年 9 月 29 日 (水)		計 36
		中学校教諭	15:30~	6
		生徒、保護者	18:00~	13、17
豊岡	但馬地域地場産業振興センター (第 1 交流センター) 住所:兵庫県豊岡市大磯町 1-79	平成 22 年 9 月 30 日 (木)		計 8
		中学校教諭	15:30~	5
		生徒、保護者	18:00~	1、2
亀岡	ギャラリーかめおか (研修室 2) 住所:京都府亀岡市余部町宝久保 1-1	平成 22 年 9 月 30 日 (木)		計 17
		中学校教諭	15:30~	4
		生徒、保護者	18:00~	5、8

※京都会場のみ塾講師向け説明会を実施

(出典 学生課教務係)

平成 24 年度 舞鶴工業高等専門学校入試説明会 (平成 23 年度実施)

開催地	会場	実施日時		参加者数
京都※	メルパルク京都 (6階会議室C) 住所:京都市下京区東洞院通七条下ル 東塩小路町 676 番 13	平成 23 年 9 月 20 日 (火)		計 103
		塾講師	10:00~	47
		中学校教諭	15:30~	11
		生徒、保護者	18:00~	19、26
豊岡	但馬地域地場産業振興センター (第1交流センター) 住所:兵庫県豊岡市大磯町 1-79	平成 23 年 9 月 27 日 (火)		計 12
		中学校教諭	15:30~	6
		生徒、保護者	18:00~	3、3
滋賀	草津商工会議所 (第3会議室) 住所:滋賀県草津市大路 2 丁目 11-15	平成 23 年 9 月 27 日 (火)		計 23
		中学校教諭	15:30~	4
		生徒、保護者	18:00~	7、12
福知山	京都府立中丹勤労者福祉会館 (第5会議室) 住所:京都府福知山市昭和新町 105	平成 23 年 9 月 28 日 (水)		計 14
		中学校教諭	15:30~	5
		生徒、保護者	18:00~	4、5
三田	三田市総合福祉保健センター (第3・第4会議室) 住所:兵庫県三田市川除 675	平成 23 年 9 月 28 日 (水)		計 23
		中学校教諭	15:30~	5
		生徒、保護者	18:00~	8、10
亀岡	ギャラリーかめおか (研修室2) 住所:京都府亀岡市余部町宝久保 1-1	平成 23 年 9 月 29 日 (木)		計 11
		中学校教諭	15:30~	3
		生徒、保護者	18:00~	4、4
本校	大会議室	平成 23 年 10 月 4 日 (火)		計 41
		中学校教諭	15:30~	10
		生徒、保護者	18:00~	16、15

※京都会場のみ塾講師向け説明会を実施

(出典 学生課教務係)



教育理念と教育方針

舞鶴高専の教育理念 (目標)
 広く工学の基礎と教養を身につけ、問題発見・解決能力、創造力、国際感覚豊かな実践的技術者を育成する。

教育方針

- I 実験・実習、演習、ものづくりを重視する
- II 基礎に立ち返って考えさせる
- III 自ら学ぼうとする意欲を育てる
- IV 豊かな教養と国際性を育む

舞鶴高専の 学科構成

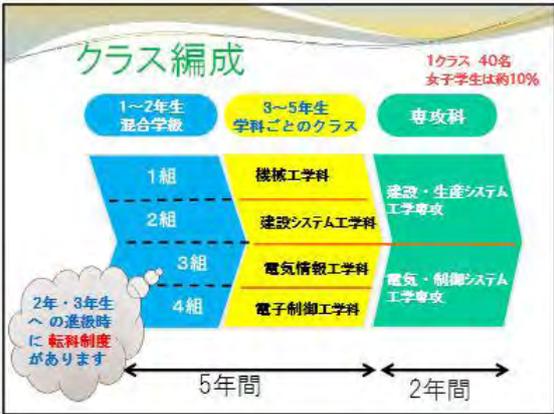
【本科】

- 機械工学科 (定員: 40名)
- 電気情報工学科 (定員: 40名)
- 電子制御工学科 (定員: 40名)
- 建設システム工学科 (定員: 40名)

【専攻科】

- 電気・制御システム工学専攻 (定員: 8名)
- 建設・生産システム工学専攻 (定員: 8名)

現在の在学者数 868名



機械工学科

あらゆるものづくりの基礎となる、機械工学の基礎知識と技術を習得し、製造とエネルギーに関連できる実践的・創造的技術者を育成することを目的とする。

ものづくりの基盤工学

平成 24 年度 舞鶴工業高等専門学校入試説明会 (平成 23 年度実施)の資料(3/7)

各学科の就職先②

平成23年3月本科卒業生 就職者94名実績

電子制御 工学科	朝日レントゲン工業	ダイキン工業	ヒエン電工
	NITTネオメイト	大日精機	兵庫バルブ工業
	NITTドコモ	日産製作所	富士電機システムズ
	エーライツ	日新電機	防衛省
	関西電子ビーム	日本原子力発電	三井製糖
	カンセツ	パナソニックエレクトロニクスデバイス	三菱電機/サービス
京セラSLOCテクノロジー	ジャパコ自動車部品/化成/但馬	古野工業所	
滋賀医科大学	パナソニック電工	レンゴー	
遠隔システム 工学科	【都市環境コース】		
	NEXCO西日本	舞鶴市役所	サンリ・ホールディングス
	大阪防水建設社	りんかい日産建設	大鉄工業
	三洋建設		サンレイ空調
	焼高組	【建築コース】	田中工務店
	大鉄工業	JT	防衛省
	西日本旅客鉄道(2名)	NTTインフラネット	舞鶴市役所
	福知山市役所	大阪ガス	
	レールテック	鹿島クレス	

就職の特長

求人倍率、約20倍

- 1 就職先は大企業がほとんど
(建設システム工学科は公務員へも)
- 2 学校推薦が主体での就職活動ができる
- 3 1年生からの就職・進学指導
- 4 卒業生たちの企業からの高い評価
→ 基礎がしっかりしている → 実践的で即戦力になる
→ 高専生はものつくりが好きである
→ スペシャリストとしての期待



進学先

平成23年3月卒業生進学先 63名実績

国公立大学 34名	9名 豊橋技術科学大学
	4名 長岡技術科学大学
	4名 京都工業繊維大学
	2名 大阪大学, 金沢大学, 山口大学
私立大学 1名	1名 立命館大学 ←指定校推薦制度(2名)あり
	専攻科 18名

進学の特長

1. 90%以上が
国公立大学へ進学
(西日本の国立大学が中心)
2. 難関大学にも毎年合格
(大阪大学や金沢大学など)
3. 高専からの接続性を考慮した国立大学がある
(豊橋技術科学大学・長岡技術科学大学)
4. 進学者の内、舞鶴高専専攻科進学が約30%
(専攻科からは大学院にも進学できます)
5. 入学試験日が異なるため、国公立大学でも
複数校の受験が可能



国立高専への予算措置

国立大学法人等運営費交付金(H23年度予定額)

法人名	予定額
1位 東京大学	853億円
2位 国立高専機構	639億円
3位 京都大学	568億円
4位 大阪大学	496億円
5位 東北大学	479億円
6位 九州大学	429億円
7位 筑波大学	425億円



楽しい! キャンパスライフ

舞鶴高専の



楽しい！ 舞鶴高専のキャンパスライフ

楽しい！ 舞鶴高専の

クラブ活動

26の部と14の同好会

陸上競技	剣道	自動車
男子バスケットボール	サッカー	アマチュア無線
女子バスケットボール	硬式野球	吹奏楽
男子バレーボール	ハンドボール	創造技術研究会
女子バレーボール	バドミントン	プログラミングコミュニティ
ソフトテニス	水泳	筆道
卓球	テニス	デザコン
柔道	空手道	
	弓道	
	ローイング	
	フリークライミング	

護身武術
ストリートバスケット
フットサル
モータースポーツ
経営学
ボランティア
囲碁・将棋

文学研究会
鉄道研究会
E S S
マルチメディアリサーチ
シビックデザイン
合気道
パフォーマンス

鶴友寮 (男子寮)

3年生からは2人部屋、少ないけれど1人部屋もあります

男子3人部屋
男子4人部屋

ノートパソコンで無線LAN
インターネット無料

自習室

鶴友寮 (女子寮)

机
ベッド
ロッカー
収納棚
出入口

寮食 (朝・昼・晩で 840円)

2種類から選択のバイキング形式

朝はパン食もあります

毎日の献立はインターネットから見る事ができます

学費について①就学支援金制度

本科1年生～3年生

区分	就学支援金	授業料 (支払額)	授業料
一般世帯	118,800円	116,800円	
保護者の市区町村民税所得割額が18,900円未満の世帯	178,200円	56,400円	234,600円
保護者の市区町村民税所得割額が非課税の世帯	234,600円	0円	

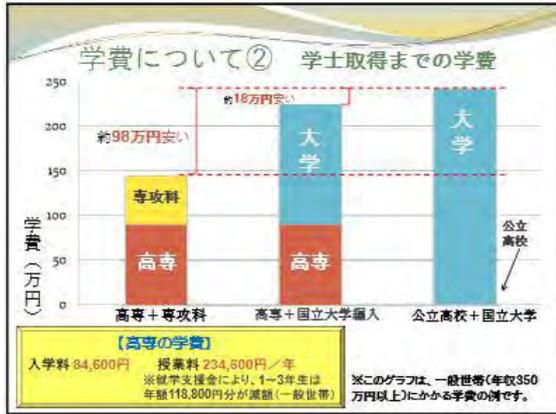
※在籍期間が通算36か月を超える学生には、就学支援金は適用されません。

本科4年生～5年生及び専攻科生

授業料 (支払額)	授業料
234,600円	234,600円

← 授業料免除制度があります (特別な事情または経済的理由がある場合、審査の上、授業料が免除される制度です)

平成 24 年度 舞鶴工業高等専門学校入試説明会 (平成 23 年度実施)の資料(5/7)



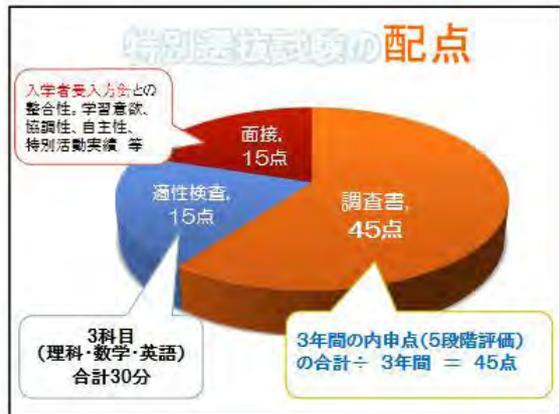
平成24年度学生募集要項

入学者選抜方法

(1) 特別選抜(18名)
推薦条件: 1～3年生の内申書評価 9科目合計99点(平均3.66)以上
試験: 面接(15点満点)と適性検査(15点満点の小テスト:英数理3科目を合計30分で解答)
調査書: 内申点(45点満点)→3年間の内申点(5段階評価)の合計÷3=45点以上、75点満点で総合評価する。

(2) 学力検査選抜(24名) **併願可能**
筆記試験: 5科目(820点満点:各科目100点満点を傾斜配点)
 ... 数学200点 理科200点 英語160点 国語130点 社会130点
調査書: 内申点(180点満点)→3年間の内申点(5段階評価)の合計÷3×4=180点以上、1000点満点で総合評価する。
 特別選抜で不合格の場合でも、再度の出願手続きや追加受験料なしで学力選抜が受けられます。

舞鶴高専の入試は難しい??



合計合格点

	H21	H22	H23
満点	75	75	75
機械	58.6	52.8	56.4
電気情報	58.1	59.8	57.7
電子制御	58.7	56.1	58.7
建設システム	55.9	53.4	55.5

内申点

	H21		H22		H23	
	内申点	5段階評価	内申点	5段階評価	内申点	5段階評価
満点	45	5.0	45	5.0	45	5.0
機械	35	3.9	34	3.8	34	3.8
電気情報	35	3.9	39	4.3	35	3.9
電子制御	35	3.9	34	3.8	36	4.0
建設システム	35	3.9	33	3.7	34	3.8

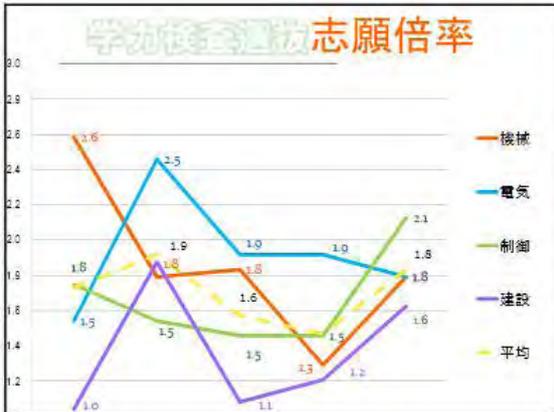
平成 24 年度 舞鶴工業高等専門学校入試説明会 (平成 23 年度実施)の資料(6/7)

適性検査点

	H21	H22	H23
	点数	点数	点数
満点	15	15	15
機械	10.0	8.5	8.0
電気情報	11.0	9.0	8.0
電子制御	11.0	8.5	7.5
建設システム	10.0	9.0	9.0

面接点

	H21	H22	H23
	点数	点数	点数
満点	15	15	15
機械	9.6	8.8	9.0
電気情報	8.6	9.2	9.2
電子制御	9.8	9.0	8.4
建設システム	8.4	8.8	9.0



合計合格点

	H21	H22	H23
	点数	点数	点数
満点	1000	1000	1000
機械	570.0	485.0	551.4
電気情報	580.2	547.9	564.8
電子制御	583.7	538.7	582.1
建設システム	484.2	484.9	510.9

筆記試験点数

	H21		H22		H23	
	点数	得点率(%)	点数	得点率(%)	点数	得点率(%)
満点	820.0	100.0%	820.0	100.0%	820.0	100.0%
機械	426.5	52.0%	349.0	42.6%	420.0	51.2%
電気情報	452.5	55.2%	407.9	49.7%	431.2	52.6%
電子制御	459.7	56.1%	392.9	47.9%	442.1	53.9%
建設システム	348.3	42.5%	356.9	43.5%	387.8	47.3%

平成 24 年度 舞鶴工業高等専門学校入試説明会 (平成 23 年度実施)の資料(7/7)

内申点						
	H21		H22		H23	
	内申点	5段階評価	内申点	5段階評価	内申点	5段階評価
満点	45	5.0	45	5.0	45	5.0
機械	27	3.0	18	2.0	26	2.9
電気情報	28	3.1	25	2.8	26	2.9
電子制御	18	2.0	23	2.6	24	2.7
建設システム	24	2.7	26	2.9	28	3.1

学科選択にあたっての留意点

技術者を志望しています!

理科が好き!

ものをつくり中をしらべたりするのが好き!

難易度でなく
興味のある学科を!

舞鶴高専の入学者受け入れ方針 アドミッション・ポリシー

本校では、工学の基礎と教養を身につけ、問題発見・解決能力、創造力、国際感覚豊かな実践的技術者の育成に努めています。

そのため、次のような人の入学を期待しています。

- (1)「ものづくり」を通して、自立した人間を目指す人
- (2) 自ら学ぼうとする姿勢を持ち、中学校の学習内容を十分理解している人。
- (3) 社会のルールを守って、いろいろな人と協調していける人

高専祭を開催します

*入試相談コーナーもあります

開催日：10月29日(土)
10月30日(日)

時間：9:00～16:00

場所：舞鶴高専多目的会議室

対象：中学生とその保護者

Maizuru National College of Technology **2011**
FESTIVAL



(出典 学生課教務係)

京都会場の塾講師向け入試説明会



(出典 学生課教務係)

(5) 女子学生志願者増のための取り組み

本校の学生に占める女子学生の割合は、毎年1割程度であり、女子学生の確保は大きな課題となっている(資料1-(5)-①)。

平成22年度に行った女子学生志願者増のための取り組みの1つとして、高専に入学した女子学生の、在学中や卒業後の活躍の紹介が挙げられる。平成22年度に作成した学校紹介のパンフレット「学校案内2011」では、本校出身の女性技術者や現役の女子学生の紹介を積極的に取り入れた。また、オープンカレッジの宣伝用のポスターには本科2年に在学する女子学生を、入学者選抜のポスターには本科5年に在学する女子学生をモデルとして起用している(資料1-(5)-②)。

さらに、プレ・オープンカレッジやオープンカレッジ等のイベントにおける学科紹介や体験学習のスタッフにも女子学生を起用し、イベントに参加した中学生や保護者と、女子学生とのコミュニケーションの機会を多く設けるよう努めた(詳細については項目1-(2)、1-(3)を参照)。

平成23年度も前年度に引き続き、ポスターに女子学生を起用すると共に、学校紹介のパンフレット「学校案内2012」では、新入生の女子学生からのメッセージの掲載や、女子学生の学校での様子の紹介等を行っている(資料1-(5)-③)。

また、プレ・オープンカレッジやオープンカレッジ等のイベントにも、前年度と同様、女子学生の積極的な起用を行っている。特に今年度のオープンカレッジにおいては、学科の紹介や体験学習だけでなく、女子寮の案内係にも女子学生を配置した。女子寮を見学する際に、多くの受験生や保護者が女子学生に活発に質問を行っており、寮生活に親しみを感じてもらうために役立ったと思われる。

女子寮については、環境の改善が志願者の増加に大きく影響すると考えられるため、エアコンの設置された部屋に学習机を新たに追加し、より多くの学生が快適に自習できるように改善すると共に、建物の防犯対策の強化にも取り組んでいる。

その他の女子学生志願者増に向けての取り組みとして、現在、舞鶴を含む7高専(広島商船、松江、弓削、都城、宇部、米子、舞鶴)による、「女性志願者増のための高専ブランド定着広報」の実施が計画されている。これは、広島商船高専を幹事校とする5高専が、平成22年度高専改革推進経費に採択されて行ったプロジェクトの活動を、新たに舞鶴・米子が加わり、さらに発展させて継続するものである。平成22年度の取り組みは、①連携による広域出前授業、②女性技術者の活躍を紹介するDVD制作、③商船学科の広域広報、④女子学生のキャリア教育、⑤動画Webサーバ構築と公開、等である。今年度は、平成24年度高専改革推進経費の申請に向けて、昨年度までの取り組みを継続して実施していく予定であり、舞鶴は主に各校の出前授業の取りまとめと、連携による広域出前授業の検討を担当する。

入学者数推移

	入学 定員	募集 人員	20年度入学 者数		21年度入学 者数		22年度入学 者数		23年度入学 者数	
機械	40	40	41	(1)	42	(2)	37	(0)	42	(1)
電気	40	40	41	(4)	43	(5)	39	(4)	42	(5)
制御	40	40	42	(4)	42	(3)	43	(0)	44	(1)
建設	40	40	42	(6)	40	(10)	42	(6)	41	(8)
計	160	160	166	(15)	167	(20)	161	(10)	169	(15)

(注1) () 内は女子を内数で示す。

(注2) 辞退者はすべて学力検査選抜の志願者である。

(出典 学生課教務係資料

「H20-H23 年度別特別選抜(推薦)・学力検査

選抜別入試状況」の表より抜粋)



学校案内 2011



平成 22 年度オープンカレッジポスター



平成 22 年度
入学者選抜ポスター

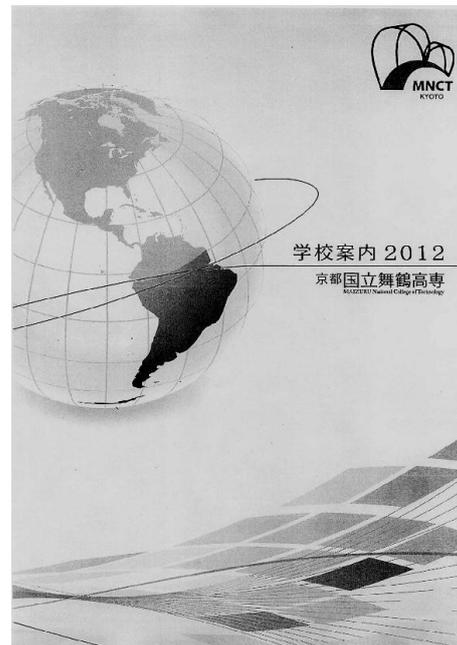


平成 22 年度
入試説明会ポスター

(出典 学生課教務係資料)



平成 23 年度
プレ・オープンカレッジポスター



学校案内 2012



平成 23 年度 入学者選抜ポスター



平成 23 年度
オープンカレッジポスター

(出典 学生課教務係資料)

(6) 入試制度の見直し

(a) 本科の入学選抜について

本校では、本科の入学選抜方法は、「特別選抜」と「学力検査選抜」の2種類を実施している。特別選抜は、調査書の配点を45点とし、これに適性検査及び面接（それぞれ配点15点）の結果を加えて行う調査書重視の選抜方法であり、学力検査選抜に先立ち1月下旬に実施される。一方、学力検査選抜は、筆記試験（配点820点）と調査書（配点180点）を総合して行う、筆記試験に重点をおいた選抜方法である。

平成22年度に行われた入試制度の見直しによる、平成23年度本科学生募集要項における前年度からの主な変更点は以下の6点である（資料1-(6)-①）。

- i. 学力検査選抜は他の高校との併願受験が可能であることを明記
- ii. 上記iに伴い、入学願書に他の併願受験校の記入を任意で求めることに変更
- iii. 学力検査選抜において、志望学科数を第3志望まで選択可能とすることに変更
- iv. 学力検査選抜の入試成績の開示請求ができることを明記
- v. 学力検査選抜の学外検査会場の変更
- vi. 特別選抜の「合格内定」制度の廃止

募集要項の変更iについては、本校は以前より学力検査選抜では他の高校との併願を認めていたが、前年度まではこれを募集要項に明記はしていなかった。他校との併願が可能であると明記することにより、併願受験の受験生が増え、志願者倍率が増す可能性があるが、その反面、適正な入学数確保のための合格者数の決定が困難になる恐れがある。そのため、変更iiにある併願受験校についてのアンケートを実施し、併願受験の合格者の動向を予想することとした。また、変更iに伴い、合格発表が本校の入学説明会実施日（本校の入学手続き期限）より遅い、兵庫県内の公立高校との併願受験の合格者については、入学説明会には出席を促す一方、入学手続きは公立高校の合格者発表後まで猶予することとした。実際に平成23年度入学選抜の合格者数の決定は、併願受験校に関するアンケートと学力検査の結果から、併願受験の受験生の動向を予想して行われ、適正な入学数数を確保することができた。

変更iiiの志望学科数は、前年度までは第2希望の学科までを選択可能としていたが、これを第3志望の学科まで選択可能とすることになった。これにより、本校の4学科間の志願者倍率に開きがある場合に、学校全体でより優秀な学生を確保していくことができる可能性がある。尚、第2志望、第3志望の場合にも第1志望の受験生と区別することなく、総合点の高い順に合格者を決定していくことは、従前通りである。この変更の結果、平成23年度入学選抜では、合計6名の受験生が3学科に第2志望で合格し、合計8名の受験生が2学科に第3志望で合格した。これにより、第2、第3志望の合格者があった学科の合格最低点を上げることができたと考えられる。

ivの入試成績の開示については、前年度は受験票送付時に併せて通知を行っていたが、これを募集要項に明記した。

vの学外学力検査会場については、前年度の5会場（京都、滋賀、豊岡、三田、池田）のうち、受験者数の少ない池田会場を取り止めることとした。ただし、同様に受験者数の

少ない豊岡会場については、近隣に競合する高専が無いことから、継続することとした。また、滋賀については会場を「G ネット滋賀」から「近江八幡市人権センター」に変更した。

以上 5 点が学力検査選抜における変更点である。

変更 vi は、特別選抜における変更点である。特別選抜の合格者を、前年度までは、学力検査選抜の結果と併せて合格者として発表し、それまでの期間は「合格内定」として取り扱っていたが、これを廃止し、特別選抜の合格発表より合格者として取り扱うこととした。

これらの入試制度の見直しと、その他の志願者増のための取り組みを受けて実施された平成 23 年度入学者選抜では、学校全体での入学志願者倍率は前年度よりもやや上昇している（資料 1-(6)-③）。

平成 23 年度に入ってからからの本科入学者選抜に関する変更としては、平成 22 年度から検討中であった近畿 4 高専（舞鶴・奈良・和歌山・明石）が学力検査の際に合同の受験会場を作るという案について、大阪会場を設置して合同で実施することとなった。また、入学者選抜のための調査書の成績について、昨年度までは、「第 3 学年における 12 月 31 日現在の 9 科目の学業成績の合計」となっており、地域によって、3 年生のみの成績を用いる中学校と 1 年生から 3 年生までの総合成績を用いる中学校があったが、平成 24 年度入試からはこれを、「3 年間の 9 科目の学業成績の合計」と変更し、全ての中学校で調査書には 3 年間の成績を用いることとした（資料 1-(6)-②）。

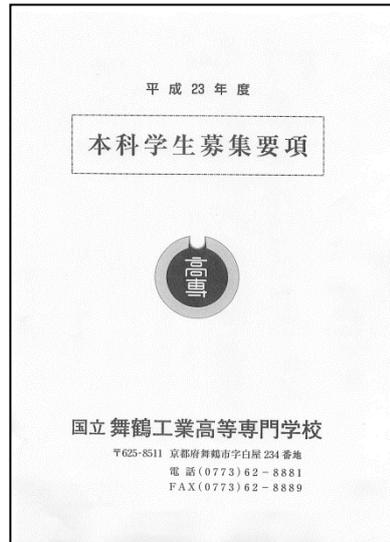
(b) 専攻科入学者選抜・本科編入学試験について

専攻科の入学者選抜は、推薦特別選抜、一般学力検査選抜（前期日程・後期日程）、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜（学力検査選抜・書類選抜）に区分されて行われる。また、本科第 4 学年への編入学試験は、学力検査（配点 400 点）を実施し、これに面接と調査書（配点各 50 点）の点数を加えて選抜を行っている。

平成 22 年度の見直しでは、専攻科の一般学力検査選抜における建設・生産システム工学専攻志願者の専門科目への出題範囲の追加（建築環境）と、これに伴った募集要項の文章の整理を行った。（資料 1-(6)-④）また、平成 24 年度の専攻科の募集要項からは、科目の出題範囲の内容を明記することになった（資料 1-(6)-⑤）。

平成 23 年度に入ってからからの見直しでは、前年度まで異なる日に実施していた専攻科の推薦特別選抜と本科編入学試験を、平成 24 年度入試では同じ日に行うこととし、平成 23 年 6 月 11 日（土）に実施された。

資料 1-(6)-①



(出典 平成 23 年度本科学生募集要項)

資料 1-(6)-②

記入上の注意

- ※印欄は記入しないでください。
 - 学習の記録は、第1学年、第2学年及び第3学年の評定を5段階評価で記入してください。なお、第3学年の評定は12月31日までのものとしてください。
また、10段階評価で記入された場合は、その旨を備考に記入してください。
 - 総合的な学習については、学習内容がわかるように具体的に記入してください。
 - 特別活動の記録については、面接の際に質問し、評価対象としますので、次のように具体的に記入してください。
 - 生徒会本部役員（生徒会長・生徒会○○委員長等）
 - 課外活動において、優秀な成績を取った者（京都府○○大会3位、○○大会入賞等）
 - 文化活動において、表彰を受けた者（京都府書道展優秀賞、校内大会入賞等）
 - 課外活動において、リーダーシップを発揮し、クラブ活動に貢献した者（クラブキャプテン等）
 - 公共団体が主催するボランティア活動に参加した者
 - その他上記に相当する活動をした者
 - 「総合所見」には、学習及び特別活動等を通じて、本校を志望した経遇を含めて簡潔に記入してください。
 - 欠席の記録は、卒業見込み者の3学年については、平成23年12月31日現在の記録を記入してください。
 - この調査書は出身中学校長が作成し、厳封したものを提出してください。
 - 氏名については、日本国籍以外の場合は外国人登録の際に記載した氏名を書き、通称名があれば、その右に（ ）をつけて記入してください。
- ※ この様式の事項がもれなく網羅されている場合には、中学校学習指導要領等に定める、中学校で作成しているものを利用して頂いても結構です。

(出典 平成 24 年度本科学生募集要項
入学志願者調査書裏面)

入試状況推移 (H20 年度～ H23 年度)

			募集人員		志願者数 (実質)		志願 倍率 (実質)		合格者数		辞退者数		入学者数		オープンカレッジ 参加者数
20 年度	機械	40	40	60	(1)	1.5	42	(1)	1	(0)	41	(1)	321 (平成19年8月実 施)		
	電気	40	40	79	(8)	2.0	45	(5)	4	(1)	41	(4)			
	制御	40	40	57	(4)	1.4	44	(4)	2	(0)	42	(4)			
	建設	40	40	62	(6)	1.6	42	(6)	0	(0)	42	(6)			
	計	160	160	258	(19)	1.6	173	(16)	7	(1)	166	(15)			
21 年度	機械	40	40	61	(3)	1.5	42	(2)	0	(0)	42	(2)	268 (平成20年8月実 施)		
	電気	40	40	62	(7)	1.6	44	(5)	1	(0)	43	(5)			
	制御	40	40	51	(3)	1.3	43	(3)	1	(0)	42	(3)			
	建設	40	40	42	(11)	1.1	43	(11)	3	(1)	40	(10)			
	計	160	160	216	(24)	1.4	172	(21)	5	(1)	167	(20)			
22 年度	機械	40	40	47	()	1.2	42	(0)	5	(0)	37	(0)	253 (平成21年8月実 施)		
	電気	40	40	62	(6)	1.6	42	(5)	3	(1)	39	(4)			
	制御	40	40	51	()	1.3	44	(0)	1	(0)	43	(0)			
	建設	40	40	45	(5)	1.1	45	(6)	3	(0)	42	(6)			
	計	160	160	205	(11)	1.3	173	(11)	12	(1)	161	(10)			
23 年度	機械	40	40	60	(2)	1.5	44	(1)	2	(0)	42	(1)	オープンカレッジ 281 (H22/8 実施) プレOC 京都43 + 豊橋76 =119 (H22/6-7 実施) OC+プレ純参加者 315		
	電気	40	40	59	(6)	1.5	44	(5)	2	(0)	42	(5)			
	制御	40	40	68	(1)	1.7	44	(1)	0	(0)	44	(1)			
	建設	40	40	57	(10)	1.4	45	(8)	4	(0)	41	(8)			
	計	160	160	244	(19)	1.5	177	(15)	8	(0)	169	(15)			

(注1) () 内は女子を内数で示す。

(注2) 辞退者はすべて学力検査選抜の志願者である。

(出典 学生課教務係資料

「H20-H23 年度別特別選抜(推薦)・学力
検査選抜別入試状況」の表より抜粋)

(2)教科・科目等の出題範囲

教科・科目等	出 題 範 囲
数 学	微分積分, 線形代数
英 語	一般英語
専 門 科 目	【電気・制御システム工学専攻志願者】 電磁気学, 計測工学, 制御工学, 電子回路, 電気回路, 計算機ソフトウェアの6科目から2科目選択
	【建設・生産システム工学専攻志願者】 材料力学, 水力学, 熱力学, 構造力学, 水理学, 地盤工学, 建築環境の7科目から2科目選択。ただし, 水力学, 水理学, 建築環境の3科目から2科目, 又は材料力学と構造力学の2科目を重複して選択することはできない。

(3)学力検査等(教科・科目等)の内容及び配点

内容	数 学	英 語	専門科目	面 接	入学志願者調査書	合 計
配点	50	50	100	50	50	300

(注)専門科目は、それぞれ50点とする。1教科・1科目でも10点未満の得点があった場合は、不合格とすることがある。

(出典 平成 23 年度専攻科学生募集要項 P.6)

(2)科目の出題範囲

科 目	出 題 範 囲
数 学	微分積分, 線形代数
英 語	長文読解, 文法, 語彙・発音
専 門 科 目	電気・制御システム工学専攻志願者は次の4科目から2科目選択。
	制 御 工 学 ラプラス変換, システムと伝達関数, 過渡応答と安定性, 周波数応答, ブロック線図
	電 気 ・ 電 子 回 路 直流回路, 交流回路, トランジスタ, ダイオード, 増幅回路(オペアンプを含む), 論理回路
	電 磁 気 学 クーロンの法則, ガウスの定理, 誘電体とその応用, 磁性体とその応用, 電磁誘導
	情 報 工 学 進数計算, 論理演算, 数値計算, アルゴリズム, C言語
	建設・生産システム工学専攻志願者は次の7科目から2科目選択。ただし, 水力学(流れ学), 水理学, 建築計画の3科目から2科目, 又は材料力学と構造力学の2科目を重複して選択することはできない。
	材 料 力 学 引張, 圧縮, わじり, はりの曲げ, 組合せ応力とひずみ, ひずみエネルギー, 柱
	水 力 学 (流れ学) 流体の性質, 流体静力学, 次元解析と相似則, 流体運動の基礎, 管内流, 物体まわりの流れ, 運動量の法則, 流体計測
	熱 力 学 熱力学の基礎概念, 理想気体, 熱力学第1法則, 熱力学第2法則, 動力サイクル, 冷凍サイクル
	構 造 力 学 けた・トラスの反力・断面力・変形, 部材の応力とひずみ, 座屈, エネルギー法
水 理 学 流体の性質, 静水力学, 流れの基礎理論, 管水路流れ, 開水路流れ, 次元解析と相似則, 水理構造物	
地 盤 工 学 土の基本的性質, 土中の水の流れ, 地盤内応力, 圧密, せん断, 土圧, 支持力, 斜面安定	
建 築 計 画 建築計画(計画一般), 建築環境(熱・湿気, 光, 音, 換気, 色), 建築史(日本建築史, 西洋建築史)	

(出典 平成 24 年度専攻科学生募集要項 P.6)

(7) その他の取り組み

大学受験者の総数に占める理工系志願者の比率は1986年の25.6%をピークに減少し、現在では20%を優に下回る状況となった。さらに、大学入試センター試験の成績上位者の理工系志願者の減少傾向に歯止めがかからない状況である(資料1-(7)-①)。

高校生の理科4教科の履修率で激減した教科は物理である。これは大学受験における入試科目の軽量化が一因であり、理工系学生の4人に1人が高校時代に物理を学習していない時代になっていると考えられる(資料1-(7)-②)。

現在教育現場の中堅・若手の教員のほとんどが、高校生のときに履修した理科の教科で履修率の高いのは生物、化学であり最も低いのは物理であると言っても過言ではない。一例であるが、舞鶴市の小学校の教員で理系出身者は約10%であり、理科の電気分野の学習指導については大変苦勞しているのが現状である(資料1-(7)-③)。

2006年に15歳児を対象に実施された国際的な学力調査として、読解力、数学的リテラシー、科学的リテラシー等に関するPISA調査、および2007年の小学4年生と中学2年生を対象とする国語・数学等に関するTIMSS調査がある。PISAの2006年の調査結果では、日本の高等学校1年生の学力については、以下のような結果が得られている。

- ・科学的リテラシーは国際的にみて上位。
- ・読解力はOECD平均と同程度の水準。
- ・数学的リテラシーはOECD平均より高得点のグループに位置するが、前回(PISA2003)に比較して平均得点は低下。

以上の結果から、日本の子どもの学力は、国際的に見て上位にあるといえるが、以下のような課題を抱えている。

- ・2006年の調査において、読解力の平均得点が上位であるフィンランドや韓国における習熟度レベル別の割合と比較すると、日本は中位・下位層が多く、上位層が少ない傾向にある。
- ・科学への興味・関心の度合いや科学の楽しさを感じている生徒の割合が低く、観察・実験などを重視した理科の授業を受けていると認識している生徒の割合が低い。

また、2009年度のOECD生徒の学習到達度調査(PISA)調査では、読解力は前回調査(2000年)と比べて改善傾向がみられ、数学的リテラシーは前回と同様な結果であるが2003年調査より5点低く、科学的リテラシーについては前回と同様な結果を得ている(資料1-(7)-④)。

このような課題も踏まえ、平成20年3月に改訂した小学校学習指導要領、中学校学習指導要領、21年3月に改訂した高等学校学習指導要領では、観察・実験やレポートの作成、論述、自然体験などに必要な時間を十分確保するため、理科や算数・数学の授業時数が増加した。また、理科授業における観察・実験活動の充実と、教員の資質向上を図るため、研究者・技術者や大学(院)生などの外部人材を教育現場に配置する取り組みがなされている。

小学生および中学生が理数系科目やものづくりに興味・関心を持ち工学系への進路選択者が増加することは、本校への志願者増加にも繋がると考えられるので、公開講座および出前授業等を実施している(資料1-(7)-⑤、資料1-(7)-⑥)。

資料1-(7)-①より高等教育機関における工学部系学科に進学する学生数が進学者の15~16%で推移していることは、我が国のものづくり大国としての戦略上、大変な危機状態を近い将来

招くものと思われる。本校が行っている公開講座および出前授業は小・中学生に科学技術の興味・関心を与え、ものづくりの面白さや巧緻性を身に着けることにも繋がり、それが本校への志願者増にも貢献すると考えられる。

2010年度は、広報委員会が本校のPRフェスタを担当し、9月19日に舞鶴市西市民プラザ（西舞鶴）、9月25日に京都ゼスト御池（京都市）および9月26日にラポール（東舞鶴）で本校の教育等に関するPRフェスタを実施している。機械工学科は舞鶴市内において公開講座を実施し、電気情報工学科、電子制御工学科および建設システム工学科は本校および舞鶴市内において公開講座および出前授業を実施している（資料1-(7)-⑦）。

以上より、志願者増への取り組みの目的に沿って、公開講座および出前授業等で小学生と中学生に対し工学分野に対する興味・関心および学習意欲等が向上する取り組みがなされ、将来の志願者増に貢献していると判断する。

資料1-(7)-①

文部科学統計要覧（平成23年版）
理学部，工学部に在籍する学生比率

区分	理学 (%)	工学 (%)
平成20年	3.3	16.3
平成21年	3.2	16.0
平成22年	3.2	15.7

（出典 文部科学統計要覧（平成23年版）より抜粋）

資料1-(7)-②

平成14年度高等学校教育課程実施状況調査の結果概要について

理科科目の選択率

区分	割合 (%)
物理 I B	25.3
化学 I B	61.1
生物 I B	53.5
地学 I B	5.5

調査実施学科数及び生徒数：約1,400学科，10万5千人

（出典 国立教育政策研究所 平成14年度高等学校教育課程実施状況調査）

市区町村別小・中学校の学校数，学級数，教員数と児童数

5月1日現在

学校数（舞鶴）	学級数	教員数		児童数
小学校：21	233	男：119	女：233	5,315
中学校：8	88	男：115	女：77	2600

（出典 平成21年京都府統計書 第19章教育より抜粋）

数学的リテラシー及び科学的リテラシーの平均得点の国際比較

順位	2009年 数学的 リテラシー	2009年 科学的 リテラシー	2003年 数学的 リテラシー	2003年 科学的 リテラシー
1	上海	上海	香港	フィンランド
2	シンガポール	フィンランド	フィンランド	日本
3	香港	香港	韓国	—
4	韓国	シンガポール	オランダ	—
5	台湾	日本	リヒテンシュタイン	—

（出典 PISA（OECD 生徒の学習到達度調査）2009年度調査，2003年調査より抜粋）

数学的リテラシー及び科学的リテラシーの平均得点の国際比較

順位	2009年 数学的 リテラシー	2009年 科学的 リテラシー	2003年 数学的 リテラシー	2003年 科学的 リテラシー
6	フィンランド	—	日本	—
7	リヒテンシュタイン	—	—	—
8	スイス	—	—	—
9	日本	—	—	—

（出典 PISA（OECD 生徒の学習到達度調査）2009年度調査，2003年調査より抜粋）

公開講座実施記録

2010 年度

実施日	実施校・場所	対象学年・人数	主担当学科
2010. 6. 6	舞鶴市西市民プラザ	小中学生 6 名	機械工学科
2010. 6. 20	舞鶴商工観光センター	小中学生 6 名	機械工学科
2010. 12. 19	舞鶴工業高等専門学校	小学生 15 名	電気情報工学科
2010. 8. 22	舞鶴工業高等専門学校	小中学生多数	電子制御工学科
2010. 10. 31	舞鶴工業高等専門学校	小中学生多数	電子制御工学科
2010. 5. 22	ラポールセントラルコート	小中学生 48 名	建設システム工学科
2010. 5. 29	ラポールセントラルコート	小中学生 25 名	建設システム工学科
2010. 6. 12	ラポールセントラルコート	小中学生 28 名	建設システム工学科
2010. 6. 19	ラポールホール	小中学生 5 名	建設システム工学科

(出典 2010 年度 舞鶴工業高等専門学校年報より抜粋)

出前授業実施記録

2010 年度

実施日	実施校・場所	対象学年・人数	主担当学科
2010. 10. 25	舞鶴市立中舞鶴小学校	理科クラブ 26 名	電気情報工学科
2010. 11. 4	舞鶴市立青葉中学校	3 年生 8 名	電気情報工学科

(出典 2010 年度 舞鶴工業高等専門学校年報より抜粋)

出前授業実施記録

2010 年度

実施日	実施校・場所	対象学年・人数	主担当学科
2010. 11. 11	舞鶴市立神崎小学校	4 年生 5 名	電気情報工学科
2010. 11. 26	舞鶴市立朝来小学校	3 年生 32 名	電気情報工学科
2010. 12. 11	創学社あすなる会	4～6 年生 25 名	電気情報工学科
2010. 12. 16	舞鶴市立志楽小学校	4 年生 61 名	電気情報工学科
2011. 1. 13	舞鶴市立神崎小学校	5 年生 6 名	電気情報工学科
2011. 1. 20	舞鶴市立朝来小学校	5 年生 64 名	電気情報工学科
2011. 1. 27	舞鶴市立神崎小学校	3 年生 8 名	電気情報工学科
2011. 1. 31	舞鶴市立朝来小学校	6 年生 62 名	電気情報工学科
2011. 2. 8	舞鶴市立志楽小学校	5 年生 72 名	電気情報工学科
2010. 5. 24	舞鶴市立大浦小学校	4～6 年生 10 名	電子制御工学科
2010. 6. 14	舞鶴市立大浦小学校	4～6 年生 10 名	電子制御工学科
2010. 6. 21	舞鶴市立大浦小学校	4～6 年生 10 名	電子制御工学科
2010. 8. 23	舞鶴市立大浦小学校	4～6 年生 10 名	電子制御工学科
2010. 8. 24	舞鶴市立大浦小学校	4～6 年生 10 名	電子制御工学科
2010. 10. 18	舞鶴市立大浦小学校	4～6 年生 10 名	電子制御工学科
2010. 10. 25	舞鶴市立大浦小学校	4～6 年生 10 名	電子制御工学科
2010. 11. 1	舞鶴市立大浦小学校	4～6 年生 10 名	電子制御工学科
2011. 1. 24	舞鶴市立大浦小学校	4～6 年生 10 名	電子制御工学科
2010. 10. 8	舞鶴市立白糸中学校	科学クラブ	建設システム工学科

(出典 2010 年度 舞鶴工業高等専門学校年報より抜粋)

公開講座および出前授業

2010 年度機械工学科公開講座

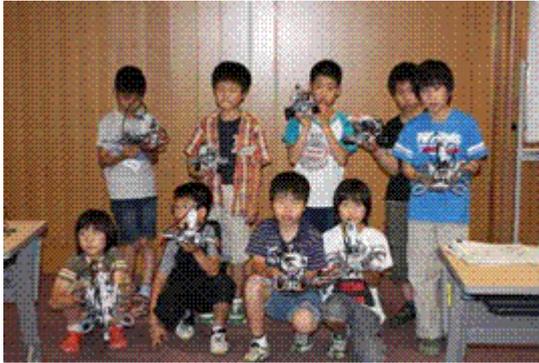
小中学生を対象に「考えて動かそう！ きみにもできるロボットづくり」を実施。

- (1) 6 月 6 日(日) 10:00～16:00 舞鶴市西市民プラザ・3F 集会室, 参加者 6 名。
- (2) 6 月 20 日(日) 10:00～16:00 舞鶴商工観光センター・展示交流室, 参加者 9 名。

(出典 2010 年度 舞鶴工業高等専門学校機械工学科資料より抜粋)

公開講座および出前授業

本講座は、子どもたちに機械として人気のあるロボットづくりの体験を通して、作るおもしろさ・動くよろこびを実感させ、機械工学科への興味を喚起させるとともに、入学志願者の増加に結びつけるねらいがある。



(出典 2010 年度 舞鶴工業高等専門学校機械工学科資料より抜粋)

2010 年度電気情報工学科公開講座および出前授業 公開講座

七色に光るクリスマスツリーを作ろう！ 電子情報通信学会関西支部共催



出典 2010 年度 舞鶴工業高等専門学校電気情報工学科資料より抜粋)

公開講座および出前授業

出前授業

舞鶴市立青葉中学校 3 年生



舞鶴市立朝来小学校 6 年生



(出典 2010 年度 舞鶴工業高等専門学校電気情報工学科資料より抜粋)

2010 年度電子制御工学科公開講座および出前授業 公開講座

小学生のロボット組み立ての様子



中学生の競技の様子



(出典 2010 年度 舞鶴工業高等専門学校電子制御工学科資料より抜粋)

公開講座および出前授業

出前授業



(出典 2010 年度 舞鶴工業高等専門学校電子制御工学科資料より抜粋)

2010 年度建設システム工学科公開講座および出前授業

公開講座

「らぼーる」のセンターコートで、自由参加型の公開講座を4回連続で行う。



(出典 2010 年度 舞鶴工業高等専門学校建設システム工学科資料より抜粋)

公開講座および出前授業

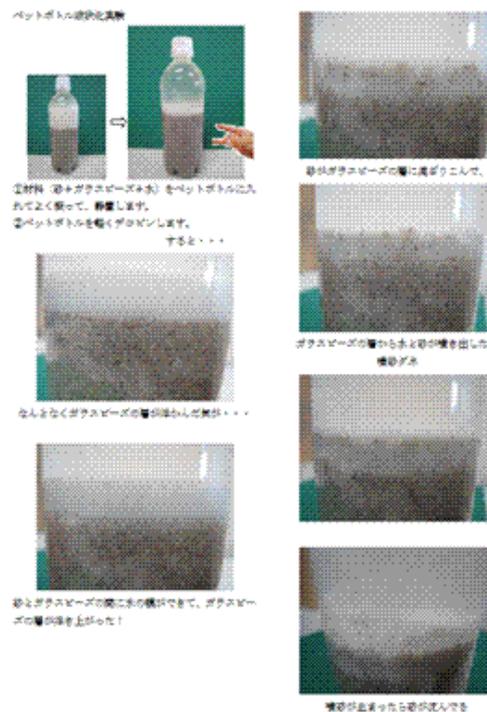
舞鶴工業高等専門学校 建設システム工学科 出前授業

～地震被害とペットボトルによる液状化実験～

白糸中学科学クラブの生徒を対象に平成 22 年 10 月 8 日と 15 日の放課後のクラブ活動の時間を利用して、「地震被害とペットボトルによる液状化実験」の出前授業を実施しました。授業は 2 週に分けて行われ、1 週目は説明と実験、2 週目は実験に対する考察を中心に進められました。液状化現象をペットボトル内で再現し、その様子をじっくり観察して、液状化のメカニズムを考えるといった作業に対して生徒たちは興味深く取り組んでいました。



砂とガラスビーズによる実験装置の製作と液状化現象の発表



液状化実験の説明

(出典 2010 年度 舞鶴工業高等専門学校建設システム工学科資料より抜粋)

2. 教育の質の向上と学生支援に関する新しい取り組み

(1) eラーニングシステムの活用

舞鶴高専のeラーニング環境としては、高専IT教育コンソーシアムにより提供される、「高専間教育素材共有システム」、「数学eラーニング」、「物理eラーニング」、「Moodle」、「eラーニング創造性教育コース」がそれぞれ利用可能となっている。本校独自のものとしては、学習管理システムを利用して個々の教員が提供する学習用教材と校長裁量経費により運営される英語学習支援システム「ALC ネットアカデミー2」がある。

舞鶴高専の情報科学センター内には51台の教育用端末を設置しているほか、マルチメディア室に49台、CAD/CAM室に53台設置し、学生が利用可能な環境が整えられている。利用可能なeラーニングシステムの詳細について述べる。

- (a) 高専間教育素材共有システム (<http://ctm.kosen-it.jp/>) …全国51高専のスケールメリットを生かした教育を実践するために、教育素材を共有するシステムが整備されている。

資料 2-(1)-①

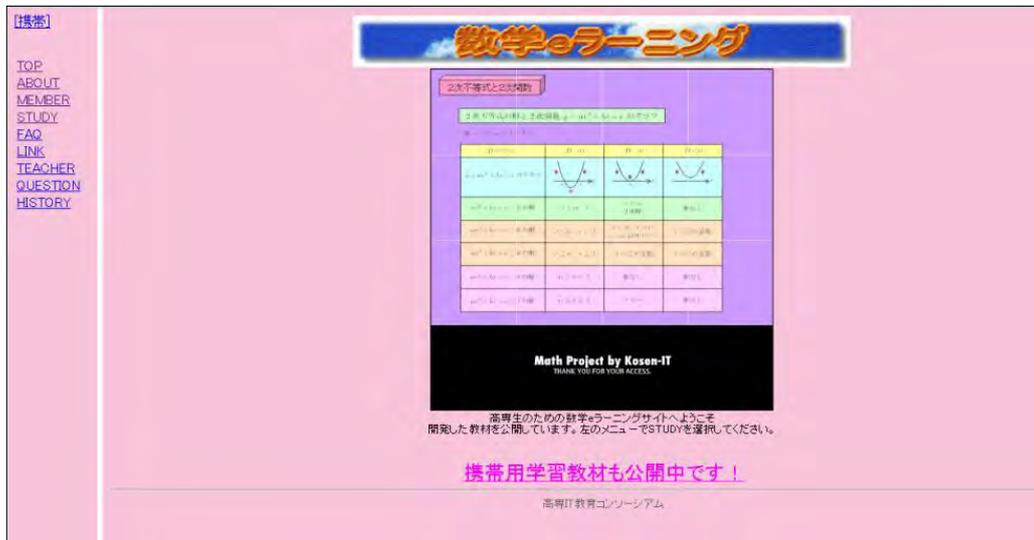


(出典 <http://ctm.kosen-it.jp/>)

- (a) 数学・物理 eラーニング (<http://math.kosen-it.jp/>, <http://physics.kosen-it.jp/>) …数学・物理自学自習 eラーニング教材開発プロジェクトでは、学生の基礎学力向上を目的として、自学自習を効果的に行うことのできる教材の開発を行っている。平成18年度から始まった国立高等専門学校学習到達度試験の過去の全問題を収録し、高専

生が習得すべき幅広い学習内容を効果的に復習できるようになっている。さらに、基本事項を復習できる動画教材を取り入れ、空き時間に気軽に学習可能な一問一答教材の作成も行っている。学校、学生寮、自宅など、インターネットが使える環境ならばどこでも学習することができ、WebClass 用インポートファイルを使えば学生個々の学習履歴を管理することも可能である。

資料 2-(1)-②



(出典 <http://math.kosen-it.jp>)

資料 2-(1)-③



(出典 <http://physics.kosen-it.jp>)

(c) Moodle…学習管理システム (Learning Management System:以下 LMS と呼ぶ) の一つであり、高等教育機関で最も多く利用されている。舞鶴高専でも学習管理システムとして Moodle が利用されている。文部科学省の委託調査の結果によると、高等専門学校 55.9%において Moodle が利用されている。また、次に多く利用されているのが WebClass と呼ばれる LMS であり、こちらは 47.1%の高等専門学校において利用されている。

舞鶴高専における Moodle 活用の主なものは授業アンケートと達成度評価である。授業アンケートは平成 23 年度から全科目について実施され、Moodle の双方向性を生かした取り組みとしてファカルティ開発プロジェクトに役立てられている。

資料 2-(1)-④

The screenshot displays the Moodle user interface. At the top left is the Moodle logo. Below it is a login section with fields for 'ユーザ名' (Username) and 'パスワード' (Password), and a 'ログイン' (Login) button. To the right of the login form is a 'サイトニュース' (Site News) section containing several posts with dates and titles. Below the site news is a 'コースカテゴリ' (Course Category) section with a list of categories and their corresponding course counts. On the right side of the page, there is a '舞鶴高専Moodleサイトへようこそ!!' (Welcome to Maizuru University of Advanced Technology Moodle Site!!) banner, a 'カレンダー' (Calendar) for September 2011, and a '過去のトピック...' (Past Topics...) link.

(出典 <http://moodle.maizuru-ct.ac.jp/moodle>)

(d) e ラーニング創造性教育コース (<http://kosen-e.jp/>) …文部科学省の平成 17 年度現代 GP (現代的教育ニーズ取組支援プログラム) で採択された e ラーニングによる「創造性豊かな実践的技術者育成コースの開発」により開発されたインターネットをフルに活用した全国の高専で利用できる e ラーニング創造性教育環境である。創造性教育の三つの柱として「プロジェクトの立案・管理ができる能力の育成」、「プレゼンテーション能力の育成」、「知的好奇心の高揚」を掲げており、インターネット上で開催されるコンテストを通して学生が想像する喜びと協力する重要性を知る機会を持つことのできる新しい創造性教育のモデルとなることを目指している。

インターネット高専スクール <http://kosen-e.jp/>

e-Learning創造性教育コース

お知らせ

プロジェクト管理手法入門コース 概要

紙飛行機の製作コース 概要 **NE**

つないで計ってみよう電気抵抗コース 概要 **NE**

ハンダ付けからのものづくり教育コース 概要 **NE**

電子デバイス応用入門コース 概要 **NE**

集積回路 (IC) 設計入門コース 概要 **NE**

インターネット遠隔制御技術入門コース 概要 **NE**

LEGOを用いた自律型ロボット製作コース 概要 **NE**

宇宙電波工学入門コース 概要 **NE**

Webアプリケーション入門コース 概要 **NE**

PC-UNIXサーバ構築入門コース 概要 **NE**

プレゼンテーション入門コース 概要

プロジェクト管理手法入門コース

これであなともプロジェクトマネージャ

本入門コースでは、グループでの共同作業に必要な不可欠なプロジェクト管理について学習します。問題解決におけるアイデア収集の方法、計画の立て方、モチベーションの維持、プロジェクトの評価など、プロジェクトを成功に導くためのコツを習得していきます。

弓削高船高専

現代GPプロジェクト
高専IT教育コンソーシアム

現代GP 文部科学省・現代的教育ニーズ取組支援プログラム
高専IT教育コンソーシアム加盟校の12高専による共同プロジェクト

(出典 <http://kosen-e.jp/>)

(e) COCET3300 (<https://cocet.code.ouj.ac.jp/>) …COCET3300 とは、全国高等専門学校英語教育学会 (COCET) の会員である、高専英語教員の有志グループによって作成された理工系学生のための 3300 語からなる語彙リストである。全単語に日本語の訳語がつけられ、関連語句、解説が示されている点も理工系の英語教材としては他に類のない内容のものである。

COCET 3300 理工系学生のための必須英単語 3300

COCET3300について

機能の概要

新規ユーザー登録

学習画面へのログイン

Get macromedia
FLASH
PLAYER

COCET 3300
理工系学生のための必須英単語

平成23年度団体利用申込のご案内はこちらです

COCET3300モバイル版ご利用に関して

携帯電話の設定で「ドメイン指定受信」「シークレットコード指定」「メール拒否」「メール指定受信」など一部のメールが届かなくなる設定になっていないかをご確認下さい。
また「cocet@ouj.ac.jp」を受信できるよう設定してからモバイル版利用設定を行うようお願いいたします。

COCET3300(コセツ3300)とは、全国高等専門学校英語教育学会(COCET)の会員である、高専英語教員の有志グループによって作成された、理工系学生のための3300語からなる語彙リストです。これは、全単語につけられた日本語の訳語に加え、関連語句・解説

(出典 <https://cocet.code.ouj.ac.jp/>)

- (f) LMS をベースとした eラーニング環境…舞鶴高専には個々の教員により提供される LMS ベースの eラーニング環境も存在する。既述の Moodle を活用し、eラーニングに関心の高い教員を中心として授業教材の配布が行われている。例えば、ある教員は黒板では理解させるのが難しい電磁気学の現象について動画によるアニメーションを作成し、学生に授業後に確認させることでより深く理解させることを目指している。その他に多い利用法としては、Moodle 上で小テストを行い評価の際の参考に行っているケースや、授業中に使った資料を配布して学生の自習に役立てているケースがある。

資料 2-(1)-⑦

教員名	利用している科目	利用方法	利用状況	学生の反応	その他
I先生	C言語、C言語実習、論理回路、オペレーティングシステム	課題の提出と授業のまとめ	課題の提出には全員が利用する。頻繁に確認している学生は、数人に限られる。	使い方を覚えるのが面倒、等の意見が寄せられている。	学生と面と向かってコミュニケーションをとる機会が減る。
O先生	基礎数学Ⅰ、基礎数学Ⅱ、基礎数学Ⅲ、微積分Ⅰ、微積分Ⅱ、微積分Ⅲ、応用数学Ⅱ、応用解析	プリントの配布に利用。定期試験の過去問の配布にも利用。	提出用に利用しているわけではないので、全員が利用しているわけではない。およそ2～3割の学生が利用している。	利用期間が長いので、学生も慣れており反応も自然なものであるという。	過去のコースの整備をしてほしい。
M先生	ロボット工学、制御工学特論	スケジュールの告知、課題の配布。	ほぼ100%の学生が利用している。	就職活動で授業を公欠することの多い5年生にとっては課題を好きな時間に受け取ることができるので便利だと好評である。	教員にも学生にもメリットがある。専攻科生の反応は少ない。
T先生	設計製図	資料の配布	受講者全員	普通に利用していた。	
I先生	情報処理	授業中の資料の配布。演習等の練習問題の配布。書いたプログラムをアップロードさせる。	受講者全員	紙よりも提出が簡単だと好評である。	不都合な点は、全くない。
K先生	座学の全講義科目	小テストをMoodle上に用意し、学生に回答させる。	ほぼ100%の学生が利用している。		
K先生	CAD演習、全講義科目	CAD演習では、Moodle上に授業内容と課題をセットして講義する。説明用のパワーポイントも配布する。その他の座学では、講義ノート、演習問題とその回答をMoodleを使って配布している。	受講者全員	指導書等の配布も行っているなので、忘れた場合にも非常に便利だと好評である。	Moodleを使うことで、授業スケジュールの管理が容易になる。
制御工学科	制御工学実験	実験で使うファイルの配布。ロボットを作るのに必要な材料の発注書をアップロードさせる。日誌をアップロードさせる。	ほぼ100%の学生が利用している。	教員がいないときも提出可能なので便利である。	

(出典 舞鶴高専教員からのヒアリング踏査)

- (g) ALC ネットアカデミー…英語自習システム「ALC ネットアカデミー」が、2010年12月より導入され活用されている。学校内の演習室（情報科学センター、CAD/CAM教室、マルチメディア教室の3教室）で利用可能である。本校で利用可能なコース

は、「TOEIC テスト演習 2000 コース」であり、新 TOEIC の reading (grammar/vocabulary を含む) と listening の問題を利用することができる。問題の形式は、実際の TOEIC テストと全く同じだが、正解はすぐにわかり、間違った問題は何度でもやり直しすることができる。正解の解説や難易度の高い単語の意味もその単語をクリックすれば表示される。自分の単語帳をネット上に作ることも可能で学習履歴保存機能、進捗・総学習時間の時間管理と合わせて弱点の補強が容易に行える。listening の問題にも対応しており、学生にはイヤホンかヘッドセットを各自持参して、PC につないで利用するよう指導している。

資料 2-(1)-⑧



(出典 <http://alc.icsc.maizuru-ct.ac.jp/-anet2>)

- (h) 学生の利用状況…高専 IT コンソーシアムが用意してくれた優れた e ラーニング教材については、担任や掲示板を通して学生に利用を促す周知が行われているが、実際には利用している学生は少ないのが実情のようである。本当の意味での実力を養う勉強の重要性はわかっているが、目先の試験やレポートの克服、あるいは資格取得に結び付くような勉強でないと学生の強い関心をひかないのだろう。今後、それらの教材の利用頻度を高めるには、単位を与える方向の検討をするとか、教員に利用を促して授業科目の評価と絡めて利用する等の対策が必要と考えられる。単位と絡めることで学生の利用頻度は飛躍的に向上する。そのことは、本校で利用されている Moodle を利用した e ラーニング環境で実証されており、単位取得に必要なものならば学生全員が利用する。従って、本校の e ラーニング環境を充実させて優れた教材を準備してもそれが単位と関連付けられていなければほとんどの学生が関心を示さない可能性が高い。その点を踏まえた運用の整備が e ラーニング環境にとって今後重要である。

(2) 海外インターンシップ、海外研修の実施

(a) 海外インターンシップ

舞鶴高専における海外インターンシップは、資料 2-(2)-①、資料 2-(2)-②に示すように平成 21 年度と 22 年度の 2 年間にわたり（独）国立高専機構特別教育研究経費の助成を受けて構築した制度である。平成 21 年度には海外インターンシップ学生受入企業として、主にアジアの日系企業の発掘等の準備に着手し、平成 21 年度末には試行実施として専攻科学生 2 名を派遣した。そして平成 22 年度から本格実施となり、新たに海外の大学における体験も含めて舞鶴高専の海外インターンシップ制度として現在に至っている。資料 2-(2)-③に、海外インターンシップを体験した学生に対して実施したアンケートの一部を示す。また、資料 2-(2)-④に、平成 23 年度海外インターンシップ報告会についての本校ホームページ記事を示す。

さらに平成 22 年度には、構築した海外インターンシップ制度の舞鶴高専以外への水平展開を目的として中部日本海 5 高専での国際交流推進連携にも着手した。アジア以外の国における海外インターンシップの可能性を調査するため、カナダのトロント大学とトレント大学を訪問し意見交換を実施した。

資料 2-(2)-①

平成 22 年度特別教育研究「国際交流の推進と海外インターンシップ制度の確立」

目次

まえがき	1
1. 海外インターンシップ制度の確立と試行および国際交流活動	2
1.1 海外インターンシップ実施要領	3
1.2 海外インターンシップ実施日程	4
1.3 海外インターンシップに関する海外、国内出張日程	5
1.4 海外インターンシップ体験学生による事例報告	6
1.5 海外インターンシップに関するアンケート結果	7
1.6 海外インターンシップ先の見回りと新規受け入れ先の訪問報告 ..	9
1.7 海外インターンシップ学内フォーラムの実施報告	10
2. 平成 23 年度海外インターンシップ実施に向けた実施要領の改訂 ...	28
謝辞	35

(出典 平成 22 年度特別教育研究報告書
「国際交流の推進と海外インターンシップ制度の確立」目次抜粋)

1. 海外インターンシップ制度の確立と試行および国際活動

国際性豊かな教育の一環として、海外での企業研修を始めるため、平成 21 年度よりアジア地区における日系企業の研修先を開拓してきた結果、15 社の協力を得ることが出来た。平成 21 年度末から 22 年度にかけて、本校の春休みと夏休みに 2～3 週間、学生を海外インターンシップへ派遣した。派遣先は、中国（上海）上海宝菱塑料制品有限公司、ベトナム（ハノイ）東急建設、マレーシア（スランゴール）日東精工株式会社、中国（上海）上海石田電子衡器有限公司、韓国（昌原）韓国前川製作所、中国（寧波）寧波三菱化学有限公司、中国（蘇州）華菱科技（蘇州）有限公司、タイ（ラヨー）タイ日進製作所であった。なお、学生は 1 社につき 1 名を派遣した。

海外派遣に関しては、はじめに、企業への受け入れ確認および学生募集とその選考会を行った。次に、応募学生に対する説明会、内定学生に対する事前説明会、各企業と各学生との連絡調整を行った後、数名の学生に対しては、国内（本社）での事前研修に参加させた。

（出典 平成 22 年度特別教育研究報告書
「国際交流の推進と海外インターンシップ制度の確立」本文）

1.5.3（マレーシア）日東精工株式会社、（学生氏名）

本アンケートは舞鶴高専海外インターンシップに参加した学生に問うものです。今後の活動へのフィードバックを行うためのものなので、丁寧に回答して下さい。

1. 海外インターンシップで有意義だったことは何ですか？

海外は 2 回目であったが、初めて知ったり、見たり、聞いたりすることがほとんどで非常に新鮮であり、様々なことが学べて非常に有意義であった。また、日本に輸出される製品が製造される現場を見て、この現場があるからこそ日本の工業や産業が成り立っていることが実感できた。

2. 海外インターンシップで苦勞したことは何ですか？

言葉がなかなか通じないことに一番苦勞した。

3. 海外で仕事をするためには、日本語以外の第二外国語が必要であることが理解できましたか？ 理解できたということであれば、どういうときにそう感じましたか？

理解できた。会社内での会議や工場見学の際のプレゼンなど公的な場などでは共通語となる英語で会話されており、海外で仕事をするには英語は必要だと思う。

4. 海外インターンシップの期間は適切でしたか？

僕が滞在した期間は約 3 週間であったが、一ヶ月間ほどあってもいいと思った。

（出典 平成 22 年度特別教育研究報告書
「国際交流の推進と海外インターンシップ制度の確立」本文）

5. 今回はアジアでの海外インターンシップでしたが、あなたが行った国の初期のイメージと実際に行って感じた感想を述べて下さい。

僕が行ったマレーシアは当初、まだまだ発展途上なイメージであったが、実際に行ってみると高層ビルが立ち並んで交通量も非常に多く、非常に都会的であった。

6. 海外インターンシップに最も期待することは何ですか？

海外の事情、文化、職場などを実際に目で見たりふれたりして、日本には体験できないことをインターンシップを通して学ぶ。

(出典 平成 22 年度特別教育研究報告書
「国際交流の推進と海外インターンシップ制度の確立」本文)

MAIZURU NATIONAL COLLEGE OF TECHNOLOGY

トップページ | 受給生の皆様へ | 保護者の皆様へ | 学校紹介 | 学科紹介 | 学生の活動 | 就職・進学 | Q&A | アクセス | リンク

現在地:「お知らせ」と「話題」>

「お知らせ」と「話題」

海外インターンシップ報告会を行いました。(9月21日(水))

2011年8月9日(火)～8月26日(金)の約3週間に亘り、4名の学生がそれぞれアジア各国で海外インターンシップに臨みました。行き先は下記の通りです。

- ・台湾(高雄第一科技大学)、1CM 岡本君
- ・タイ(キングモンクット工科大学)、5M 島本君
- ・マレーシア(マレーシア工科大学)、1ES 山内君
- ・韓国(前川製作所)、1CM 西野君

日常においては、日本語で生活をしている彼らですが、外国に行くと日本語の通じない環境で貴重な経験をしてきました。研修では、下記に示すテーマに取り組みました。

- ・コンピューターシミュレーションによる洗濯槽の解析
- ・自動清掃機の動作挙動の研究
- ・CVT制御に関する研究
- ・大型冷凍機の製作

また、期間中は片言の英語や現地の言葉を駆使して研修に臨みました。それなりに苦労した甲斐あって、皆、現地ではすぐに馴染み、休日には学生や企業の方と個人的な交流も行いました。中には地元の学生と屋台や観光名所を訪問する者、教員の家族に食事に招かれた学生も居りました。

しかし、一方で、宗教的な習慣から日中は断食をしなければいけない(ラマダーン)期間に渡航が重なった学生もあり、周辺の飲食店が閉店し、食べ物の確保に苦労するという日本では考えられない体験をしました。

このように、渡航先によって、様々な体験をしてきた学生ですが、少なくとも、コミュニケーション手段が変わると、意志疎通が難しくなり、簡単なことでもなかなか思うように進まないということを理解し、また国際社会で働くためには何が必要なかをそれぞれに感じ取り、今後の目標が出来たことは、大変有意義であったと思われる。

Copyright © 2011 MAIZURU NATIONAL COLLEGE OF TECHNOLOGY All Rights Reserved.

(出典 舞鶴高専ホームページ
「海外インターンシップ報告会を行いました。(9月21日)」

海外インターンシップは、学生に国際感覚を身につけさせる取組として有効であるといわれており、舞鶴高専において短期間で構築できたことは高く評価できる。また、他高専への水平展開の取り組みも開始されており教育の質の向上に資する取り組みとなっていると判断される。資料 2-(2)-③に示した海外インターンシップを体験した学生のアンケートにおいても、本取組が学生に高く評価されていることがわかる。現在の課題としては、海外インターンシップ受け入れ先の増加と業種の偏りを平準化することが挙げられる。

(b) 海外研修

海外研修については、資料 2-(2)-⑤に示すように従来から行っていた本科 4 年生の研修旅行を平成 18 年度から海外研修旅行とした。その後、協定を締結した大学数が増加し、平成 19 年度には資料 2-(2)-⑥に示すように 4 学科がそれぞれ海外の学術交流協定を締結している大学を訪問し現地の学生と交流するとともに現地の日本企業を訪問し海外勤務技術者のお話を聞くという内容になった。平成 20 年度以後は、資料 2-(2)-⑦、資料 2-(2)-⑧、資料 2-(2)-⑨に示すように現在まで継続実施してきている。

4. その他

(1) 後援会支部総会にあわせた授業参観日の設定

後援会からの要望で、後援会支部総会開催日当日の全授業科目を参観できるようにする。従来から、常時授業参観は可能としていたが、日時が設定されている方が参観しやすいとの要望に対応したものである。

【平成 18 年度施行項目】

(1) 「舞鶴工業高等専門学校技能検定等合格に係る単位認定に関する規程（準学士課程）」改正法改正に伴い、「英語検定」の単位認定を削除した。

(2) 1 年生担当の「工学基礎」科目の充実

従来の座学中心の授業スタイルを、各専門学科の実験実習型授業、大学教員の先端技術に関する講義、近隣企業等への見学を組み合わせた専門科目への動機付け科目として内容を一新した。

(3) 学習到達度試験（数学）実施

高専機構が主催し、今年度初めての実施となる 3 年生を対象とした学習到達度試験（数学）を受験した。

(4) 創造工学系科目の整備

各学科が 4 年生に担当している実験実習型授業を、創造能力が涵養できる科目として内容を一新した。

(5) 海外大学等への研修旅行実施

4 年生の研修旅行で、協定を締結しているタイのキングモンクット工科大学と中国の大連職業技術学院を訪問し、協定先の学生との交流と訪問国の文化を体験した。次年度以後も継続の予定である。

(出典 舞鶴高専年報 2006 本文 7 ページ)

第 2 回研修旅行 WG 議事次第

日 時：平成 19 年 5 月 18 日（金）16：45～17：15

場 所：中会議室

出席者：高谷、加登、岩崎、新池、仲川、四蔵、荒川、高見学生課長、白井教務係長

議 題： 1. 研修日について

	研修先機関名	日 程	訪問日	担任以外の引率
機 械 工 学 科	キングモンクット工科大学	9 月 12 日～15 日	9 月 13 日(木)	土井
電 気 情 報 工 学 科	高 麗 大 学	8 月 22 日～25 日	8 月 23 日(木)	片山
電 子 制 御 工 学 科	大連市立職業技術学院	9 月 12 日～15 日	9 月 13 日(木)	金森
建設システム工学科	国立高雄第一科技大学	9 月 12 日～15 日	9 月 13 日(木)	尾上

(出典 教務委員会研修旅行 WG 議事次第)

教務委員会

教務主事 金山 光一

1. 教務関係全体のトピックス

- (1) 新カリキュラムの導入
平成19年度1年生から学年進行で導入し、平成20年度は2年生までが新カリキュラムで学んだ。
- (2) 学年暦変更
平成21年度からの中間試験実施について、授業の一環として中間試験を実施することとした。ただし、同一学年4クラスに開講している科目など授業時間の中で中間試験を実施することに支障がある科目を除く。この措置により中間試験期間を5日から4日に短縮することとした。
- (3) 学習到達度試験（数学・物理）実施
高専機構が主催する3年生対象の学習到達度試験を実施した。「学習到達度試験」に備える学生支援の一環として、数学と物理の模擬試験および補講を実施した。また、昨年に引き続き3年生で単位設定をしない数学演習を各専門学科で実施した。
- (4) 専門学科による補講実施
平成19年度に開始した3年生対象の工学に関連する数学演習を各専門学科で実施した。この演習には単位付与はないが、単位設定されている通常の授業科目と連携させ、学習内容の習熟を図った。
- (5) 国際感覚養成教育
・本科4年生が、中国（機械工学科）、台湾（電気情報工学科）、タイ（電子制御工学科）、韓国（建設システム工学科）の4カ国に研修旅行を実施した。
・「英語デー」を平成20年10月22日（水）に実施した。1～2年生はA.C.E.を、3年生以上はTOEICを受検した。またプレゼンテーションコンテスト（1～2年生はRecitation、3年生以上はSpeech）に全学生が参加した。

(出典 舞鶴高専年報第6号)

教務委員会

教務主事 金山 光一

1. 教務関係全体のトピックス

- (1) 新カリキュラムの導入
平成19年度1年生から学年進行で導入し、平成21年度は3年生までが新カリキュラムで学んだ。
- (2) インフルエンザによる学校閉鎖
7月に4Cクラスでインフルエンザの集団感染が認められたため、7月22日から28日までを学級閉鎖とした。また11月にはクラスの1割を超えて学級閉鎖を行うクラスが2年生と3年生で複数発生し、事前に設定していた学年閉鎖基準を超えたことから、11月10日（火）から15日（日）までを学校閉鎖とした。これにより11月11日（水）に予定されていたマラソン大会も中止された。7月の学級閉鎖の振替授業は9月に実施し、11月の学校閉鎖の振替授業は、冬休みを短縮して平成22年1月6日（火）から8日（金）に実施した。
- (3) 中間試験実施方法の試行
休日の増加やその他の配慮等により学年暦の編成が困難となったことから、平成21年度は中間試験期間を従来5日としていたものを4日に短縮した。このことをきっかけに前期中間試験を授業の一環として実施することを試みた。その結果、実質的試験期間の長期化となり弊害を生じることが問題となり、後期中間試験では1日3科目、合計12科目を試験期間中に実施することとした。12科目を超える科目数となるのは4年生のみであり、これらについては授業の一環として中間試験を実施し、学期中間時点の成績評価を行った。平成21年度の4年生は現カリキュラムの最終学年となっており、平成22年度には新カリキュラムが4年生まで適用されることから、4年生での科目数の過密状態が軽減されるため、全学年が4日間の中間試験日程で実施できることとなる。
- (4) 学級日誌様式の改定
各クラスで作成している学級日誌の様式が現状に合わない部分があることから、様式改定を行った。後期から、従来の様式と新様式を担任が任意に選択できるように整備した。平成22年度からは新様式のみを使用する。
- (5) 国際感覚養成教育
・本科4年生が、韓国（機械工学科）、タイ（電気情報工学科）、台湾（電子制御工学科）、ベトナム（建設システム工学科）の4カ国に研修旅行を実施した。ベトナムは、今年度初めての訪問国である。今年度は新たに、学術交流協定を締結したハノイの交通情報大学訪問と現地の建設現場見学を実施した。
・「英語デー」を平成21年10月21日（水）に実施した。1～2年生はA.C.E.を、3年生以上はTOEICを受検した。また校内プレゼンテーションコンテストに全学生が参加した。
- (6) タイ派遣インターンシップの実施
機械工学科2名、電子制御工学科1名の5年生の3名が、キングモンクット工科大学においてインターンシップを体験した。

(出典 舞鶴高専年報第7号)

教務委員会

教務主事 金山 光一

1. 教務関係全体のトピックス

(1) 新カリキュラムの導入

平成19年度1年生から学年進行で導入し、平成22年度は4年生までが新カリキュラムで学んだ。

(2) プレオープンカレッジの開催

入学志願者増加を目的として6月26日に京都市内のメルパルク京都で、7月10日に本校で「プレオープンカレッジ」を開催した。

(3) 4年生の海外研修旅行

タイの政情不安定により、年度当初に予定していたタイへの研修旅行をベトナムに変更した。各学科の訪問先は下記のとおりである。

機械工学科	： 国立高雄科技大学（台湾）
電気情報工学科	： 交通・コミュニケーション大学（ベトナム）
電子制御工学科	： 高麗大学（韓国）
建設システム工学科	： 建設大学（ベトナム）

(4) 英語デー

10月20日に「英語デー」を実施した。昨年度までの実施方法を変更し、午前中に ACE と TOEIC 試験を実施し、昨年度まで実施していたプレゼンテーションコンテストは実施しなかった。理由は、開催日が球技大会や高専祭直前であることから、学生への負担が大きいためである。その代わりとして別途、1年生と2年生に対して学年ごとの暗唱大会を実施した。近畿地区プレゼンテーションコンテストへの出場者の選考および準備は、英語教員が担当した。

(出典 舞鶴高専年報第8号)

海外研修旅行は、平成17年度までは各学科で行き先を選定し実施していた。当時は学科によっては行先を海外とする場合があったが、多くは国内の企業見学等であった。平成19年度からは、本校と学術交流協定を締結している海外の大学等を訪問し、現地の学生との交流および現地の日系企業見学と海外で働く日本人技術者のお話を聞くという内容になり、充実が図られている。以上の事から、本校の4年生学生の研修旅行は充実した内容になっており、優れた取組となっていると判断できる。しかしながら、平成22年度の海外研修旅行では、行き先と設定していたタイの国内政情が不安定となり、急きょ行き先をベトナムに変更した経緯がある。学生を海外研修に行かせるにあたり、安全の確保について引き続き改善を行っていくことが必要である。

(3) 国内インターンシップの実施状況

資料 2-(3)-①は本科の学科別および専攻科における過去7年間に実施された国内インターンシップの学生参加者数を示したものである。

この資料より明らかなように、本科4学科については、年度ごとにインターンシップへの参加学生数は変動しており、電子制御工学科と建設システム工学科の2学科は平成21年度から減少傾向を示しており、うち1学科は本年度8名という少ない参加者数となっている。しかしながら、電気情報工学科は平成21年度以降増加傾向となっている。これらの主な理由は、受け入れインターンシップ企業一覧表をクラス掲示するだけで、4年担任による学生へのインターンシップに関する詳細な説明や参加指導等の不足が原因であると考えられる。

一方、専攻科のインターンシップへの参加学生数は、平成18年度以外は少ないことがわかる。これは、夏季に行われていた「特別英語」の1週間合宿が、企業が実施するインターンシップ時期の8月中旬以降と重なっているためと考えられる。しかしながら、本年度は専攻長の説明や指導等もあり、5名の参加者となっている。

以上より、4年担任および専攻長の学生に対するインターンシップに関する詳細な説明や指導次第で参加者数の増減が左右されることが明らかとなったものと言える。

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
機 械 工 学 科	9	20	19	17	12	33	19
電 気 情 報 工 学 科	23	20	10	12	5	15	25
電 子 制 御 工 学 科	15	17	12	16	14	12	8
建 設 シ ス テ ム 工 学 科	24	16	24	25	33	22	12
専 攻 科	0	8	0	1	2	0	5
合 計	71	81	65	71	66	82	69

資料提供：学生課教務係

インターンシップは、本科4年次または専攻科1年次に実施されるため、本科5年次および専攻科2年次の就職活動における履歴書作成や企業面接時には、インターンシップの経験が非常に有効であり、学校としてのインターンシップへの取組体制の有無が学生の就職活動に大きく影響を及ぼすことも考えられる。

このような状況を踏まえれば、インターンシップに関する詳細な説明や参加指導等を、4年担任や専攻長に任せるのではなく、教務委員会や専攻科委員会が協力して、インターンシップ取組体制を組織すべきである。今後、インターンシップへの参加者数を増やし、インターンシップを通じて得た経験や成果が就職希望学生の履歴書作成や企業面接等に少しでも有効に作用するように対策を講じることが望まれる。

(4) 平成22年度(独)国立工業高等専門学校機構特別教育研究経費による「高専連携によるアントレプレナーシップ醸成・キャリア教育の進展」事業の実施

(a) 事業の目的

高等専門学校の本科卒業生の就職求人率は近年の不況下においても極めて高く数十倍となっている。しかし、卒業後5年後、10年後の離職率も低いとは言えない現状と成っている。また、若年者のインターネット利用による孤立感などから、高専を卒業後に社会で企業などにおいて、新しい環境に順応していくことに困難を感じている卒業生も増加している。このような状況のもと、学生に対するキャリア教育は各高専において重要となっている。卒業後に社会性や生きる力を涵養することや、企業でのインターンシップなどによって社会を体験させることが必要となっている。反面、近年、高専を卒業後にベンチャービジネスを立ち上げる学生も増加してきている。学生が起業家をめざすことは、学生が創造性、独創性を持ち、社会の仕組みを理解し、社会性を持つことであると考えられる。したがって、この取り組みとして、高専学生にアントレプレナーマインドを醸成し、キャリア教育をめざしている。

特に、本校においてはこれまでより、1学年で実施している「工学基礎」授業を充実させることにより、低学年におけるキャリア教育を行うこととした。詳しくは次のとおりである。

(b) 「工学基礎」授業による専門科目初年次教育

「工学基礎」授業(通年2単位)は平成19年度に導入されたものであり、1学年に各学生が所属する専門学科の教育内容の理解・導入と学外講師の講演などによるキャリア教育をおこなってきた。平成22年度は(独)国立高専機構特別教育研究経費事業「高専連携による、アントレプレナーシップ醸成・キャリア教育の進展」の一環として、学生に対するキャリア教育として内容の充実を図った。

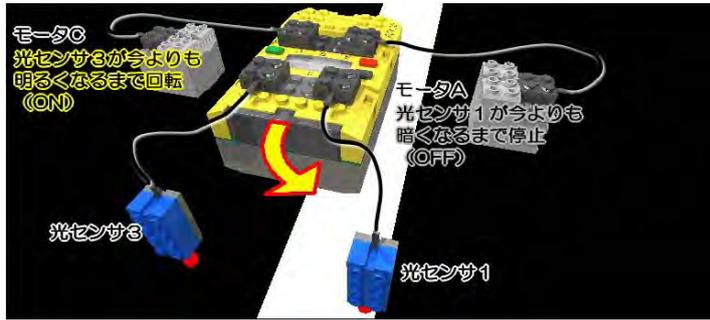
各専門学科では、各専門への導入計画として簡単な実験・実習テーマを新たに導入しその全体の授業計画を4月から6月にかけて行い、実際の授業をそれ以後に行った。

電子制御工学科では、デンマークのLEGO社と米国マサチューセッツ工科大学との共同研究により生まれたロボット教材であるレゴ・マインドストームを用いて、学生にグラフィカル環境の言語ROBOLABを利用したプログラムを作成させ、チームごとにロボットを作成させ、最後に競技による評価を行った。詳しい状況は次のとおりである。

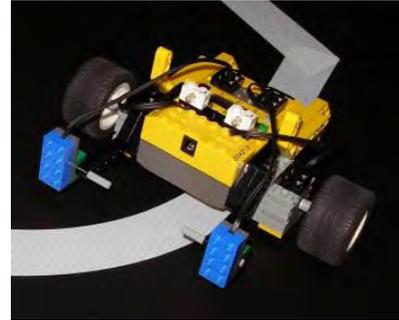
(i) 電子制御工学科における実施例

「レゴ・マインドストームによるトレースカー製作」

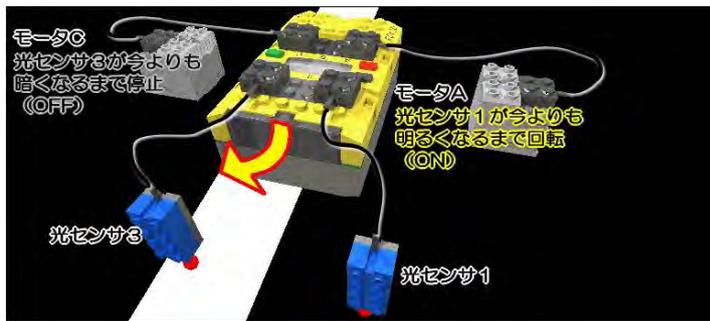
我々の身の回りでは自動車、洗濯機や扇風機といった電化製品、ロボットに至るまでさまざまな「動く」機械が活躍している。これらの機械の多くは、コンピュータや様々なセンサなどの電子回路によって制御されている。このような「機械工学 (Mechanics)」と「電子工学 (Electronics)」を組み合わせた技術は「メカトロニクス (Mechatronics)」と呼ばれる。本テーマでは、レゴ・マインドストーム (LEGO MINDSTORMS) という教材を利用し、資料2-(4)-①、②に示すように、黒いフィールド上に描かれた白線を自動的にたどって進む「ライントレースカー」を製作することで、学生にメカトロニクスの世界を体験



ライン追従の動作原理 1



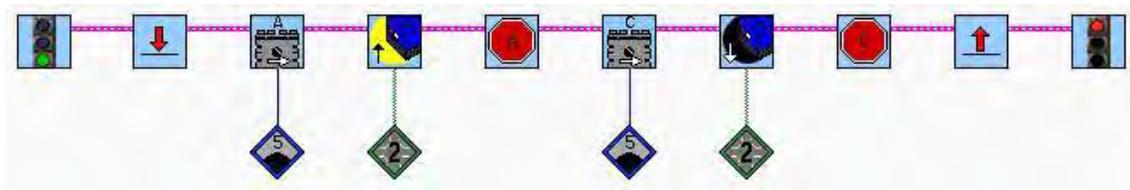
ライントレースカー



ライン追従の動作原理 2



競技の様子



グラフィカル環境の言語 ROBO LAB を利用したプログラム例

レゴ・マインドストーム RCX によるトレースカー製作

(出典 電子制御工学科)



レゴ・マインドストーム NXT によるトレースカー製作

(出典 電子制御工学科)

させている。レゴ・マインドストームとは、デンマークの LEGO 社と米国マサチューセツ工科大学との共同研究により生まれたロボット教材である。この教材には、レゴで馴染み深い通常のプレートやブロックだけでなく、各種のギア、チェーンに代表されるテクニク部品や、マイコン、モータ、各種のセンサに代表される電気系部品が含まれ、容易にロボットを製作することができる。一方、ロボットを駆動するためのマイコン用のプログラミング言語も、グラフィカルな初心者向けの言語から、C 言語に準じた記述式の高級言語まで、幅広い選択肢が用意されている。今年度は、これまでの教材を更新すると共に、学生の発表形式の報告や、競技を行うことで興味を持たせると共に意欲を向上させるなどのことを行った。

(ii)機械工学科における実施例

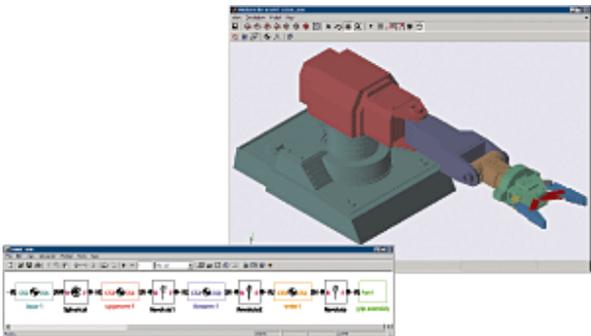
機械工学科において、アイデアを形にする「ものづくり」が非常に重要であり、従来の機械工学科担当分の工学基礎授業において、頭の中のイメージにあるアイデアを具現化する重要な手法「図面化」の演習に重点をおいた講義を実施してきた。ものづくりによる経済創出を実現するためには一般的に試作資金が必要となり、スポンサー協力（外部資金獲得）が必須となる。スポンサー協力を得るためには、試作品制作の前に「図面化」にて、未だ見ぬ製品の魅力を伝えることが最も重要である。同時に可能な範囲で自助努力による試作品制作は、スポンサー協力の獲得可能性を非常に高める。

自助努力による試作品制作を実施するためには、アイデアが形になる「ものづくり経験」が重要となる。そこで、アイデア～図面化～試作という一連の流れを短時間で体験を実施するため、工学基礎授業における下記の「ものづくりダイジェスト体験」を計画して設備導入を実施した。なお、当初は欧州で有名な機械工作キットの複数導入を進めていたが、輸入元が確保できないことより、今年度の導入を見送りとした。

「ものづくりダイジェスト体験」の概要を資料 2-(4)-③～⑤に示す。

資料 2-(4)-③

1. アイデア段階での動作確認体験



(a)動作解析ソフトウェア（考案したアイデアに基づく動作確認）

（出典 機械工学科）

2. 図面化段階での立体-平面変換体験



(a)三面図習熟用教材
(図面化による表現手法の理解度促進)



(b)三次元C A D (図面化の実施)



(c)大判プリンタ (原寸大での表示による理解度促進)

(出典 機械工学科)

3. 試作段階での数値加工体験



(a)小型数値制御フライス盤+簡易CAMソフトウェア
(数値制御工作機械による部品試作加工の理解促進)

(出典 機械工学科)

各設備導入はほぼ終了しており、一番の難関となる教材作成について議論を進めている段階である。ものづくりの各プロセスは十分な機械工学の基礎力が必要となり要約が極めて難しいが、学生自身が体験経験する部分をなるべく多く取入れ、来年度から試行を進めたいと考えている。現在、ものづくり全体の流れを経験できるよう詳細について検討を行っている。

(iii)建設システム工学科における実施例

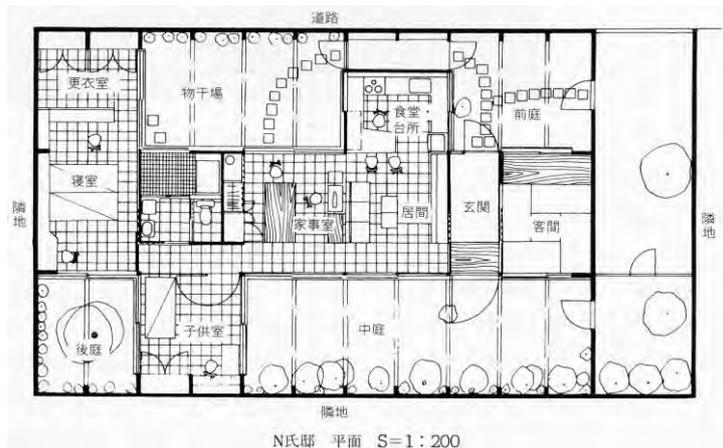
建設システム工学科が担当する課題内容及び趣旨・目的は次のとおりである。

- ・住宅の基本的な設計を通して建築を知ることを目的とする。
- ・建築、特に住宅建築は人間（住人）と密接に関わるモノであるため、建築の基本的機能を学ぶ。
- ・この演習では建築設計に関わる建築法規、プランニングの方法論、木構造、等の基本を学ぶ。建築の社会的位置づけを知る。建築設計の方法を知る。

取り組みの概要を資料 2-(4)-⑥、⑦に示す。

資料 2-(4)-⑥

1. 日本の住宅作品を学ぶ



(a)正面のない家（1960）／西沢文隆<コートハウス>（中庭を作ろう）



(b)日本の伝統建築と新しい試み

（出典 建設システム工学科）

高専時代での思い出や高専時代に学ぶことの重要性や現役学生へのアドバイスなどがあつた。全1年生は興味深く聴き、成績は奮わなかったけれど、社会に出てから頑張ったとの話に特に興味を持ったようである（資料 2-(4)-⑧）。

資料 2-(4)-⑧



他高専卒業生を招いた講演会の様子（ムラタセイサク君）

（出典 学生課）

(ii) 卒業生起業家との懇談会

平成22年度国立高等専門学校機構特別教育研究経費による「高専連携による、アントレプレナーシップ醸成・キャリア教育の進展」事業によって、学生のアントレプレナーシップの涵養を行うため、高等専門学校卒業の起業家を講師として招聘し、学生との懇談会を平成22年8月5日に行った（資料 2-(4)-⑨）。

資料 2-(4)-⑨



卒業生起業家を迎えての懇談会

（出典 総務課）

起業家として平成11年に福井高専を卒業し、携帯電話アプリケーションのブラウザなどを開発・販売している(株)jig.jp代表取締役CEOの福野泰介氏を招き、学生時代のことや、起業についての話を聴き、学生と意見交換を行った。学生は高専を卒業して起業するという進路選択に興味を持つと共に、社会への参加方法としての起業に興味深く思ったようである。

(iii)高専連携による、アントレプレナーシップ醸成・キャリア教育の進展フォーラムの実施

高専では卒業生に対する求人倍率が高く、就職希望者にとって進路選択はほとんど問題が無い状況である。しかし、進路を選択するときの判断基準に惑う学生や就職後の周囲や社会への対応が未熟なケースも時折見受けられる。このような学生の社会への適応や進路を決めるためのキャリア教育が重要と成っている。そこで、舞鶴高専では平成19年度より1年次の学生に社会人などが講義を行う「工学基礎」科目を立ち上げ、初年時からのキャリア教育を始めた。また、福井高専では、平成17年度より校内にアントレプレナーサポートセンターを立ち上げ、このセンターを中心に起業家育成によるキャリア教育を進めてきた。呉高専では平成19年度より、テクノショップ事業を立ち上げ、さらに平成22年度には広島市内にランチを開設するなどキャリア教育を進めている。さらに、明石高専ではアントレプレナー教育を開始している。このように既にキャリア教育の実績を持つ4つの高専がこれまでに培ってきたアントレプレナーシップ教育の成果を互いに交換し、それぞれの教育方法を互いの高専でも実施する他、様々な新しい教育的試みを行っている。今回の独立行政法人国立高等専門学校機構平成22年度特別教育研究経費により、4つの高専が、そのスケールメリットを活かして、4高専でそれぞれがキャリア教育を行い、高等専門学校学生の社会での適応力、複雑化する社会を生き抜く人間力を育成するものである。

このような今回の事業における成果を発表し、学生などからの意見も聞くためフォーラムを開催した。

日 時 平成23年2月10日(木) 14:50~17:10(受付 14:30~)
場 所 京都府舞鶴市字白屋234
主 催 舞鶴工業高等専門学校

高専卒業生の起業家率は高く、中小企業庁の平成15年度の調査によれば、高専卒業生の創業率は大学・大学院と同程度かそれ以上と報告されている。さらに、同調査によれば、ベンチャー企業の創業では高専卒は大学・大学院卒の1.5倍となっている。このことは新聞などでも報道されている。特に、情報系の卒業生での起業率が高い。今回のフォーラムでは福井高専卒業生の(株)jig.jp代表取締役社長CEO福野泰介氏をフォーラムに講師として招くとともに、本校卒業生の(株)エイチアイ代表取締役社長兼CEO川端一生氏を東京の本社からスカイプで中継を行った。このフォーラム全体を全国にユーストリームで配信し、外部からもツイッターで意見を募集した。さらに、連携校から福井高専と呉高

専の教員が参加した（資料 2-(4)-⑩）。

学生は社長となった先輩や他高専の卒業生の起業のことや高専時代の話に興味を持ったようであった。参加した約 90 名の学生や外部の高専生から直接、あるいはツイッターによる多数の質問が寄せられた。主催者が驚くほどの学生の反響があった。

アントレプレナーシップ醸成・キャリア教育の進展フォーラムの日程

14:30～15:00	受付
14:50～15:10	開会 主催者挨拶：【舞鶴工業高等専門学校校長 太田泰雄】
15:10～16:10	基調講演：(株)jig.jp 代表取締役社長 福野泰介 「高専生と起業」
16:10～17:00	パネルディスカッション パネラー (株)jig.jp 代表取締役社長 CEO 福野泰介 (株)エイチアイ代表取締役社長兼 CEO 川端一生 (スカイプによる中継) 司会 舞鶴工業高等専門学校校長 太田泰雄
17:00	閉会



アントレプレナーシップ醸成・キャリア教育の進展フォーラムの様子

(出典 総務課)

(5) 支援が必要な学生への対応と取り組み

平成22年度における学生相談室の取り組みについて述べる。

(a) 観察・支援を必要とする学生の早期発見，早期対応

3月，発達障害を持つ入学予定者の情報を保護者から得て，保護者面談，学生面談を実施した。

4月，課題学生の担任への引き継ぎや，課題学生の掘り起しを行った。また担任との連携を図った。

学生相談室長が，6月，9月，12月，3月に実施された4回の定期試験後に，欠席・成績調査から学生のスクリーニングをして，必要な場合にはカウンセラーおよび担任との連携を図った。

(b) 学生相談に関する研修会の充実

6月，元京都府立朱雀高等学校養護教諭佐藤友子氏と京都府立朱雀高等学校教務部長島貫学氏を講師として招き，学生相談研修会「特別支援教育の取り組み（京都府立朱雀高等学校の場合）」を実施し，多くの教員に発達障害に関する知識を持ってもらった。

また以下に挙げる研修会などに多くの教職員が参加した。

6月，近畿学生相談研究会例会

9月，特別支援教育トータルサポートセンター（京都府立舞鶴養護学校）との連絡協議

9月，近畿学生相談研究会例会

11月，近畿地区メンタルヘルス研究協議会

11月，近畿地区高専カウンセリング連絡協議会（主管校）

1月，相談支援活動における必要な法律知識と弁護士活動

1月，全国国立高等専門学校メンタルヘルス研究集会

(c) 学生相談室員

今年度の学生相談室は教職員10名，臨床心理士1名，精神科医師1名で構成され，下記の時間帯に相談を受け付けている。

- ・臨床心理士1名 毎週木曜日 14時50分～17時25分
- ・精神科医師1名 月1回月曜日 15時00分～16時30分
- ・教員7名 相談の上で決める。
- ・職員2名 相談の上で決める。
- ・看護師1名 相談の上で決める。

専門カウンセラーによる相談は，原則予約制であるが，予約のないときはその場でも相談を受け付けている。予約方法は，パソコンや携帯電話からのメール，学生相談申込票を投函箱に入れる，看護師に直接申込む等の方法がある。

(d) 学生相談の現状

学生相談室の相談件数は，平成18年度507件，平成19年度524件，平成20年度214

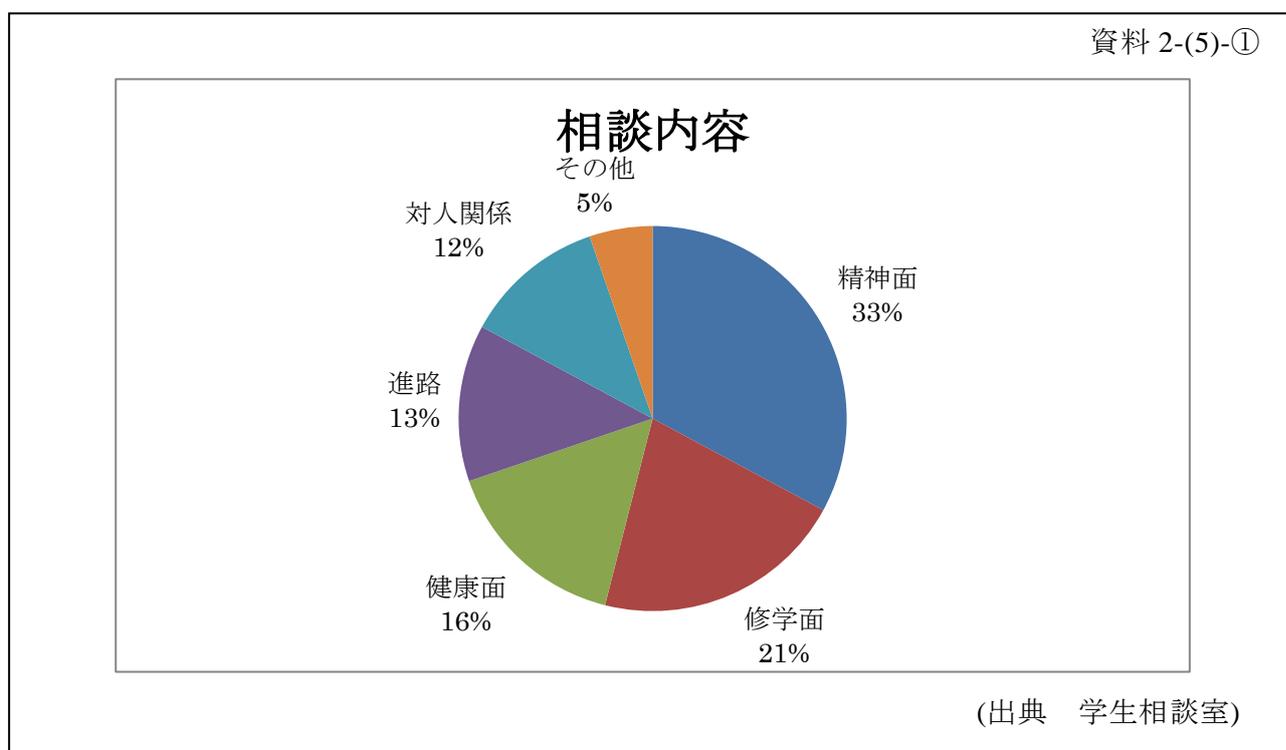
件，平成 21 年度 158 件と推移して来て，平成 22 年度は 195 件であった。その内訳は以下の通りである。

- ・教職員スタッフ (1 月末まで) 152 件， 54 名
- ・精神科医師 1 件， 1 名
- ・カウンセラー (2 月 10 日まで) 42 件， 9 名

(e) 平成 22 年度学生相談および支援学生の特徴

平成 22 年度の学生相談および支援学生について以下のような特徴が見られた。

- ・専攻科学生の相談増加 (人間関係，進路での躓き，本科とのギャップなど)
- ・発達障害及び身体障害を持つ学生の相談増加
- ・精神面と修学面の相談が相談内容の半数を超えている。



(f) 課題

- ・カウンセラーの相談時間
現状では，相談について学校側と引継ぎおよび議論をする時間がない。
カウンセラーの常駐あるいは増員が望ましい。
- ・要観察・要支援学生への支援体制
縦の連携，すなわち低学年 (1, 2 年)，高学年 (3~5 年)，専攻科の各担任間の継続的指導および横の連携，すなわち学生相談室，保健室，三委員会間の連絡が必要。
- ・自殺防止のための働きかけ
学生相談室だけでなく，パートナーシップ，担任，教科担当のカウンセリングマインドの充実を図り，学校を上げての取り組みが必要。

(6) 進路指導の現状

就職先及び進学先の詳細については、毎年発行されている「学校概要」に記されているためここでは省略し、進路指導の現状を中心に自己点検評価を行うことにする。本校における過去7年間の進路状況を、就職と進学に大別すると資料 2-(6)-①のようになる。平成17年から19年の間は進学が上回っているが、平成20年以降は逆転している。しかし、全体の5割（縦軸の0.5）の線を中心にして僅かに変動しながら推移しており、就職と進学がほぼ半分ずつとなっている。したがって、進路指導は就職と進学の両方を並行しながら実施して行く必要があり、進路指導委員会の中に、就職指導部会と進学指導部会が設置されている。学科別に整理した求人社数の推移を資料 2-(6)-②に示す。平成5年から平成17年までは、いわゆる「就職氷河期」であり、求人社数は最も多い平成19年度の半分以下となっている。平成18年度と19年度は急激に増加するが、平成20年9月のリーマンショックを境に再び減少傾向を示している。学科別に見ると、建設システム工学科の求人数は、他学科のそれと比較して、半分程度となっている。機械工学科、電気情報工学科及び電子制御工学科に対する求人社数はほぼ同程度である。以下に、進路指導委員会の活動状況及び合同企業説明会・進学フェアについて述べる。

(a) 進路指導委員会の活動状況

資料 2-(6)-③に平成23年度の進路指導委員会活動スケジュールを示す。平成22年度の活動もほぼ同様である。高専特有の5年間（専攻科では7年間）という長きに渡る学校生活において、中だるみの傾向が指摘され、これに対応すべく、3年次において5回に渡る進路ガイダンスを実施し、合同企業説明会・進学フェアにも参加させている。これにより、学生は進路について考える機会が与えられ、その結果、勉学への動機づけとなり、勉学の具体的な目標を定めることができるようになってきている。また、4月から随時開催される大学説明会を3年生にも案内し、進学意欲のある学生を支援している。さらに、1年生と2年生にも年1回の進路ガイダンスを実施し、将来の希望に基づいた目標を掲げて勉学に取り組めるよう配慮している。

進路指導で最も重要な時期は4年次から5年次へかけてである。4年生には5回の進路ガイダンスを実施している。第1回目では、昨年の動向とこれからの心構えについて説明し、インターンシップの重要性についても説明している。9月の進路ガイダンスでは、本校の就職斡旋規程（平成23年度以降は職業紹介業務運営規程）と進学指導規程に基づいて、就職指導ガイドライン及び進学指導ガイドラインについて説明し、諸手続きや守るべきルールについて周知させている。11月には面接講習を実施し、さらに、合同企業説明会及び進学フェアのためのオリエンテーションを別途開催している。このとき、進路アンケートと誓約書の用紙を学生に配布している。12月には合同企業説明会・進学フェアを開催している。この合同企業説明会・進学フェアについては、次項で取り上げる。進路に対する認識が十分深まった時期に冬休みに入り、学生たちは実家へ帰省し、進路について保護者と相談できる体制が整っている。保護者との相談の結果を踏まえて、1月初旬に進路アンケートと誓約書を担任へ提出させている。この進路アンケートに基づいて、各クラス担任は、学生・保護者・担任の三者懇談を3月中旬に実施し、進路の方向を明確にする

ことができる。就職活動の要となるのは履歴書であり、1月には特に履歴書作成のための講習会を実施している。資料 2-(6)-④にこのときの資料を示す。本校所定の履歴書や顔写真、作成のポイントと記入の心構え、具体的な記入方法などについて、きめ細かな説明があり、最後に履歴書のサンプルが提供されている。学生は自ら進んでしっかりした履歴書を作成できるように配慮されている。

このように、各学年において、きめ細かな進路ガイダンスが実施され、学生の就職活動や進学受験準備に大きく寄与している。

(b) 合同企業説明会・進学フェアの開催

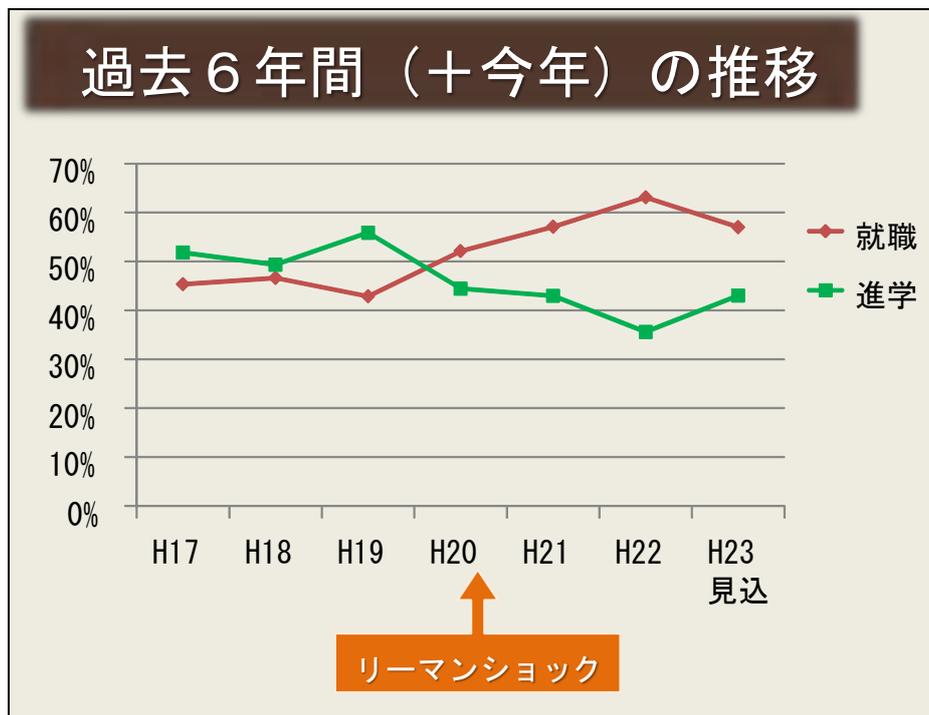
学生に企業との接点を持たせることを目的として、3年生と4年生を対象に、平成20年度から合同企業説明会を開催している。平成20年度は舞鶴市内のホールを貸し切って開催したが、平成21年度からは本校校舎において開催している。平成21年度は75社、平成22年度は81社の参加があり、学生は企業等の方々と直接に質疑応答することができ、会社選びや就職活動に大きく寄与している。昨年度からは当該学生の保護者の参加を可能にしたため、保護者の参加も数十名あった。教室が並ぶB棟の4階～2階が各企業のブースに割り当てられている。資料 2-(6)-⑤に、4階～2階のレイアウト及び各ブースの割り当てを示す。平成22年度は進学フェアという名称で、大学の説明会も同時に開催された。各大学にブースを割り当てるとともに、合併教室における各大学の説明会も並行して行われた。資料 2-(6)-⑥に、会場の風景を示す。各企業はポスターやパンフレットをはじめ、プロジェクタやサンプル製品などを持参してくださり、わかりやすく丁寧に説明していただいた。

学生が企業と接点を持つことは有意義であるが、その半面、服装や言葉使い、礼儀、マナーが悪いと本校に対する信頼とイメージが損なわれる危険性がある。そのため、合同企業説明会及び進学フェアに関するオリエンテーションを開催し、社会人としての服装や礼儀、マナーに関する講習を行い、学生の服装は資料 2-(6)-⑥のとおり全員スーツとした。企業等の知名度によっては、ブースへ入る学生が少ないことも想定されるため、学生が説明を受ける企業を事前に割り当て、少なくともそのブースへ入らせるようにしている。

終了後には、参加企業、参加大学、参加学生にアンケート調査を実施している。参加企業を対象としたアンケートでは、合同企業説明会の満足度について、十分満足したが25%、概ね満足したが71%と肯定的であった。学生は熱心に説明を聞いたかという質問に対して、大変熱心であったが57%、ある程度熱心だったが43%、学生は事前調査をして説明を聞いたかという質問に対して、かなりしていたが38%、ある程度していたが61%と、企業から見た学生の印象は良好である。参加大学に対するアンケート結果もほぼ同じ傾向であった。本校学生の印象は、企業では「まじめ、熱心、勤勉」が最も多く、大学からは「礼儀正しい、挨拶ができる」が最も多かった。学生を対象にしたアンケートでは、ブースに入った数は4社が26%、5社が20%、3社が17%で、6社以上が12%であった。合同企業説明会の満足度は、十分満足できたが43%、概ね満足できたが50%、進学フェアの満足度は、十分満足できたが30%、概ね満足できたが53%と、かなり肯定的な回答であった。このように、学生、企業、大学ともに肯定的で満足度の高い結果が得られており、今後も継続して

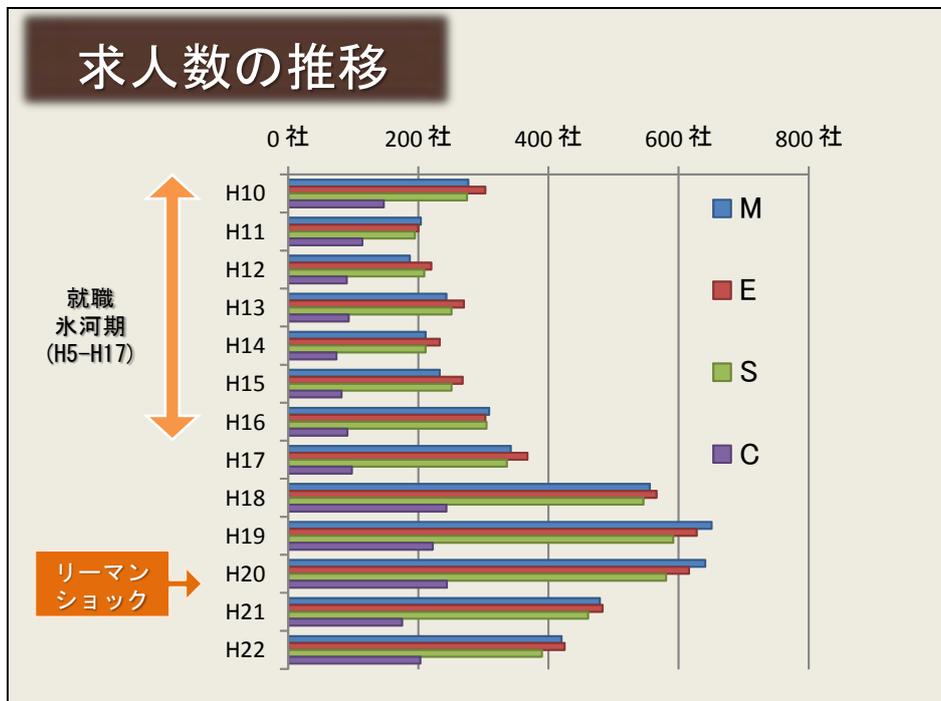
開催されることが望まれる。

資料 2-(6)-①



過去6年における就職と進学推移

資料 2-(6)-②



過去13年間における本校への求人社数の推移

(出典 進路指導委員会)

進路活動関連のスケジュール

1年次	6/20(月)	◆ 進路ガイダンス(高専での進路活動)
2年次	6/27(月)	◆ 進路ガイダンス(昨年の動向とこれからの心がまえ)
3年次	4月頃 より随時	◆ 個別の大学説明会
	5/23(月)	◆ 進路ガイダンス(昨年の動向とこれからの心がまえ)
	9/29(木)	◆ 進路ガイダンス(進学)・・・希望者のみ
	11/14(月)	◆ 進路ガイダンス(面接講習)
	11/21(月)	◆ 進路ガイダンス(合同企業・大学説明会について)
	12/4(日)(予定)	◆ 合同企業・大学説明会

就職希望の場合

4年次	5/16(月)	◆ 進路ガイダンス(昨年の動向とこれからの心がまえ)
	4月下旬~7月初旬	◆ 企業でのインターンシップ(就業体験)の申し込み手続き
	8月初旬~9月初旬	◆ インターンシップの実施
	9/27(火)	◆ 進路ガイダンス(就職)
	11/10(木)	◆ 進路ガイダンス(面接講習)
	11/22(火)	◆ 進路ガイダンス ✓ 合同企業・大学説明会について ✓ 就職および進学指導のガイドラインの説明 ✓ 進路アンケート, 誓約書の配布
	12/4(日)(予定)	◆ 合同企業説明会(該当学生の保護者も参加可能) ✓ H21年度参加企業: 75社 ✓ H22年度参加企業: 81社
	冬季休業	◆ 学生と保護者との話し合い
	12月頃より随時	◆ 個別の会社説明会 ◆ 自由応募の場合, 活動開始
	1月初旬	◆ 進路アンケート, 誓約書の提出
	1/17(火)	◆ 進路ガイダンス(書類作成講習)
	1月初旬~3月初旬	◆ 二者面談: 担任と学生との面談
	3月	◆ 工場見学, 企業説明会参加(必要に応じて)
	3/17(土), 3/18(日)	◆ 三者懇談会: 担任と学生, 保護者との面談
	3月下旬~	◆ 企業研究 ◆ 履歴書作成 ◆ 適性試験対策 ◆ 面接対策
	5年次	4/1
4月~		◆ 選考試験(4月~5月がピーク)
~12月		◆ 公務員試験(9月がピーク)

(出典 進路指導委員会)

進学希望の場合

4 年次	4 月頃 より随時	◆ 個別の大学説明会
	5/16 (月)	◆ 進路ガイダンス (昨年の動向とこれからの心がまえ)
	5 月中旬	◆ 長岡技科大：オープンハウスの申し込み ◆ 豊橋技科大：高専体験実習生の申し込み
	8 月初旬～9 月初旬	◆ オープンハウス，体験実習の実施
	9/29 (木)	◆ 進路ガイダンス (進学) ・ ・ ・ 希望者のみ
	11/10 (木)	◆ 進路ガイダンス (面接講習)
	11/22 (火)	◆ 進路ガイダンス ✓ 合同企業・大学説明会について ✓ 就職および進学指導のガイドラインの説明 ✓ 進路アンケート，誓約書の配布
	12/4 (日) (予定)	◆ 合同大学説明会開催 (該当学生の保護者も参加可能) ✓ H21 年度参加校：2 校 ✓ H22 年度参加校：11 校
	冬季休業	◆ 学生と保護者との話し合い
	1 月初旬	◆ 進路アンケート，誓約書の提出
	1/17 (火)	◆ 進路ガイダンス (書類作成講習)
	1 月初旬～3 月初旬	◆ 二者面談：担任と学生との面談 ◆ 受験日程，学力レベルを考慮して受験校の選定
	3/17 (土), 3/18 (日)	◆ 三者懇談会：担任と学生，保護者との面談
	5 年次	4 月
4 月下旬～GW 明け		◆ 立命大， 関西大総合情報学部：指定校推薦内部選考
5 月		◆ 国立大・専攻科の特別選抜願書提出のピーク ◆ 技科大は学力選抜も同時期に願書提出
6 月		◆ 国立大・専攻科の特別選抜試験のピーク ◆ 国立大・専攻科の学力選抜願書提出のピーク
6 月中旬～7 月中旬		◆ 地方国立大学の学力選抜のピーク ◆ 専攻科の学力選抜 (前期)
7 月～11 月		◆ 私立大学の学力選抜
7 月末～8 月末		◆ 難関国立大学の学力選抜 ✓ 大阪大基礎工学部：7 月末 ✓ 大阪大工学部：8 月中旬 (盆明け) ✓ 京都工芸繊維大：8 月下旬
10 月初旬		◆ 舞鶴高専専攻科の学力選抜 (後期)

(出典 進路指導委員会)

第5回進路ガイダンス

— 履歴書の書き方 —

進路指導委員会

1

はじめに

◆就活とは？

「就職活動は自分という商品を企業に売り込むプレゼンテーション」

◆プレゼンテーションの場面

- 1) 応募書類
 - ✓ 履歴書
 - ✓ エントリーシート
- 2) 面接

2

はじめに

◆採用突破の3つの鍵

- 1) 自己理解
 - ✓ 能力
 - ✓ 経験
 - ✓ 長所・短所
- 2) 企業情報収集
 - ✓ 企業の特徴（その企業の強み）
 - ✓ 事業内容
 - ✓ 同業他社との比較
 - ✓ 企業の表の姿と裏の姿を知る

3

はじめに

3) ビジネススキル

【ネイチャー・スキル】

正実さ、熱意、勤勉さ、忍耐強さ、積極性、自信、勇気、信頼、冷静さ、健康

【ベイシック・スキル】

知識、礼儀正しさ、常識、時間管理、自己管理、愛社精神、行動力、達成力、モチベーション、想像力

【アドバンスト・スキル】

分析力、計数管理能力、判断・決断力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、情報活用力、プランニング力、洞察力、戦略的思考力、顧客思考

【プロフェッショナル・スキル】

問題解決力、状況対応力、交渉力、コーチング、リーダーシップ、企画構想力、イノベーション（技術革新）力

4

はじめに

◆履歴書／エントリーシートの目的

応募者	企業側
<ul style="list-style-type: none"> ● 採用担当者の目にとまり、読んでもらう ● 自分という商品のイメージを伝える ● 面接の機会を得る 	<ul style="list-style-type: none"> ● 応募書類の書き方から性格・熱意などを見る ● 応募者がどのような人物なのかを知る ● 面接する価値があるかを判断する

5

はじめに

◆履歴書／エントリーシートの意味

応募者	企業側
<ul style="list-style-type: none"> ● 就職活動のスタート ● 面接の準備 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 自己理解 ✓ 企業研究、情報収集 ● 自信が持てる <ul style="list-style-type: none"> ✓ 己の能力の評価 ✓ 企業・仕事に対する興味や関心が芽生える ✓ 書類作成能力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ● 採用選考のスタート ● 書類選考 <ul style="list-style-type: none"> ✓ ふるい分け ● 面接での補助資料 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 履歴書の内容を質問することも少なくない

6

(出典 進路指導委員会)

応募書類の種類 1/5

◆ **応募書類の種類**

1) **履歴書**

✓ 応募者が用意 (本校指定用紙)

記載内容例	
● 氏名、現住所など	● 志望動機
● 学歴・職歴	● 自己PR
● 免許・資格・賞・ボランティア活動	● 得意科目・得意分野
	● 学生生活を通じて得たこと
	● 趣味・特技
	● 希望職種・勤務地
	● (卒業研究)

7

応募書類の種類 2/5

2) **エントリーシート (Web の場合も)**

✓ 企業が用意

設問例 (H23/1/11 読書新聞)

- **基本バージョン**
 - ✓ 自己 PR、志望動機、学生時代に力を入れたこと
・・・履歴書と同様
- **人生を問う**
 - ✓ あなたのこれまでの人生において、最も印象に残っている「決断の場面」を紹介してください。【三井物産】
- **チームプレーが得意かどうかを問う**
 - ✓ まわりの人々を巻き込んで何かを変え、成果をあげた経験(テーマ)を五つ記載してください。【三菱UFJ銀行】

8

応募書類の種類 3/5

設問例 (H23/1/11 読書新聞)

- **精神的な強さを問う**
 - ✓ あなたの精神的タフさ(粘り強さ、芯の強さ)を知ることができるエピソードを教えてください。【三井住友海上火災保険】
 - ✓ 学生時代に「最も苦労した経験」や「一番の挫折」をお書きください。また、どのように乗り越えましたか、もしくは、どうすれば乗り越えられましたか。【三陽商会】
- **センスや着眼点を問う**
 - ✓ あなたの PR を自由に表現してください。(A4版の白紙)【タカラトミー】
 - ✓ 「写真」を使って、2コマであなたのキャラクターを紹介してください。【集英社】

9

応募書類の種類 4/5

設問例 (H23/1/11 読書新聞)

- **「もしも」で聞く**
 - ✓ ゼミ旅行に行くことになりました。旅行先・内容について、メンバーの意見が二つにわかれた。あなたは少数派のうちの一人ですが、あなたはどうしますか。【資生堂】
 - ✓ あなたの手に自由に使うことができるお金が 3000 万円あるとしたら、あなたはそのお金をどのように使いますか。【博報堂】

10

応募書類の種類 5/5

3) **推薦状・・・推薦応募**

✓ 教務係で学生が申請後、学校が用意

4) **調査書、成績証明書、卒業見込証明書**

✓ 教務係で学生が申請後、学校が用意

5) **添え状**

✓ 郵送する際に添える簡単な挨拶文

✓ **自由応募**で学生自身が送付する場合は、学生が用意

11

本校指定の履歴書 (卒業研究欄なし)

履歴書		自己紹介書	
氏名	〒	志望動機	
生年月日	性別	自己PR	
学歴	得意科目・得意分野	得意科目・得意分野	
学生生活を通じて得たこと	趣味・特技	希望職種など	
希望職種・勤務地	免許・資格・賞・ボランティア活動		

12

(出典 進路指導委員会)

履歴書の記入の心がまえ 4/8

履歴書 自己紹介書

- 文字は小さすぎず、力強い、心をこめた丁寧な字を意識
- 文章は「私」で統一
- 断定的な表現で語尾をまとめる
：「～ます。」 「～です。」
「～おります。」 「～ました。」
- 簡潔表現でシンプルに
：一文で2行までが目安

19

履歴書の記入の心がまえ 5/8

履歴書 自己紹介書

問題：
履歴書の記入で最初にすることは？

20

履歴書の記入の心がまえ 6/8

履歴書 自己紹介書

答え：
印鑑

きれいに捺印された履歴書以外はダメ

21

履歴書の記入の心がまえ 7/8

履歴書 自己紹介書

履歴書はあなたの人間性を写し出します

22

履歴書の記入の心がまえ 8/8

履歴書 自己紹介書

記入が終わったら・・・

必ずコピーを取る

面接前に記載した内容を確認

23

履歴書の記入 (左ページ) 1/8

履歴書

左ページのみ書いてみよう

24

(出典 進路指導委員会)

履歴書の記入 (左ページ) 2/8

平成 23 年 4 月 6 日現在

大きく力強くバランスよく記入する

「ふりがな」はすべての文字につけた方が親切 (人事担当がパソコンで入力)

現住所と同じ場合は「同上」のみを記入

都道府県から記入し、アパートであれば部屋番号まで記入する
寮生は「学寮内」でよい

パソコンの e-mail ※ ファイルが添付されてくることもある

ふりがな	まいづる たろう	性別	男
氏名	舞鶴 太郎	印	男
生年月日	平成 3 年 10 月 10 日生 (満 19 歳)	電話	0773-12-3456
ふりがな	きょうとふ まいづるし あざしりや 2-3 くらんどしりや 702	携帯電話	090-123-4567
現住所	京都府舞鶴市宇白屋2-3 グランド白屋702	電話	075-456-7890
ふりがな	きょうとふ きょうとし うきょう うずまさあおきがはららち 1-2	FAX	
通学先	京都府京都市右京区太秦青木ヶ原町1-2	電話	0773-62-1111
ふりがな	同上	FAX	
e-mail	maizuru@gmail.com	e-mail	jiro@maizuru-ct.ac.jp
e-mail	maizuru@gmail.com	電話	0773-62-1111
担任氏名	白屋 次郎 准教授	電話	0773-62-1111
連絡先	e-mail: jiro@maizuru-ct.ac.jp		

25

履歴書の記入 (左ページ) 3/8

平成 23 年 4 月 6 日現在

大きく力強くバランスよく記入する

「ふりがな」はすべての文字につけた方が親切 (人事担当がパソコンで入力)

現住所と同じ場合は「同上」のみを記入

都道府県から記入し、アパートであれば部屋番号まで記入する
寮生は「学寮内」でよい

パソコンの e-mail ※ ファイルが添付されてくることもある

ふりがな	まいづる たろう	性別	男
氏名	舞鶴 太郎	印	男
生年月日	平成 3 年 10 月 10 日生 (満 19 歳)	電話	0773-12-3456
ふりがな	きょうとふ まいづるし あざしりや 2-3 くらんどしりや 702	携帯電話	090-123-4567
現住所	京都府舞鶴市宇白屋2-3 グランド白屋702	電話	075-456-7890
ふりがな	同上	FAX	
通学先	京都府京都市右京区太秦青木ヶ原町1-2	電話	0773-62-1111
ふりがな	同上	FAX	
e-mail	maizuru@gmail.com	e-mail	jiro@maizuru-ct.ac.jp
e-mail	maizuru@gmail.com	電話	0773-62-1111
担任氏名	白屋 次郎 准教授	電話	0773-62-1111
連絡先	e-mail: jiro@maizuru-ct.ac.jp		

26

履歴書の記入 (左ページ) 4/8

平成 23 年 4 月 6 日現在

「郵送」または「持参」する日付を記入

写真の裏に「舞鶴高専十氏名」を (のりでにじまないペンで) ペン書きして、貼り付け

本科: 担任名
専攻科: 就職担当教員名
※ 肩書は、教授・准教授・講師または先生

ふりがな	まいづる たろう	性別	男
氏名	舞鶴 太郎	印	男
生年月日	平成 3 年 10 月 10 日生 (満 19 歳)	電話	0773-12-3456
ふりがな	きょうとふ まいづるし あざしりや 2-3 くらんどしりや 702	携帯電話	090-123-4567
現住所	京都府舞鶴市宇白屋2-3 グランド白屋702	電話	075-456-7890
ふりがな	きょうとふ きょうとし うきょう うずまさあおきがはららち 1-2	FAX	
通学先	京都府京都市右京区太秦青木ヶ原町1-2	電話	0773-62-1111
ふりがな	同上	FAX	
e-mail	maizuru@gmail.com	e-mail	jiro@maizuru-ct.ac.jp
e-mail	maizuru@gmail.com	電話	0773-62-1111
担任氏名	白屋 次郎 准教授	電話	0773-62-1111
連絡先	e-mail: jiro@maizuru-ct.ac.jp		

27

履歴書の記入 (左ページ) 5/8

年月日を間違わないこと

中学校卒業から
学校名・学科名は略さない
上下の文字位置をそろえる

本科生

左寄せ 中央 右寄せ

学年	年	月	学歴・職歴
平成 19	3		舞鶴市立白糸中学校 卒業
平成 19	4		舞鶴工業高等学校 電子制御工学科 入学
平成 24	3		舞鶴工業高等学校 電子制御工学科 卒業見込
			なし
			以上

28

履歴書の記入 (左ページ) 6/8

編入学生

学年	年	月	学歴・職歴
平成 19	3		大阪市立都島中学校 卒業
平成 19	4		大阪市立都島工業高等学校 機械電気科 入学
平成 22	3		大阪市立都島工業高等学校 卒業
平成 22	4		舞鶴工業高等学校 電子制御工学科 3年次編入
平成 24	3		舞鶴工業高等学校 電子制御工学科 卒業見込
			なし
			以上

29

履歴書の記入 (左ページ) 7/8

専攻科生

学年	年	月	学歴・職歴
平成 17	3		舞鶴市立白糸中学校 卒業
平成 17	4		舞鶴工業高等学校 電子制御工学科 入学
平成 22	3		舞鶴工業高等学校 卒業
平成 22	4		舞鶴工業高等学校 専攻科 電気制御システム工学専攻 入学
平成 24	3		舞鶴工業高等学校 専攻科 電気制御システム工学専攻 修了見込
			なし
			以上

30

履歴書の記入 (左ページ) 8/8

学内の賞でも可 (皆勤賞、精勤賞 etc ...)

アピール性が高い順

平成 22	5	皆勤賞受賞(舞鶴高専)
平成 21	7	近畿地区高等学校体育大会 陸上三段跳 3位入賞(全国大会出場)
平成 22	10	TOEIC-Pテスト スコア 505 点取得
平成 22	10	高専ロボコン近畿地区大会運営補助
平成 22	9	普通自動車第一種免許取得

ボランティア活動
地域振興、大会運営、災害救助、公開講座補助 etc ...

TOEIC は最低でも 450 点以上でなければ記入しない方が無難 (英検なら準2級以上)

✓ 無理に全部を埋める必要はない
✓ 何もなければ「なし」と記入
... 本当に何もないか?

31

履歴書の記入 (右ページ) 1/13

自己理解

企業情報収集

ビジネススキル

自己紹介書	志望動機
自己PR	自己PR
得意科目・分野	得意科目・分野
学生生活を通じて得たこと	学生生活を通じて得たこと
趣味・特技	趣味・特技
希望職種・勤務先	希望職種・勤務先

32

履歴書の記入 (右ページ) 2/13

◆ 企業の呼び名

御社 → 相手を敬って、その人が属する会社などをいう **口語 (話し言葉)**

貴社 → 相手を敬って、その人が属する会社などをいう **文語 (書き言葉)**

弊社 → 自分の会社を謙遜するという語 (**企業側が使う言葉**)

33

履歴書の記入 (右ページ) 3/13

◆ 分量

「読みやすい文字の大きさ」で、しかも、「余白を作らない」

自己PR	私は忍耐強く、一度決めたことを継続してやり抜く自信があります。舞鶴高専の学生のほとんどが寮生活をしている中で、私は4年間、一度も遅刻や欠席をせずに自宅から通い続けた結果、皆勤賞を受賞しました。この継続してやり抜く力を点検業務に役立てたいと思います。
自己PR	私は忍耐強く、一度決めたことを継続してやり抜く自信があります。舞鶴高専の学生のほとんどが寮生活をしている中で、私は4年間、一度も遅刻や欠席をせずに自宅から通い続けた結果、皆勤賞を受賞しました。この継続してやり抜く力を点検業務に役立てたいと思います。

34

履歴書の記入 (右ページ) 4/13

◆ 改行する場所

読みやすいところで改行

自己PR	私は忍耐強く、一度決めたことを継続してやり抜く自信があります。舞鶴高専の学生のほとんどが寮生活をしている中で、私は4年間、一度も遅刻や欠席をせずに自宅から通い続けた結果、皆勤賞を受賞しました。この継続してやり抜く力を点検業務に役立てたいと思います。
自己PR	私は忍耐強く、一度決めたことを継続してやり抜く自信があります。舞鶴高専の学生のほとんどが寮生活をしている中で、私は4年間、一度も遅刻や欠席をせずに自宅から通い続けた結果、皆勤賞を受賞しました。この継続してやり抜く力を点検業務に役立てたいと思います。

35

履歴書の記入 (右ページ) 5/13

◆ 志望動機

「この企業でなければならない理由」を、具体的な特徴、他社との相違点、事業内容、自慢している点に注目して記述する。会社のパンフレットやインターネットで、企業情報を収集する。自分の性格・能力、やりがい等を交えて書くのもひとつ。

志望動機	都市部で高層化するビルでエレベータやエスカレータ等は欠かせない移動手段です。身近なこれらの移動手段を長年、事故なく保守し、安全性を確保することに魅力を感じました。世界最高速のエレベータを開発した技術力の高い貴社の下で働きたいと思い、志望しました。
------	---

36

(出典 進路指導委員会)

履歴書の記入 (右ページ) 6/13

◆ **志望動機**

「この企業でなければならない理由」を、具体的な特徴、他社との相違点、事業内容、自慢している点に注目して記述する。会社のパンフレットやインターネットで、企業情報を収集する。
自分の性格・能力、やりがい等を交えて書くのもひとつ。

志望動機	どの分野にも不可欠な「はかり」で高いシェアを誇りながらも、お客様へのサービス精神を欠かさない貴社の理念に魅力を感じました。貴社であれば、剣道を通じて培った、私の強い精神力と優れたコミュニケーション能力を活かせると思い、応募を決意しました。
------	---

37

履歴書の記入 (右ページ) 7/13

◆ **自己PR**

自分の長所を、**具体例**を交えて、相手が納得するように語る。きれいな言葉ばかりを並べても、裏付けがなければ意味がない。

自己PR	1年から3年の夏まで野球部に所属していました。練習はその間、ほぼ毎日ありましたが、ほとんど休むことなく部活動に参加しました。そのため、忍耐力と体力には自信があります。4年からは接客業のバイトに精を出し、お客様、従業員とのコミュニケーションのとり方を学んでいます。
自己PR	私は忍耐強く、一度決めたことを継続してやり抜く自信があります。舞鶴高専の学生のほとんどが寮生活をしている中で、私は4年間、一度も遅刻や欠席をせずに自宅から通い続けた結果、皆勤賞を受賞しました。この継続してやり抜く力を点検業務に役立てたいと思います。

38

履歴書の記入 (右ページ) 8/13

◆ **得意科目・得意分野等**

単に、科目や分野を記入するだけではない。
・ どういうところに、なぜ、興味を持ったのか
・ 将来、どういうところに活かしていきたいのか

得意科目	熱工学	我々が普段使っているエンジンの仕組みについて興味があり、意欲的に取り組みました。
得意分野等	工場実習	機械の加工技術を学びました。特にアーク溶接に興味を持ち、熱心に作業しました。
得意科目	制御工学	コンピュータ制御を行うことにより、機械を自動化できることに興味を持ちました。
得意分野等	中国語	中国語の基礎を学びました。機会があれば、ぜひ、中国に行ってみたいです。

39

履歴書の記入 (右ページ) 9/13

◆ **学生生活を通じて得たこと**

高専5年間で「何をやってきたのか」、「どのようなことを身につけたのか」、「どのようなことに自信が持てたのか」などを、企業はチェックする。クラブ活動、高専祭、学生会・寮生会活動、寮生活、アルバイト、趣味などの**具体例**を交えて説明する。

学生生活を通じて得たこと	中学校卒業後、学生寮で暮らしました。4人部屋で生活するなかで、個々の意見が食い違うこともありましたが、互いに歩み寄ることで仲良く過ごすことができました。学生寮での団体生活は貴重な経験となりました。
学生生活を通じて得たこと	私はバドミントンを通して、ここの一番での集中力を得ることができました。バドミントンの試合は止まっている時間がないので、とても過酷で、一本一本に集中しなければなりません。そのため、ここの一番での集中力には自信があります。

40

履歴書の記入 (右ページ) 10/13

◆ **趣味・特技**

できるだけ、面接官が興味を持ちそうな話題がよい。箇条書きで複数個、**具体例**も交えて書く。
面接官（おじさん）に受けの悪い趣味（ゲームとか...）や特技は避けた方がよいかも。

趣味・特技	料理	休みの日には料理本を見ながら色々な料理に挑戦します。得意料理はハンバーグです。
趣味・特技	バドミントン	高専では、毎日、部活動に励んでいます。地元のクラブチームにも所属しています。
趣味・特技	海釣り	月に1回位、近くの海に釣りに行きます。
趣味・特技	バイクツーリング	長期休暇を利用し、四国を一周しました。
趣味・特技	自動車・バイク整備	日頃の整備を自分で行い、わからなければ書籍で調べたり、バイク屋さんを教えてもらっています。

41

履歴書の記入 (右ページ) 11/13

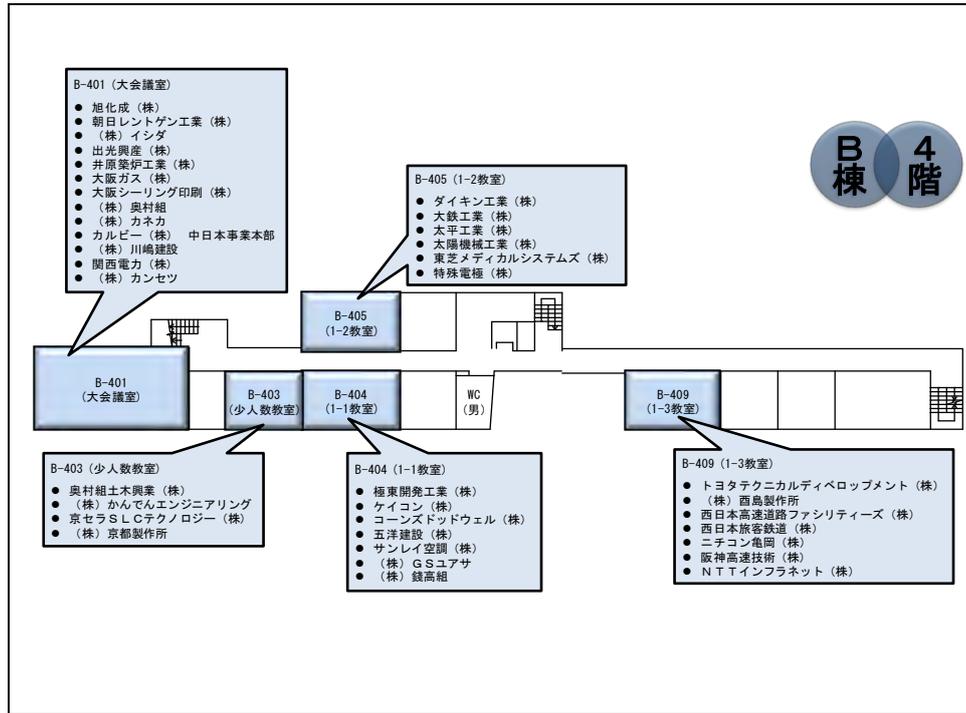
◆ **希望職種・勤務先等**

勤務先を限定しすぎないこと。
希望職種は、求人票にないものを記入しないこと。
応募する企業が求めている職種とのミスマッチがないように注意してください。
※ 大企業で研究職を求めるとか...
※ キャリアアップのための転動を拒むような記述とか...

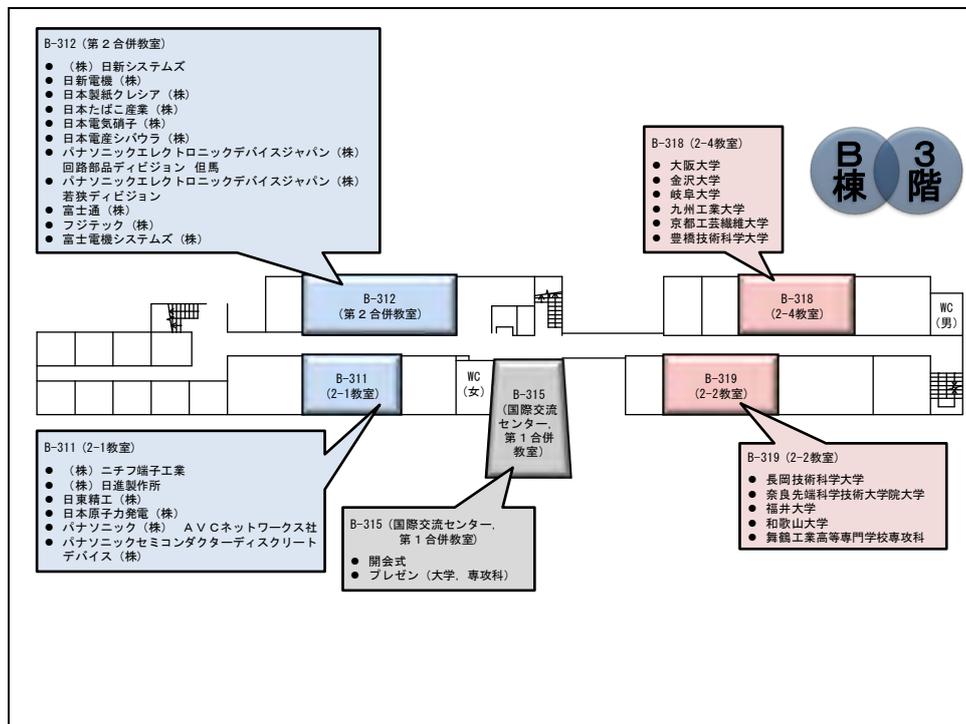
希望職種 勤務先等	貴社の規定に従います。できれば、エレベータ保守に関連した業務に従事したいという希望を持っています。
--------------	---

この欄は、空白があってもよい

42

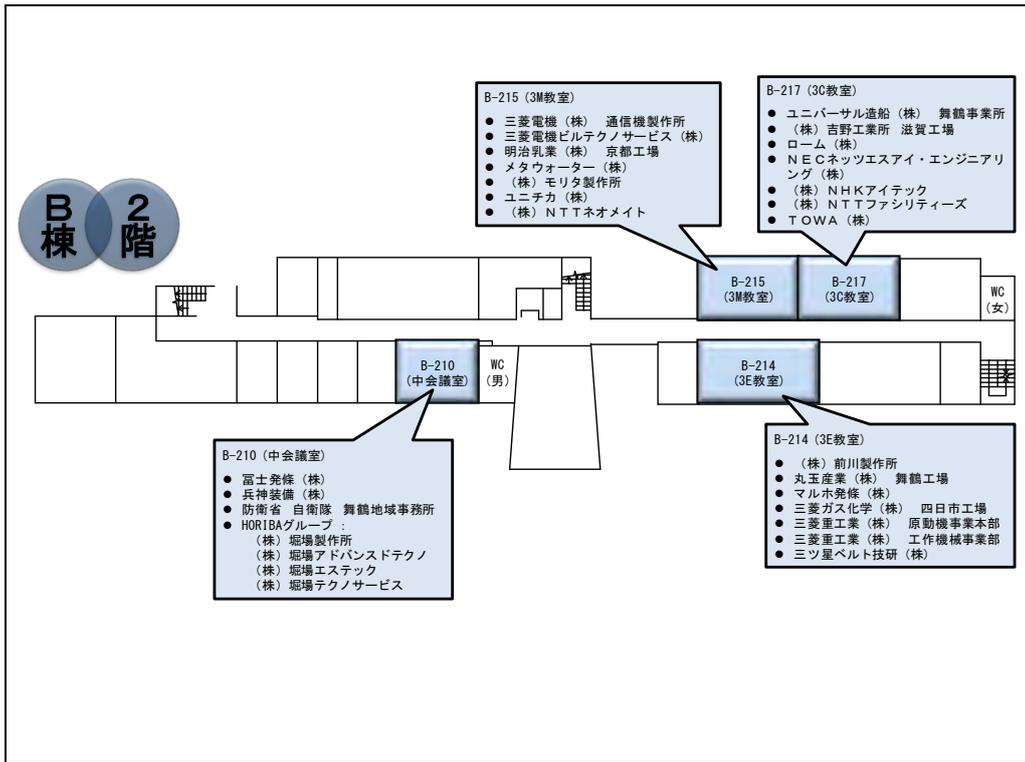


1 B棟4階のレイアウト

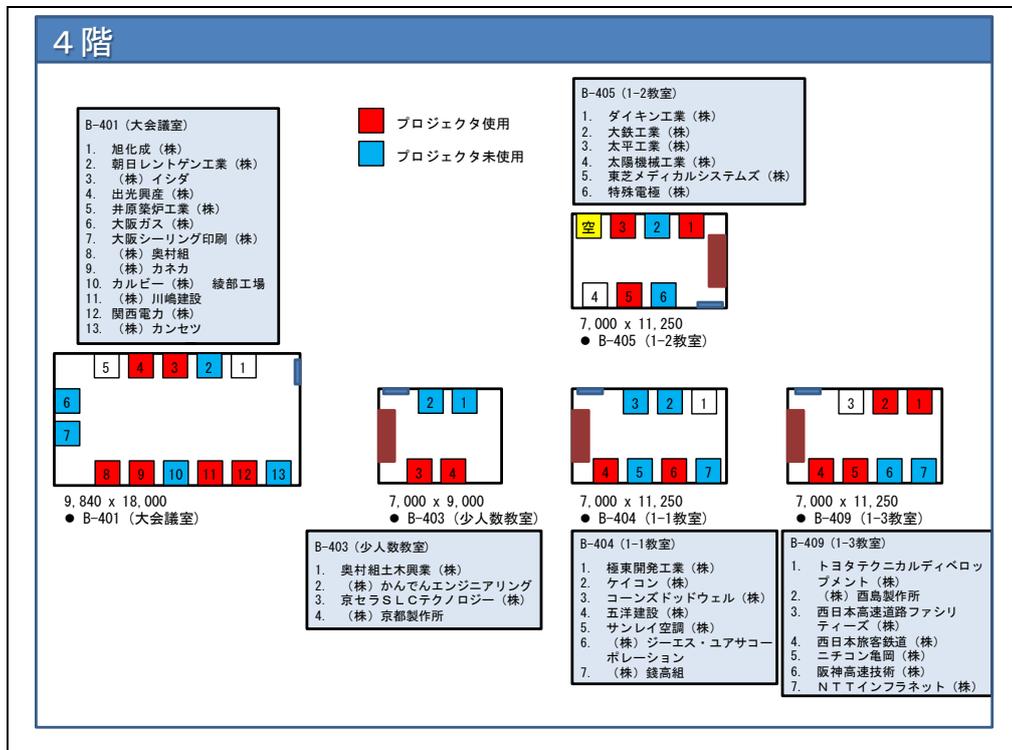


2 B棟3階のレイアウト

(出典 進路指導委員会)

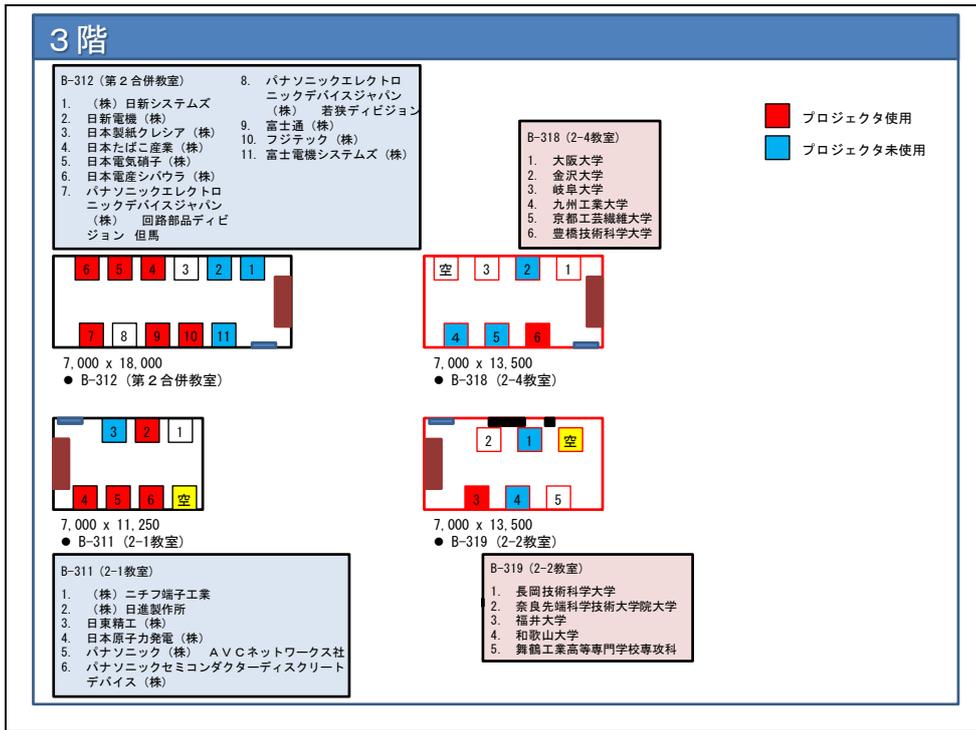


3 B棟2階のレイアウト

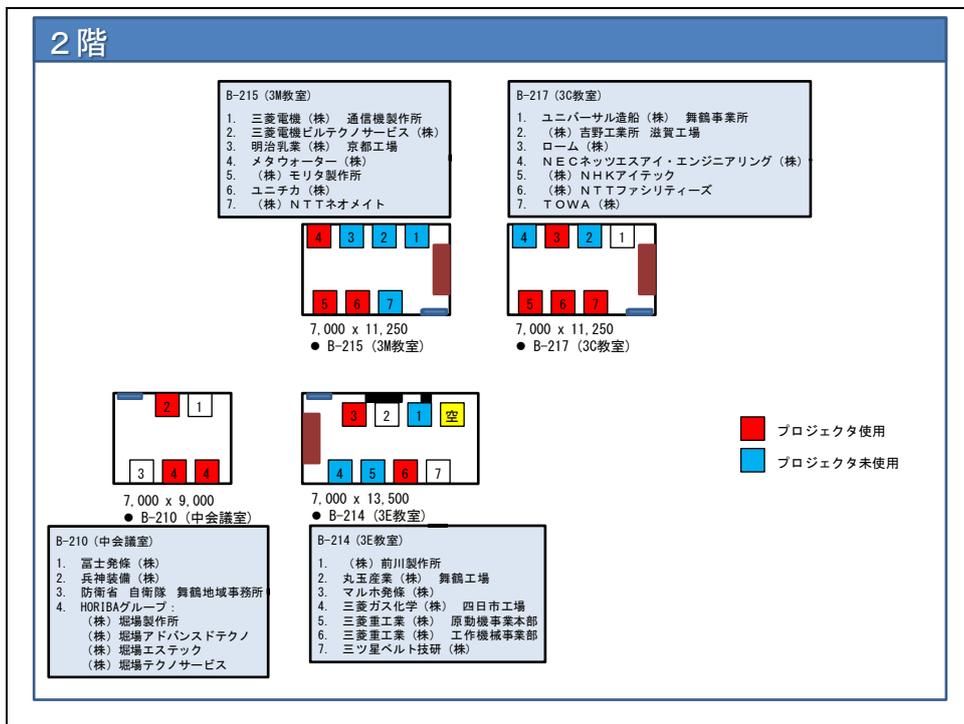


4 B棟4階の各ブースの割り当て

(出典 進路指導委員会)



5 B棟3階の各ブースの割り当て



6 B棟2階の各ブースの割り当て

(出典 進路指導委員会)



合同企業説明会の風景



各ブースで企業の説明を熱心に聴き入る学生

(出典 学生課)



進学フェア説明会の風景



進学フェア説明会場

(出典 学生課)